

牧之原市
子ども・子育て支援に関する
アンケート調査

調査結果報告書

令和6年3月
牧之原市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収結果	1
4. 調査回答者の属性	2
5. 報告書の見方	2
II 調査結果	3
1. 対象の子どもと家族の状況について	3
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	6
3. 保護者の就労状況について	11
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	18
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について	26
6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	30
7. 病気やケガ等の際の対応について	33
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	38
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	45
10. 放課後児童クラブの利用について	49
11. 育児休業や短時間勤務制度等職場の両立支援制度について	55
12. 子育てに関する一般的な事項について	63
13. 世帯の経済状況について	73
資料（調査票）	75
1. 就学前児童	75
2. 小学生	99

I 調査概要

1. 調査の目的

令和2年3月に策定した「第2期牧之原市子ども・子育て支援事業計画」の見直しにあたり、町民の教育・保育・子育て支援に係る事業の“現在の利用状況”や“今後の利用希望”を把握し、本計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の“量の見込み”を算出する基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 牧之原市全域
- (2) 調査対象 ① 就学前児童：市内に在住の就学前の子どものいる家庭
② 小学生：市内に在住の小学生（1～3年生）の子どものいる家庭
- (3) 標本数 ① 就学前児童：788人
② 小学生：982人
- (4) 調査方法 ① 就学前児童：郵送配布—郵送回収
② 小学生：学校配布—学校回収
- (5) 調査期間 ① 就学前児童：令和6年2月8日～令和6年2月22日
② 小学生：令和6年2月7日～令和6年2月20日

3. 回収結果

	配布・発送数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	788件	352件	44.7%
小学生	982件	816件	83.1%

※有効回収数とは、回収数のうち、無記入や拒否等の無効票数を除いた数

4. 調査回答者の属性

(1) 調査回答者

項目		合計	母親	父親	その他	無回答
就学前児童	回答者数 (人)	352	306	44	0	2
	構成比 (%)	100.0	86.9	12.5	0.0	0.6
小学生	回答者数 (人)	816	729	80	2	5
	構成比 (%)	100.0	89.3	9.8	0.2	0.6

(2) 調査対象の子どもの年齢

① 就学前児童

項目		合計	生まれ 4月 以降	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
就学前児童	回答者数 (人)	352	26	44	52	50	52	70	55	3
	構成比 (%)	100.0	7.4	12.5	14.8	14.2	14.8	19.9	15.6	0.9

② 小学生

項目		合計	1年生	2年生	3年生	無回答
小学生	回答者数 (人)	816	254	264	255	43
	構成比 (%)	100.0	31.1	32.4	31.3	5.3

5. 報告書の見方

- (1) 回答率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出し、小数第2位を四捨五入している。
したがって、比率の数値の合計が 100.0% にならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答可の設問は全ての比率を合計すると 100.0% を超える場合がある。
- (3) グラフ中の「n (N u m b e r o f c a s e の略)」は基数で、その質問に回答すべき人数を表す。
- (4) 該当質間に回答した人の実数 (回答母数) が 20 未満のものは、あくまで参考値とし本文でふれていない。

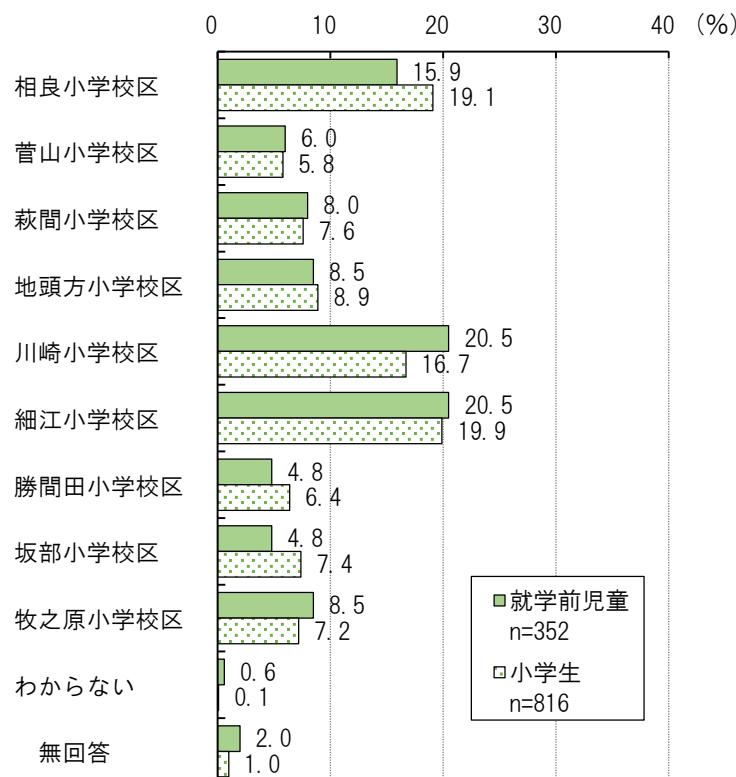
II 調査結果

1. 対象の子どもと家族の状況について

1-1 居住している小学校区（単数回答）

【就学前：問1、小学生：問1】

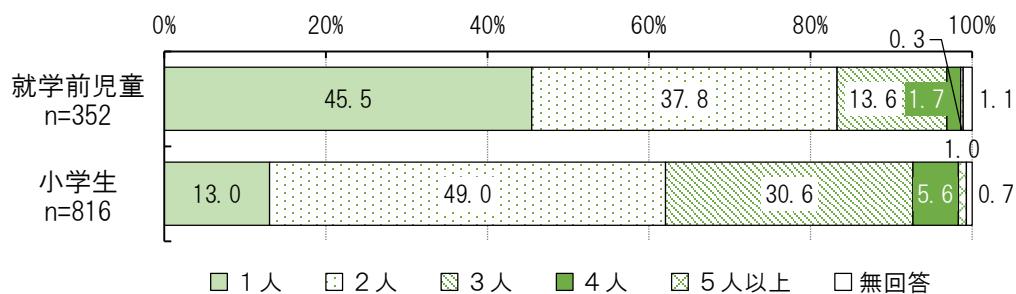
- ・居住している小学校区については、以下の通りとなっている。



1-2 子どもの人数

【就学前：問3、小学生：問3】

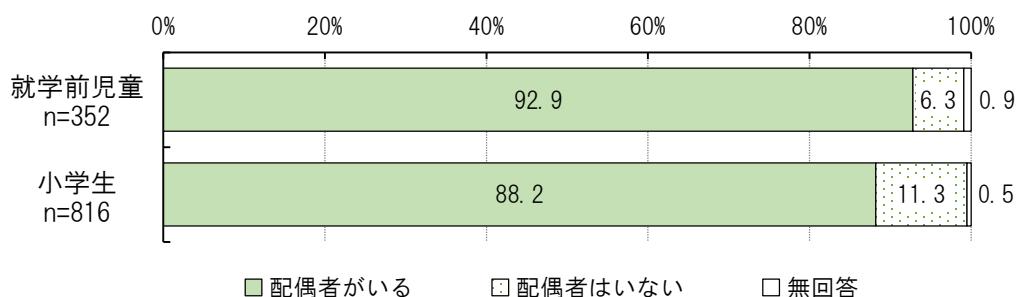
- ・子どもの人数については、就学前児童において「1人」が45.5%と最も多く、小学生においては「2人」が49.0%と最も多くなっている。



1-3 回答者の配偶者の有無（単数回答）

【就学前：問5、小学生：問5】

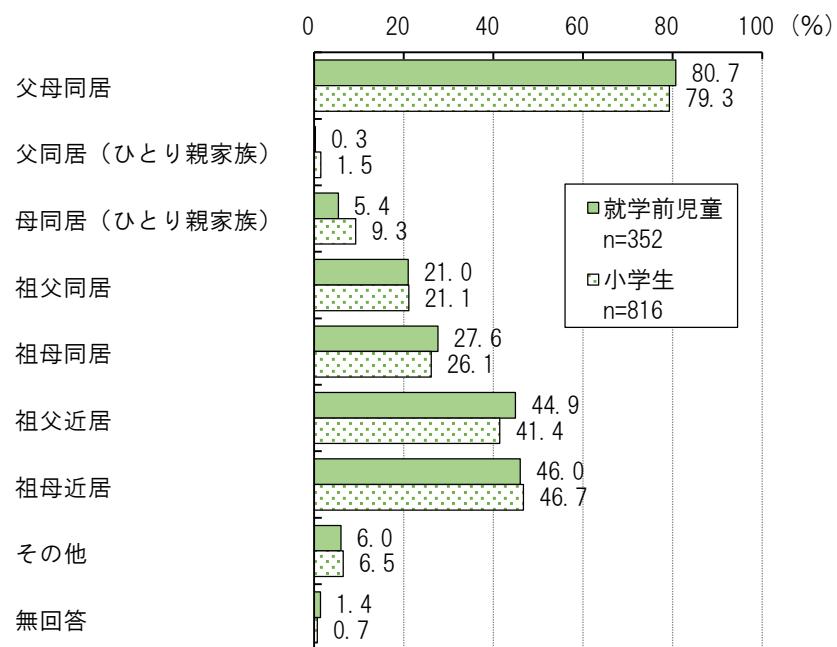
- 回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」（就学前児童：92.9%、小学生：88.2%）が就学前児童、小学生ともに9割前後となっている。



1-4 子どもとの同居・近居の状況（複数回答可）

【就学前：問6、小学生：問6】

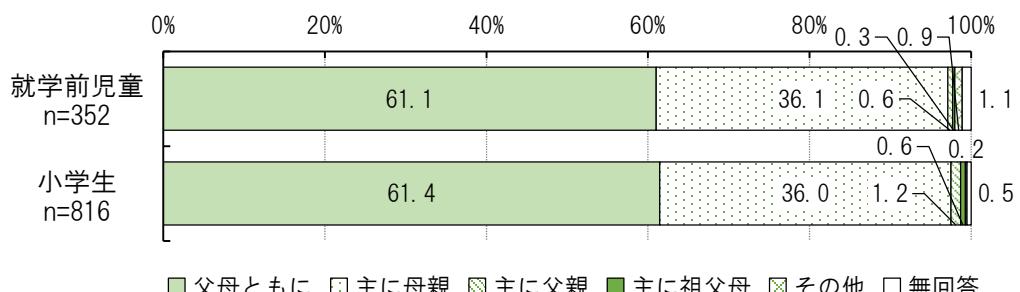
- 子どもとの同居・近居の状況については、「父母同居」（就学前児童：80.7%、小学生：79.3%）が就学前児童、小学生ともに8割前後と最も多く、次いで「祖母近居」（就学前児童：46.0%、小学生：46.7%）、「祖父近居」（就学前児童：44.9%、小学生：41.4%）などとなっている。



1-5 子どもの子育て（教育を含む）を主に行っている方（単数回答）

【就学前：問7、小学生：問7】

・子どもの子育てを主に行っている方については、「父母ともに」（就学前児童：61.1%、小学生：61.4%）が就学前児童、小学生ともに6割を超えて最も多く、次いで「主に母親」（就学前児童：36.1%、小学生：36.0%）が就学前児童、小学生ともに3割を超えている。

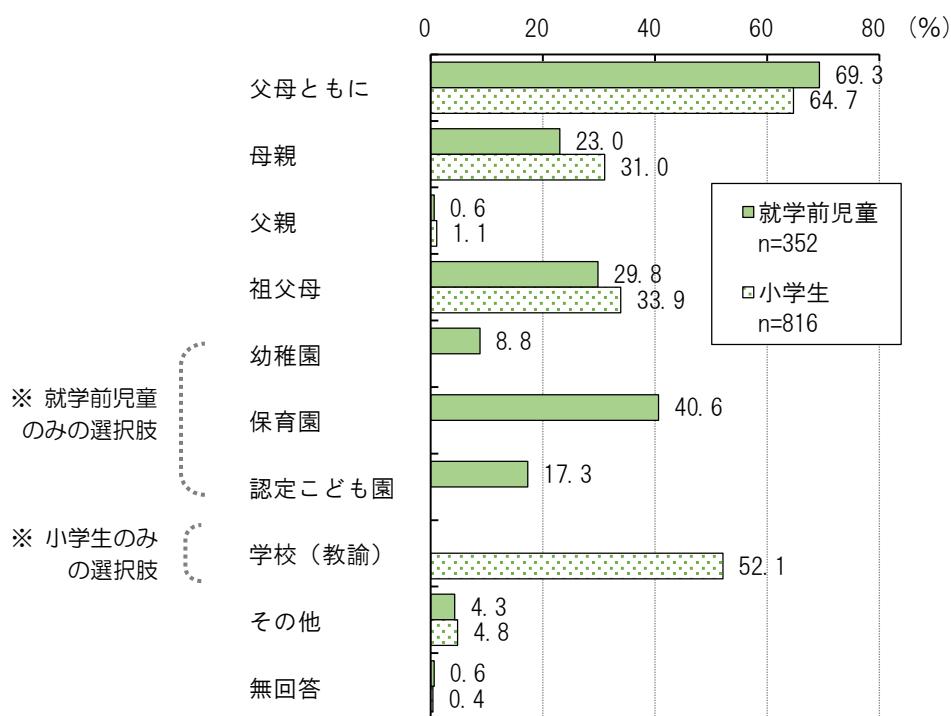


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

2-1 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）（複数回答可）

【就学前：問8、小学生：問8】

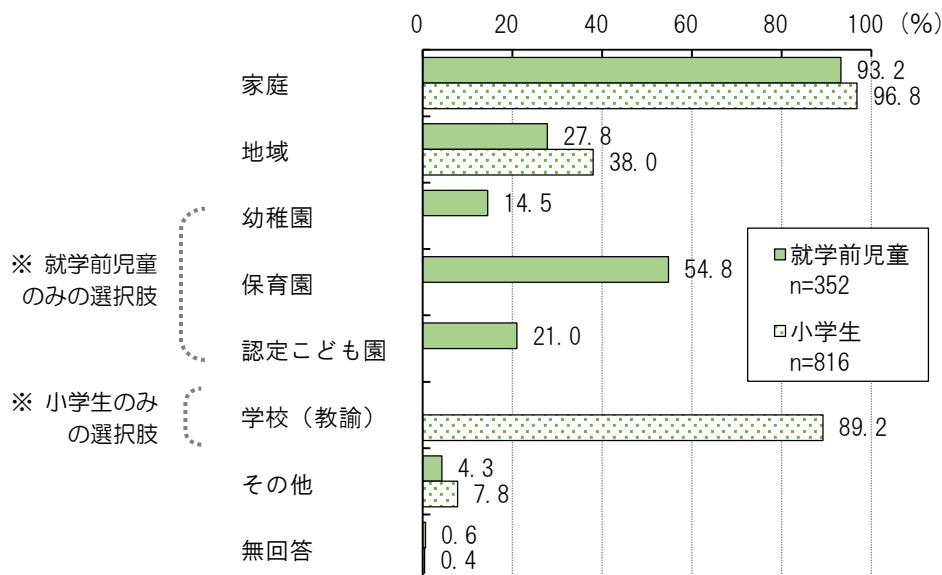
- ・子育てに日常的に関わっている方（施設）については、就学前児童において「父母ともに」が69.3%と最も多く、次いで「保育園」が40.6%、「祖父母」が29.8%などとなっている。小学生においては「父母ともに」が64.7%と最も多く、次いで「学校（教諭）」が52.1%、「祖父母」が33.9%などとなっている。



2-2 子育てに影響すると思われる環境（複数回答可）

【就学前：問9、小学生：問9】

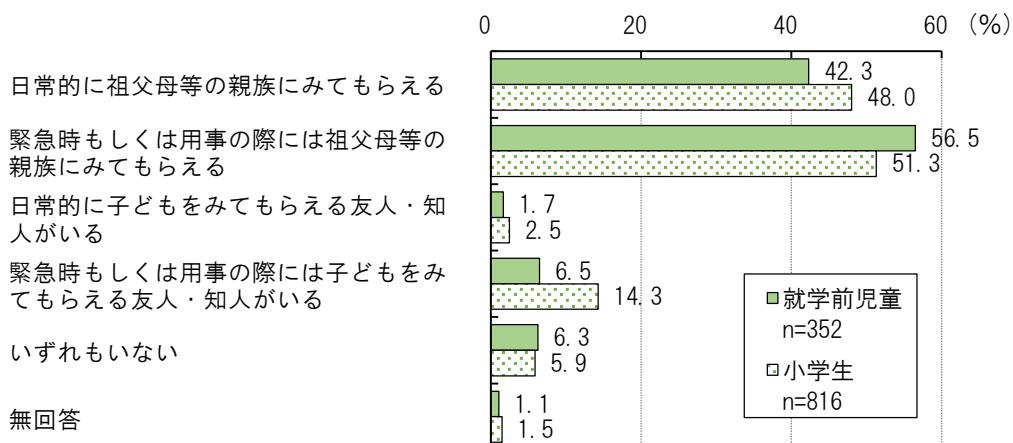
- 子育てに影響すると思われる環境については、就学前児童において「家庭」が93.2%と最も多く、次いで「保育園」が54.8%、「地域」が27.8%などとなっている。小学生においては「家庭」が96.8%と最も多く、次いで「学校（教諭）」が89.2%、「地域」が38.0%などとなっている。



2-3 日頃、子どもをみてもらえる人（複数回答可）

【就学前：問10、小学生：問10】

- 日頃、子どもをみてもらえる人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」（就学前児童：56.5%、小学生：51.3%）が就学前児童、小学生ともに5割を超えて最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（就学前児童：42.3%、小学生：48.0%）などとなっている。



2-4 2-3で『祖父母等の親族にみてもらえる』と回答した人のみ

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況（複数回答可）

【就学前：問10-1、小学生：問10-1】

- ・祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」（就学前児童：57.5%、小学生：64.0%）が就学前児童、小学生ともに最も多くなっている。

祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である

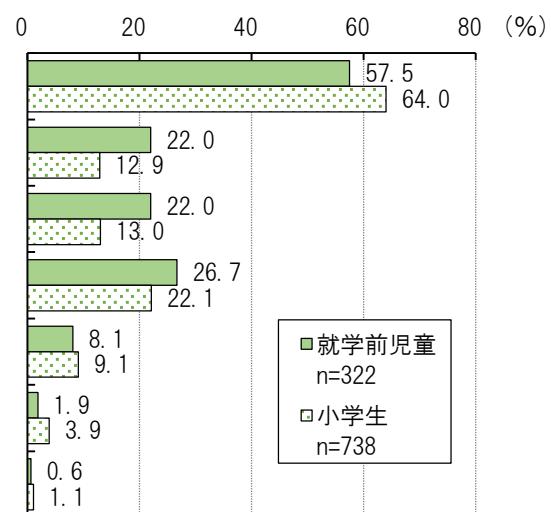
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

無回答



2-5 2-3で『子どもをみてもらえる友人・知人がいる』と回答した人のみ

友人・知人に子どもをみてもらっている状況（複数回答可）

【就学前：問10-2、小学生：問10-2】

- ・友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」（就学前児童：46.2%、小学生：55.5%）が就学前児童、小学生ともに5割前後と最も多くなっている。

友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

友人・知人の身体的負担が大きく心配である

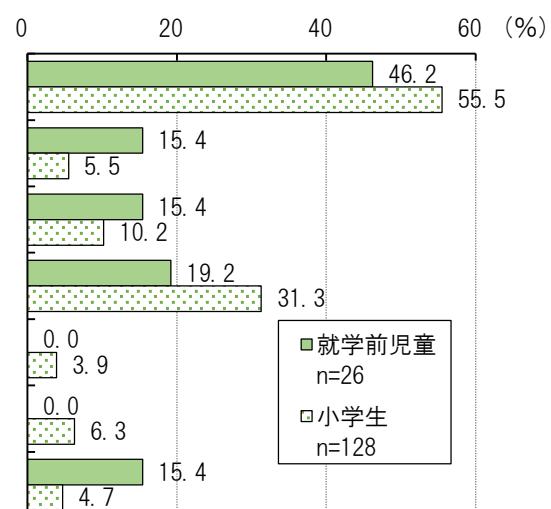
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

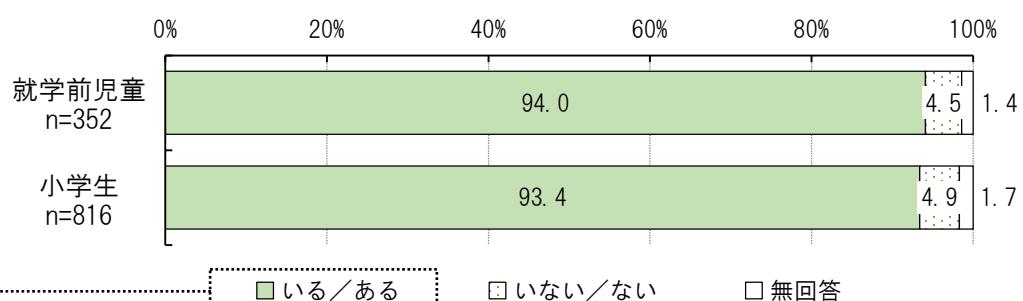
無回答



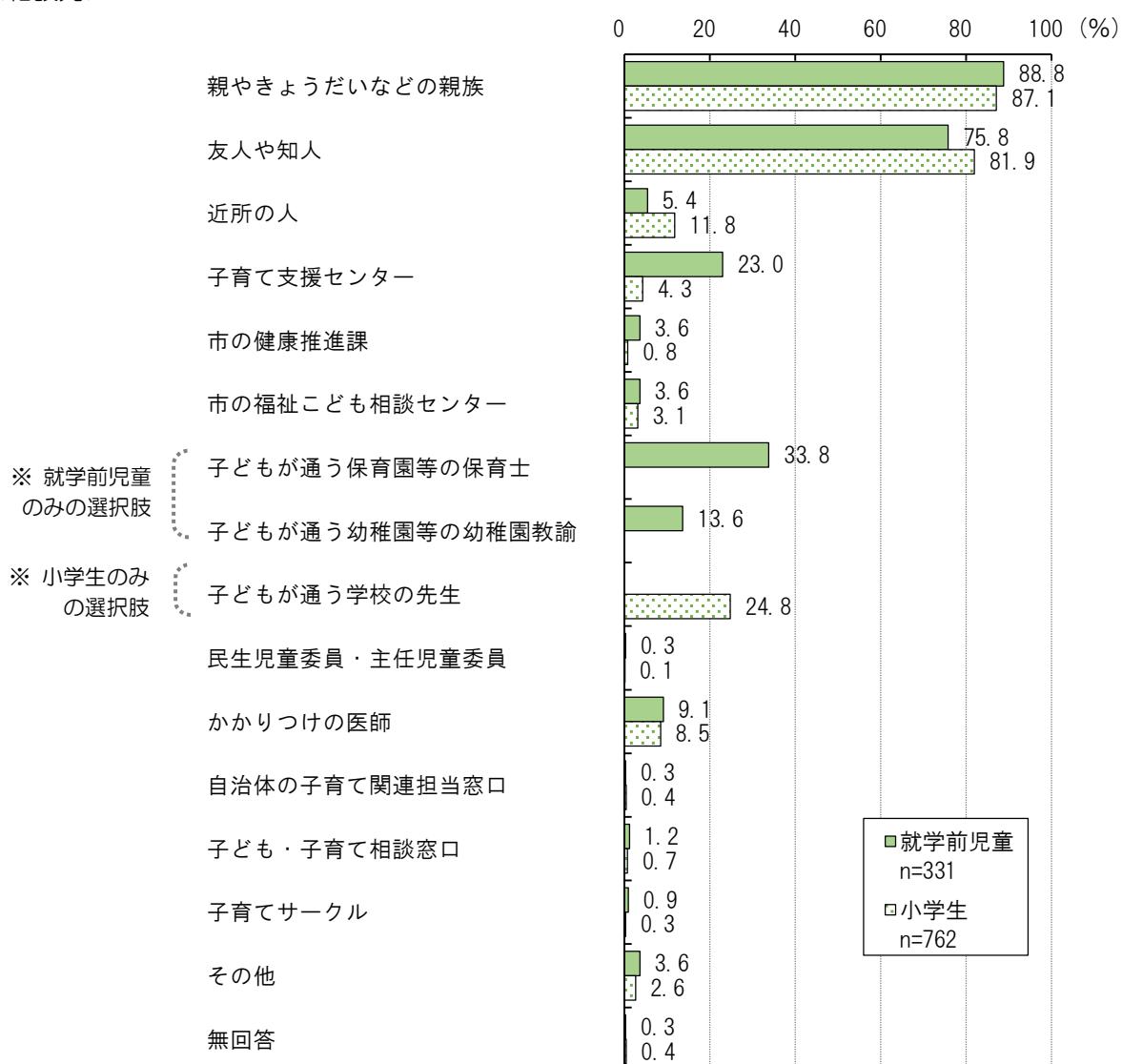
2-6 子育て（教育・保育を含む）をする上で気軽に相談できる人・場所の有無（単数回答）
及び、その相談先（複数回答可）

【就学前：問11・問11-1、小学生：問11・問11-1】

- ・子育てをする上で気軽に相談できる人・場所の有無については、「いる／ある」（就学前児童：94.0%、小学生：93.4%）が就学前児童、小学生ともに9割を超えており、
- ・その相談先については、就学前児童において「親やきょうだいなどの親族」が88.8%と最も多く、次いで「友人や知人」が75.8%、「子どもが通う保育園等の保育士」が33.8%などとなっている。小学生においては「親やきょうだいなどの親族」が87.1%と最も多く、次いで「友人や知人」が81.9%、「子どもが通う学校の先生」が24.8%などとなっている。



＜相談先＞

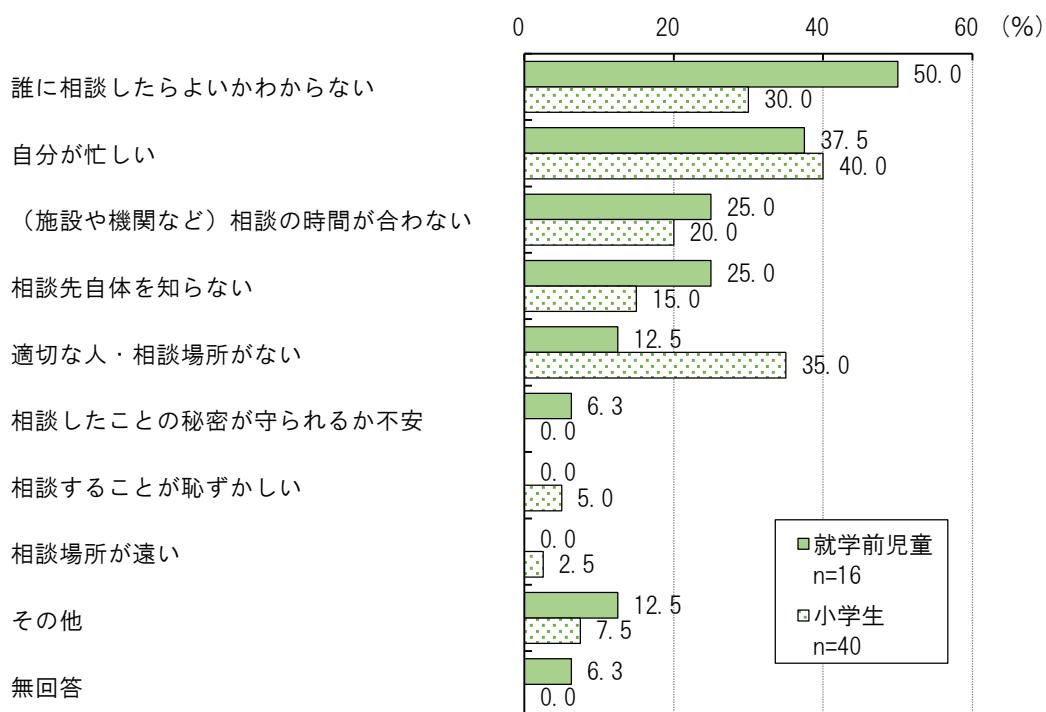


2-7 2-6で「(相談できる人・場所が) いない／ない」と回答した人のみ

子育てに関して気軽に相談できない理由（複数回答可）

【就学前：問11-2、小学生：問11-2】

- 子育てに関して気軽に相談できない理由については、小学生において「自分が忙しい」が40.0%と最も多く、「適切な人・相談場所がない」が35.0%、「誰に相談したらよいかわからない」が30.0%などとなっている。就学前児童においては、回答者数が少ないので、参考掲載とする。



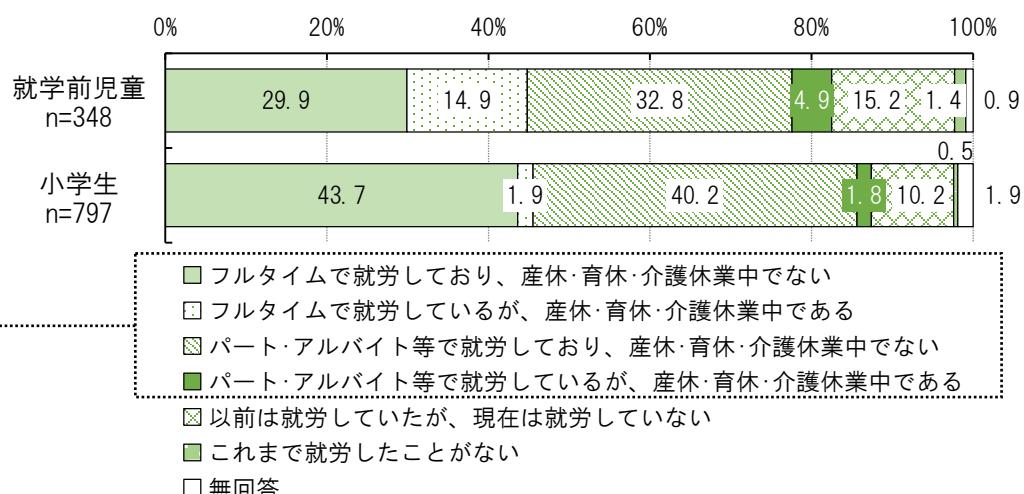
3. 保護者の就労状況について

3-1 母親の就労状況（単数回答）

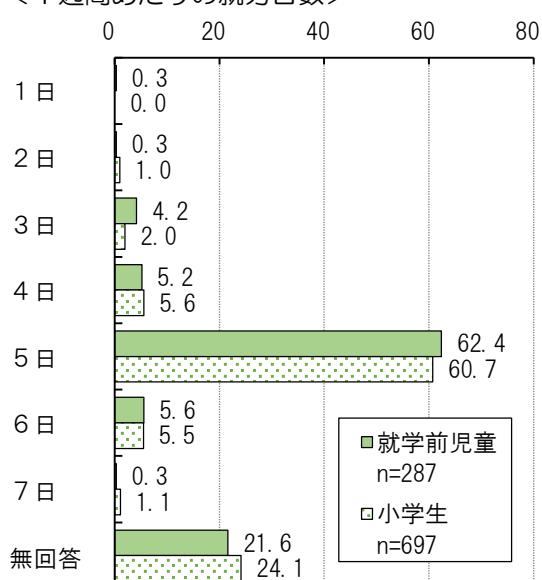
及び、就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻

【就学前：問12（1）・問12（1）-1、小学生：問12（1）・問12（1）-1】

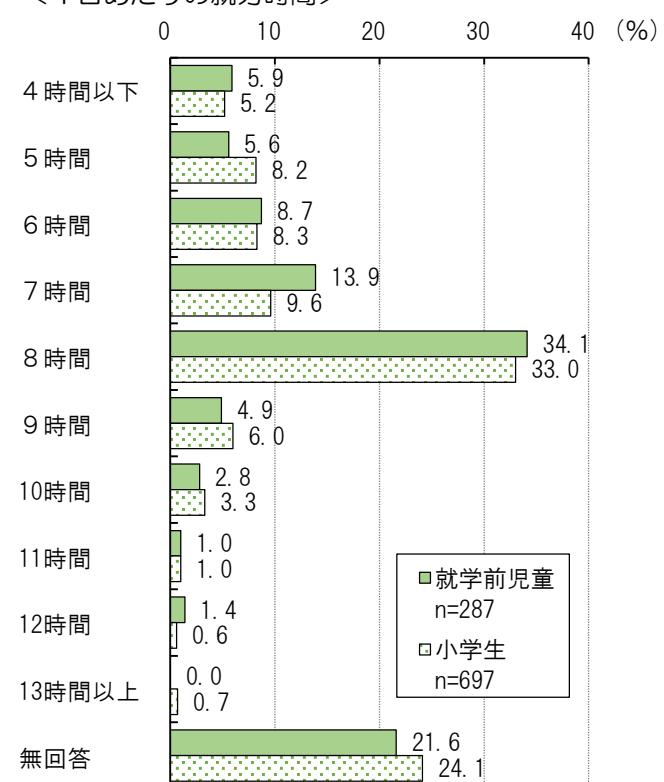
- ・母親の就労状況については、就学前児童において「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が32.8%と最も多く、小学生においては「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が43.7%と最も多くなっている。
- ・産休・育休・介護休業中を含んだ『就労している人』の割合をみると、就学前児童において82.5%、小学生においては87.5%となっている。
- ・就労している人の1週間あたりの就労日数については「5日」（就学前児童：62.4%、小学生：60.7%）が就学前児童、小学生ともに最も多く、1日あたりの就労時間は「8時間」（就学前児童：34.1%、小学生：33.0%）が就学前児童、小学生ともに最も多くなっている。
- ・家を出る時刻については「8時台」（就学前児童：40.4%、小学生：35.0%）が就学前児童、小学生ともに最も多く、帰宅時刻は「18時台」が就学前児童、小学生ともに26.1%と最も多くなっている。



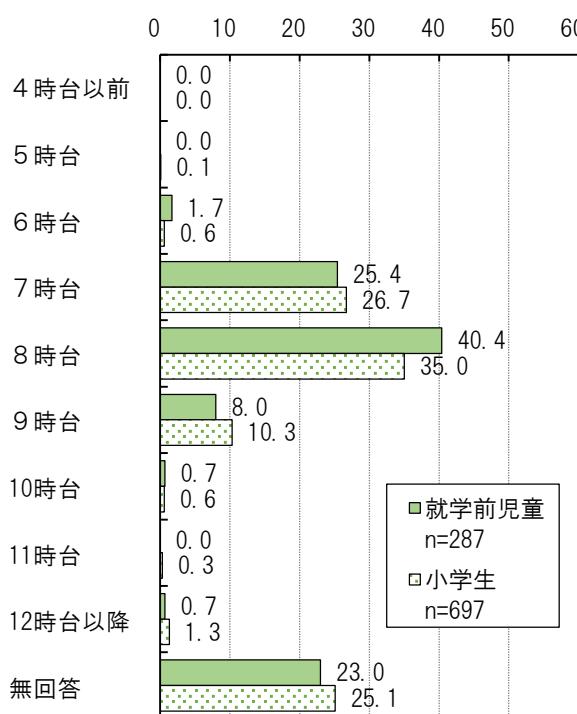
＜1週間あたりの就労日数＞



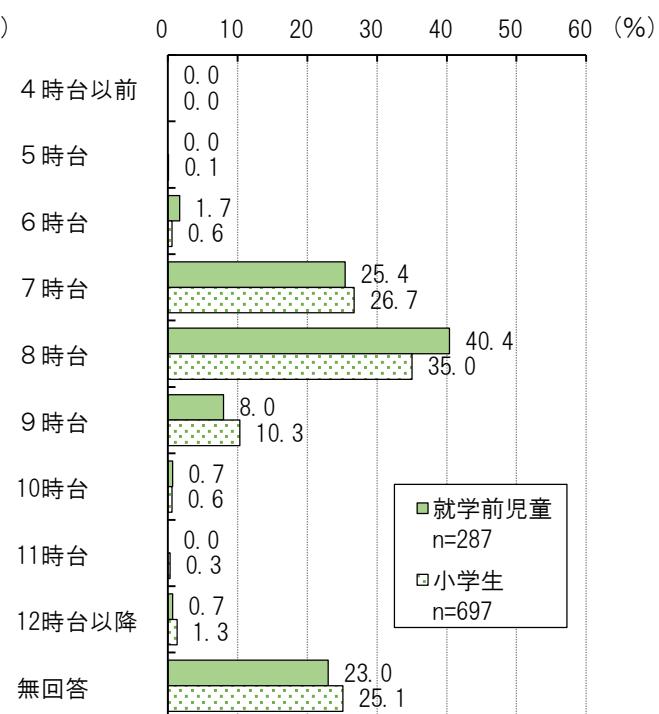
＜1日あたりの就労時間＞



＜家を出る時刻＞



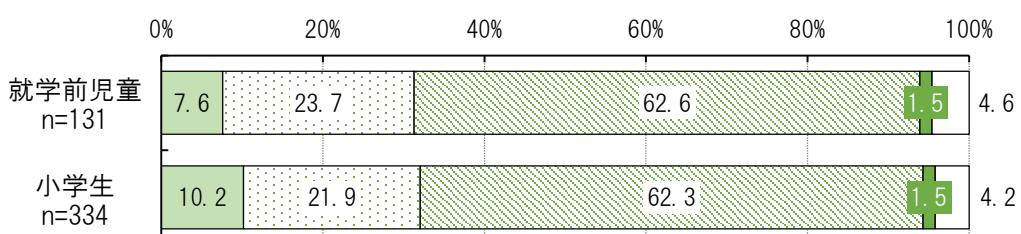
＜帰宅時刻＞



3-2 3-1で『パート・アルバイト等で就労している』と回答した人のみ
フルタイムへの転換希望（単数回答）

【就学前：問12（1）-2、小学生：問12（1）-2】

- ・『パート・アルバイト等で就労している』と回答した人のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（就学前児童：62.6%、小学生：62.3%）が就学前児童、小学生ともに6割を超えて最も多くなっている。
- ・『フルタイムへの転換希望がある人』の割合は、就学前児童において31.3%、小学生においては32.1%となっている。



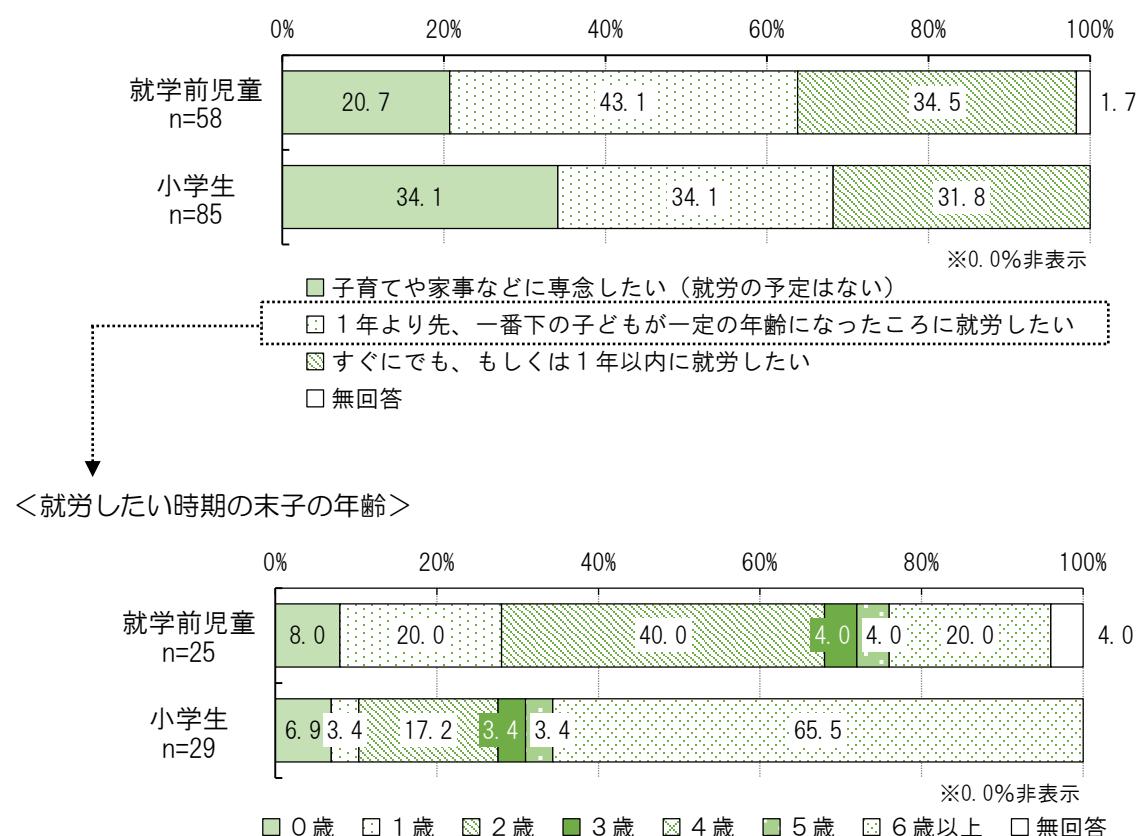
- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ▨ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

3-3 3-1で『就労していない』と回答した人のみ

今後の就労意向（単数回答）

【就学前：問12（1）-3、小学生：問12（1）-3】

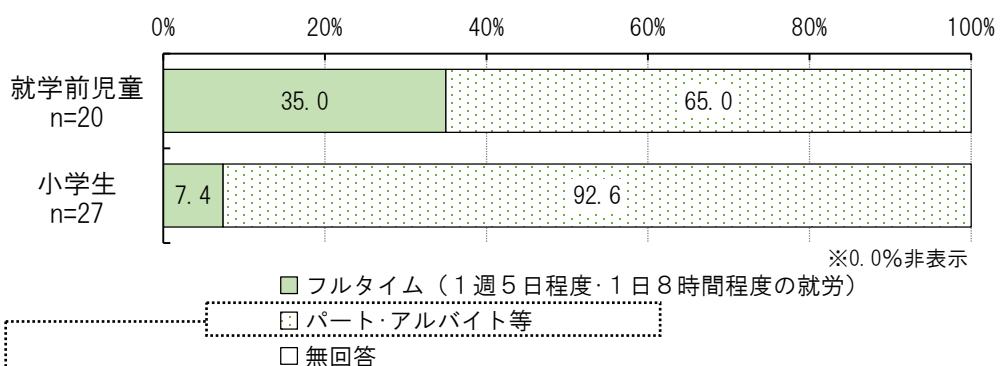
- 『就労していない』と回答した人の今後の就労意向については、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったころに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を合計した『就労希望がある』の割合が、就学前児童において77.6%、小学生においては65.9%となっている。
- 「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」の割合は、就学前児童において20.7%、小学生においては34.1%となっている。



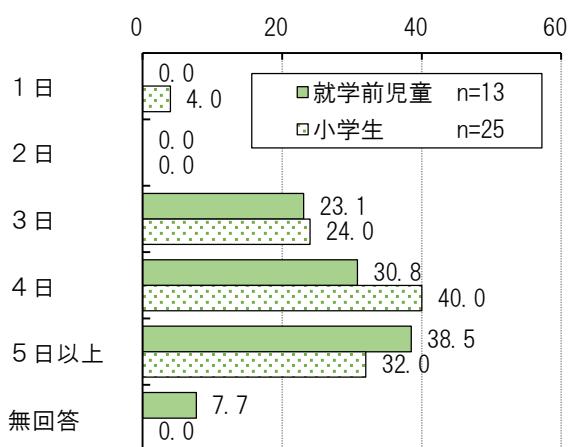
3-4 3-3で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人のみ
希望する就労形態（単数回答）

【就学前：問12（1）-4、小学生：問12（1）-4】

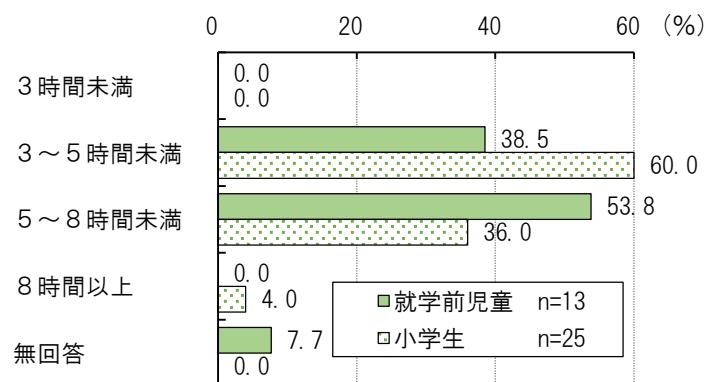
- 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の希望する就労形態については、「パート・アルバイト等」（就学前児童：65.0%、小学生：92.6%）が就学前児童、小学生ともに6割～9割を超えている。



＜1週あたりの希望就労日数＞



＜1日あたりの希望就労時間＞

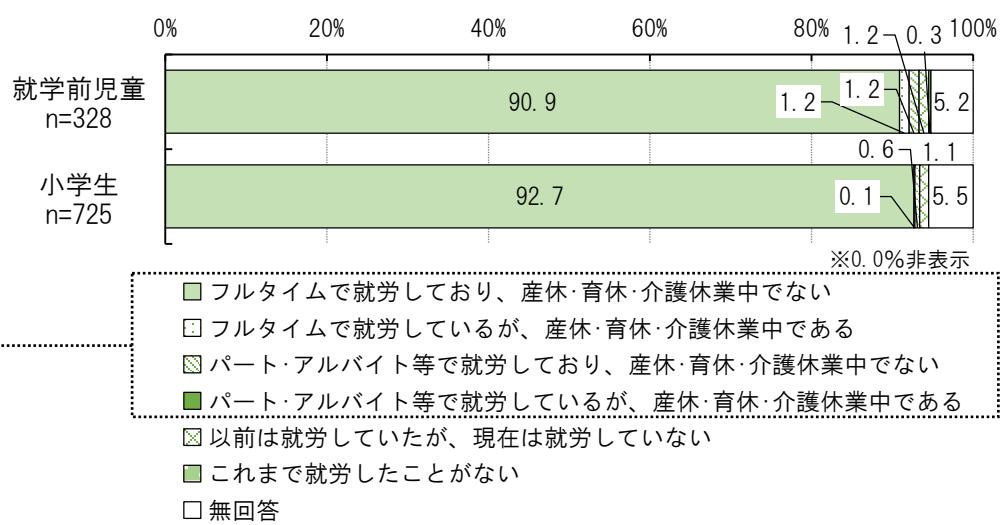


3-5 父親の就労状況（単数回答）

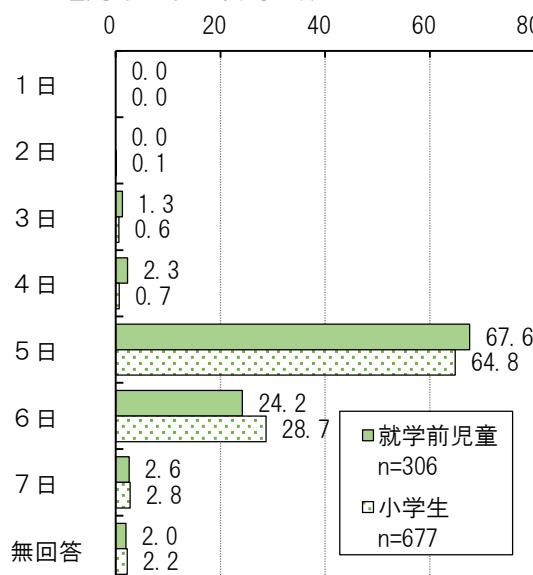
及び、就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻

【就学前：問12（2）・問12（2）-1、小学生：問12（2）・問12（2）-1】

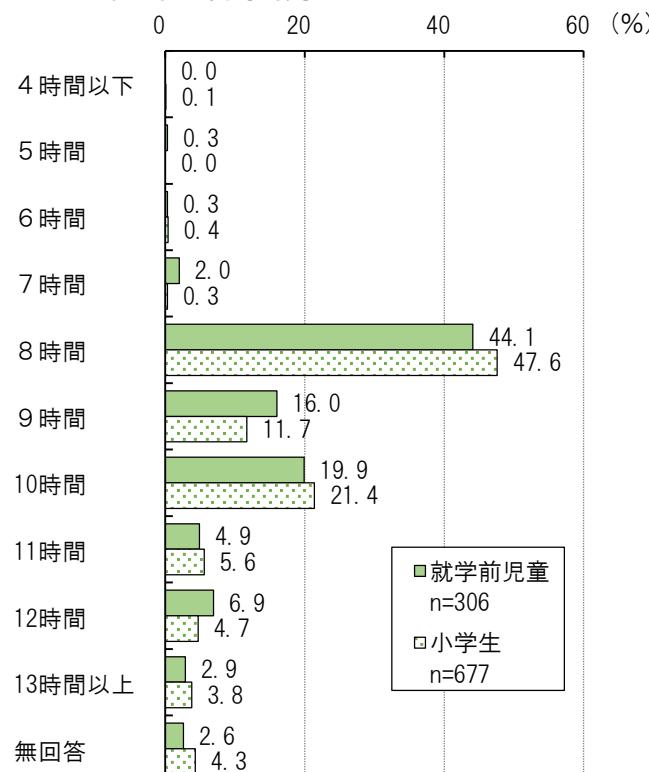
- ・父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中でない」（就学前児童：90.9%、小学生：92.7%）が就学前児童、小学生ともに9割を超えて最も多くなっている。
- ・就労している人の1週間あたりの就労日数については「5日」（就学前児童：67.6%、小学生：64.8%）が就学前児童、小学生ともに6割を超えて最も多く、1日あたりの就労時間は「8時間」（就学前児童：44.1%、小学生：47.6%）が就学前児童、小学生ともに最も多くなっている。
- ・家を出る時刻については「7時台」（就学前児童：44.1%、小学生：49.0%）が就学前児童、小学生ともに最も多く、帰宅時刻については、「18時台」（就学前児童：25.5%、小学生：29.8%）が就学前児童、小学生ともに最も多くなっているが、回答にばらつきがある。



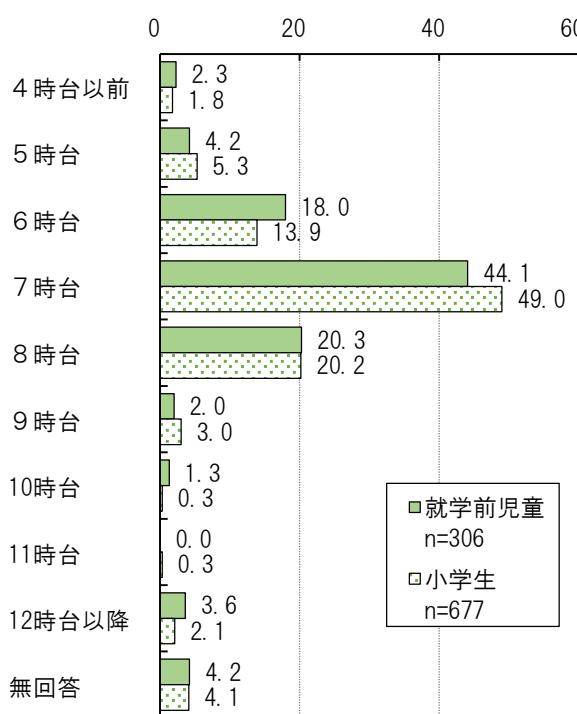
<1週間あたりの就労日数>



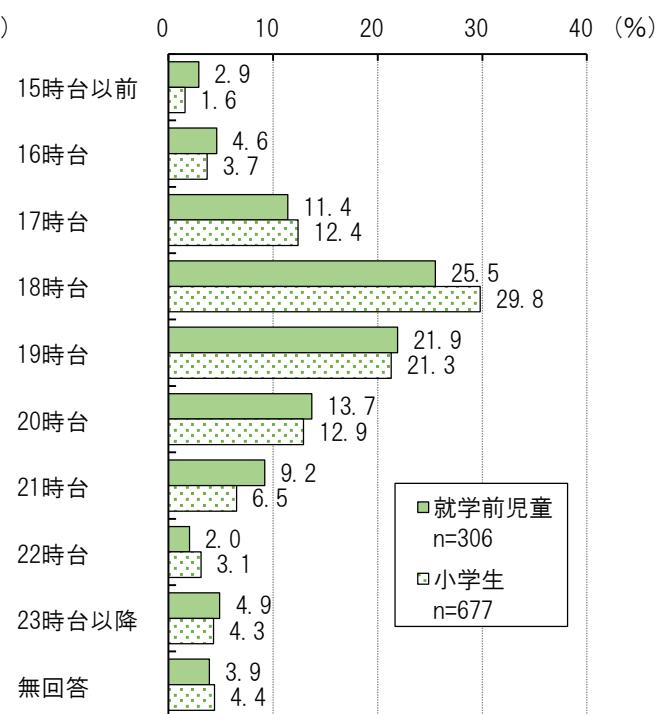
<1日あたりの就労時間>



＜家を出る時刻＞



＜帰宅時刻＞



3-6 3-5で『パート・アルバイト等で就労している』と回答した人のみ
フルタイムへの転換希望（単数回答）

【就学前：問12（2）-2、小学生：問12（2）-2】

- 就学前児童で、『パート・アルバイト等で就労』している父親（4人）のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が2人、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2人であった。
- 小学生で、『パート・アルバイト等で就労』している父親（4人）のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が4人であった。

3-7 3-5で『就労していない』と回答した人のみ

今後の就労意向（単数回答）

【就学前：問12（2）-3、小学生：問12（2）-3】

- 就学前児童で、『就労していない』父親（5人）の今後の就労意向については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1人、「1年より先、一番下の子どもが5歳になったころに就労したい」が1人、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3人であった。
- 小学生で、『就労していない』父親（8人）の回答は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1人、「1年より先、一番下の子どもが1歳になったころに就労したい」が1人、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が6人であった。

3-9 3-7で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人のみ

希望する就労形態（単数回答）

【就学前：問12（2）-4、小学生：問12（2）-4】

- 就学前児童で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」父親（3人）の希望する就労形態については、「フルタイム」が2人、「パート・アルバイト等」が1人であった。
- 小学生で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」父親（6人）の回答は、「フルタイム」が5人、「パート・アルバイト等」が1人であった。

※就学前児童のみ

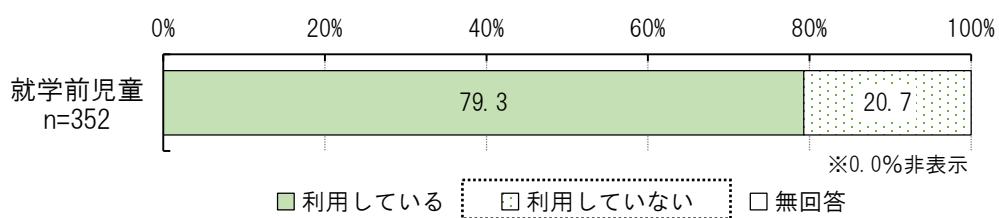
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

4-1 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（単数回答）

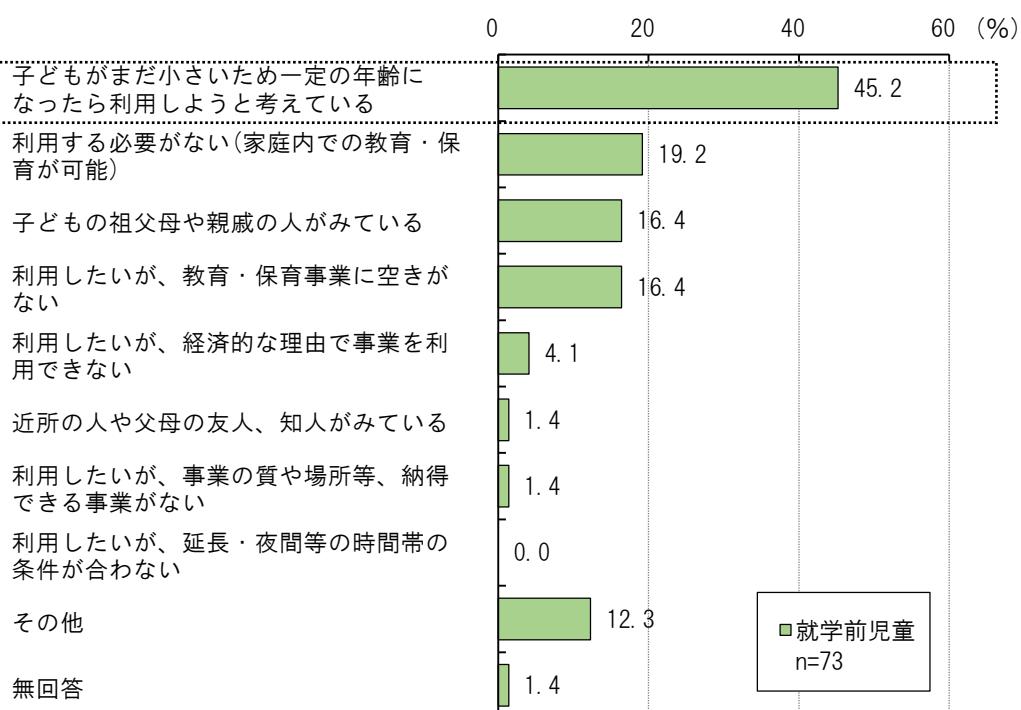
及び、平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由（複数回答可）

【就学前：問13・問13-5】

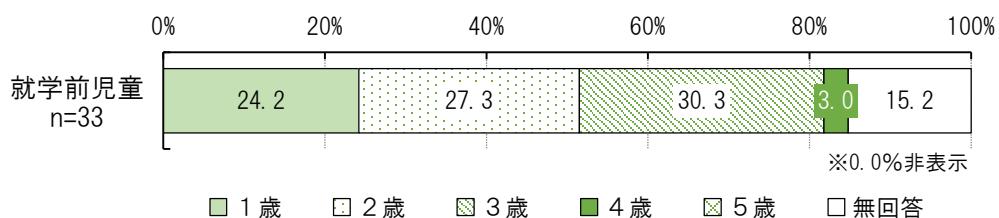
- 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が79.3%、「利用していない」が20.7%となっている。
- 教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため一定の年齢になつたら利用しようと考えている」が45.2%と最も多く、次いで「利用する必要がない（家庭内での教育・保育が可能）」が19.2%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」「利用したいが、教育・保育事業に空きがない」がともに16.4%などとなっている。



<平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由>



<利用を開始したい時の子どもの年齢>

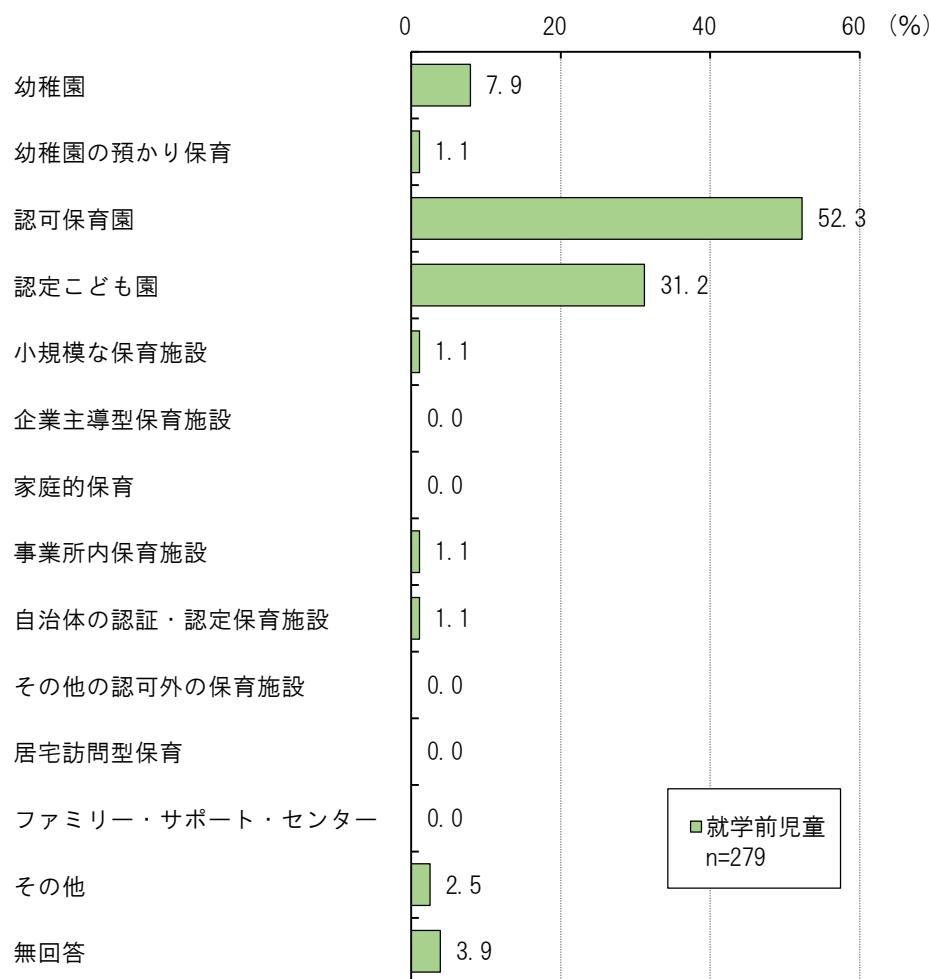


4-2 4-1で「利用している」と回答した人のみ

現在、利用している定期的な教育・保育事業（複数回答可）

【就学前：問13-1】

- 現在利用している定期的な教育・保育事業については、「認可保育園」が52.3%と最も多く、次いで「認定こども園」が31.2%などとなっている。



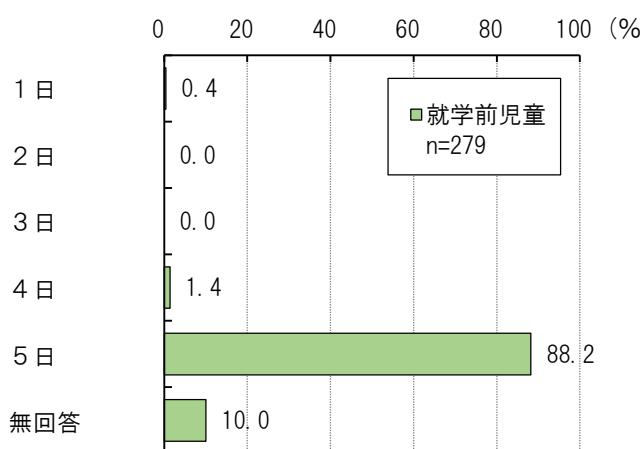
4-3 4-1で「利用している」と回答した人のみ

現在、利用している定期的な教育・保育事業の利用状況と希望（単数回答）

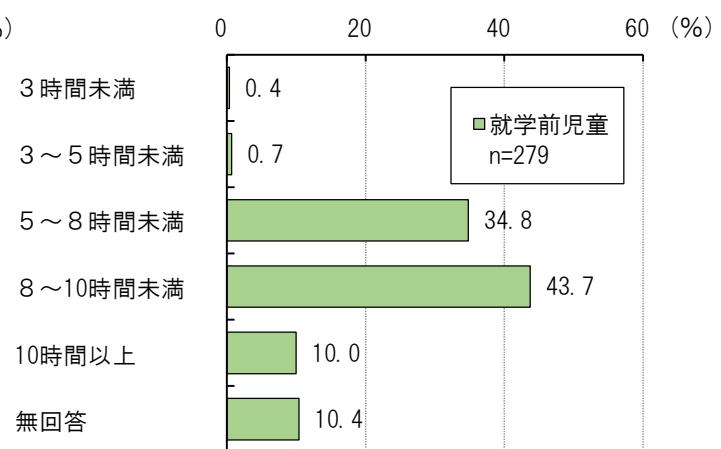
【就学前：問13-2（1）・（2）】

- 現在利用している定期的な教育・保育事業の利用状況については、日数は「5日」が88.2%と最も多く、1日あたりの利用時間は「8～10時間未満」が43.7%と最も多くなっている。
- 希望については、日数は現在の利用状況と同様に「5日」が64.2%と最も多くなっている。利用時間は、「8～10時間未満」が32.6%と最も多くなっている。

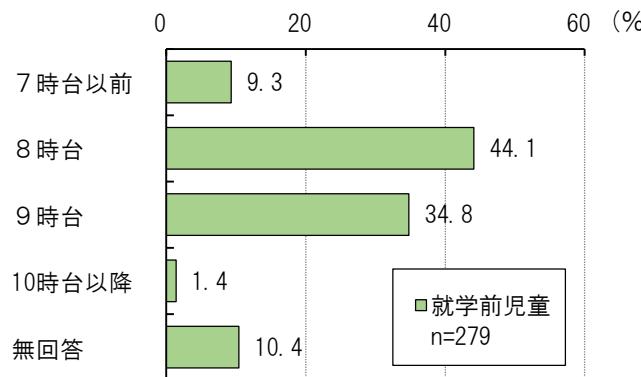
<現在の1週間あたりの利用日数>



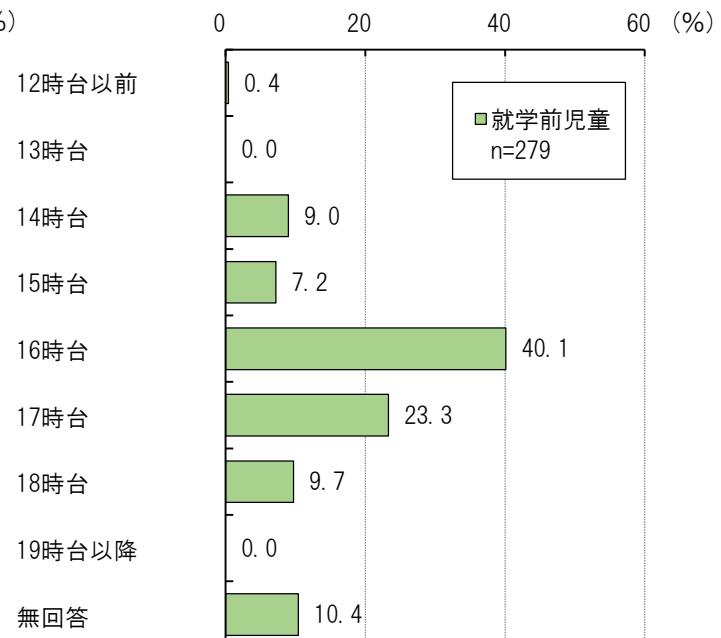
<現在の1日あたりの利用時間>

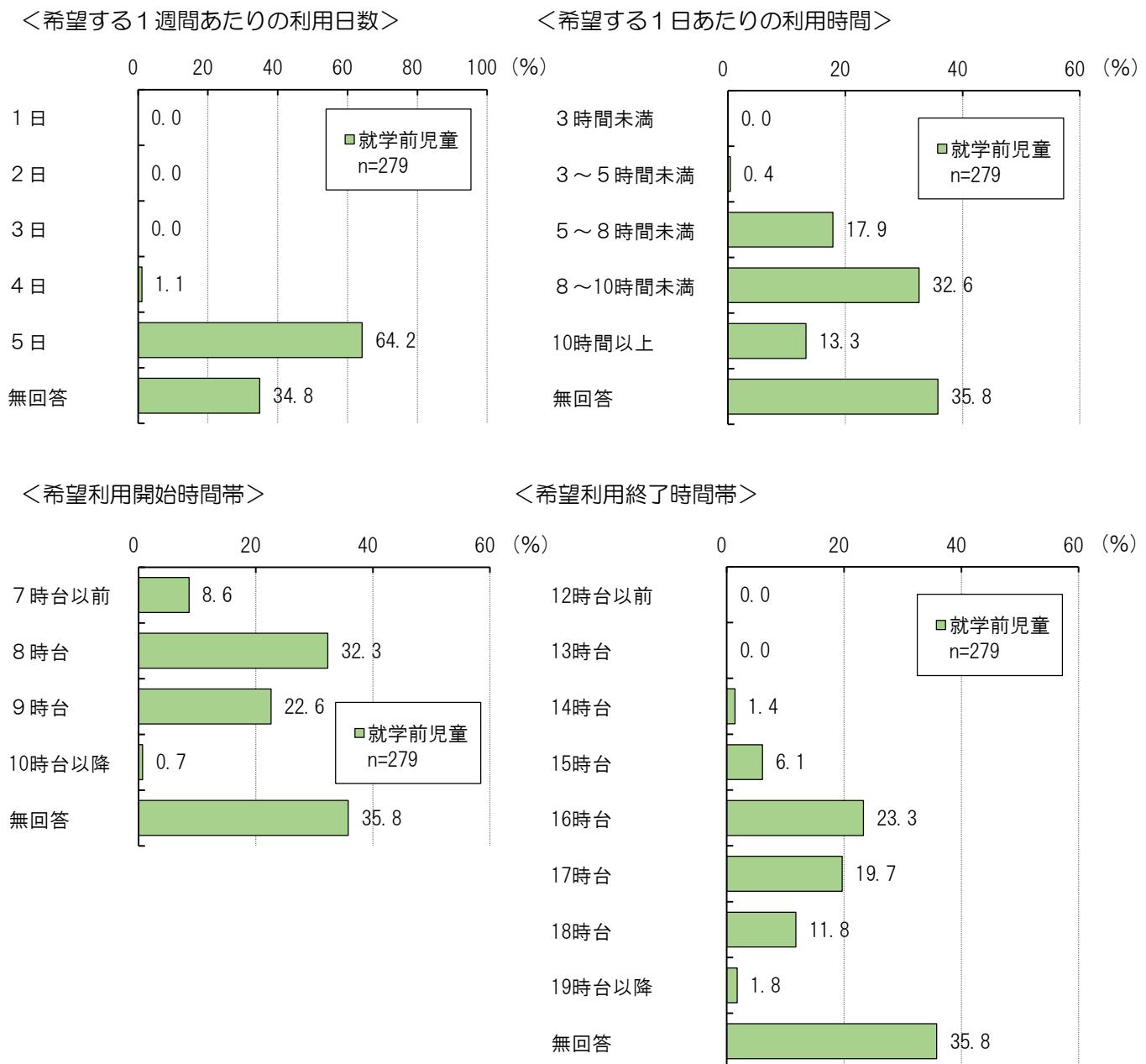


<現在の利用開始時間帯>



<現在の利用終了時間帯>



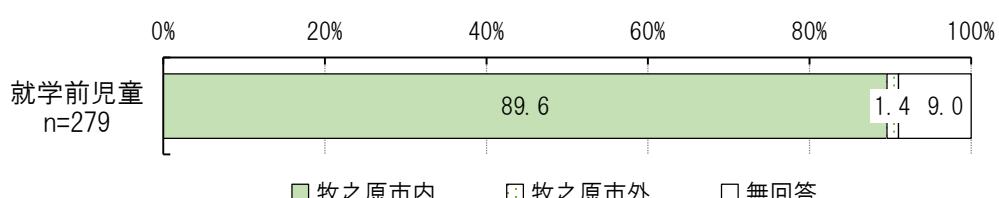


4-4 4-1で「利用している」と回答した人のみ

現在、利用している定期的な教育・保育事業の実施場所（単数回答）

【就学前：問13-3】

- 利用している定期的な教育・保育事業の実施場所は、「牧之原市内」が89.6%、「牧之原市外」が1.4%となっている。

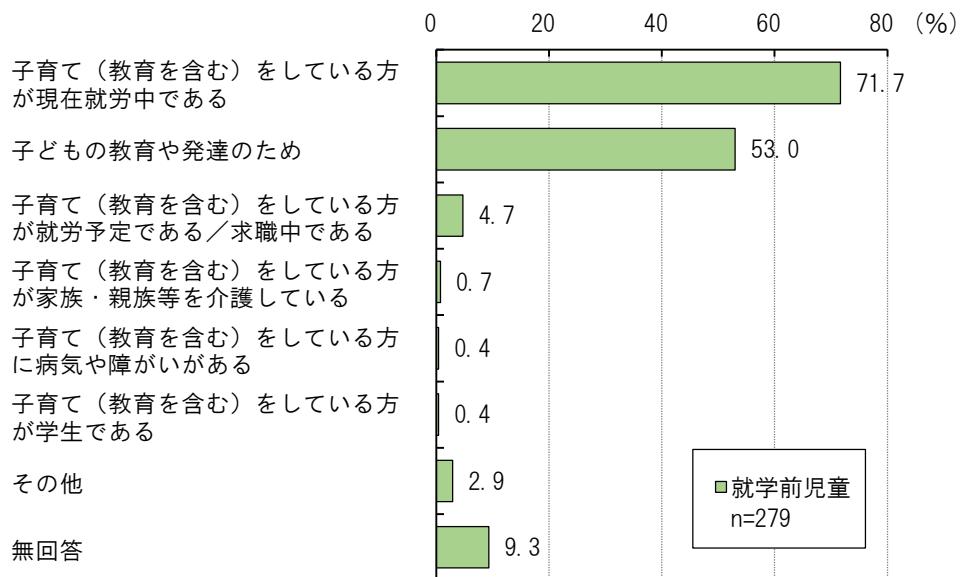


4-5 4-1で「利用している」と回答した人のみ

平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由（複数回答可）

【就学前：問13-4】

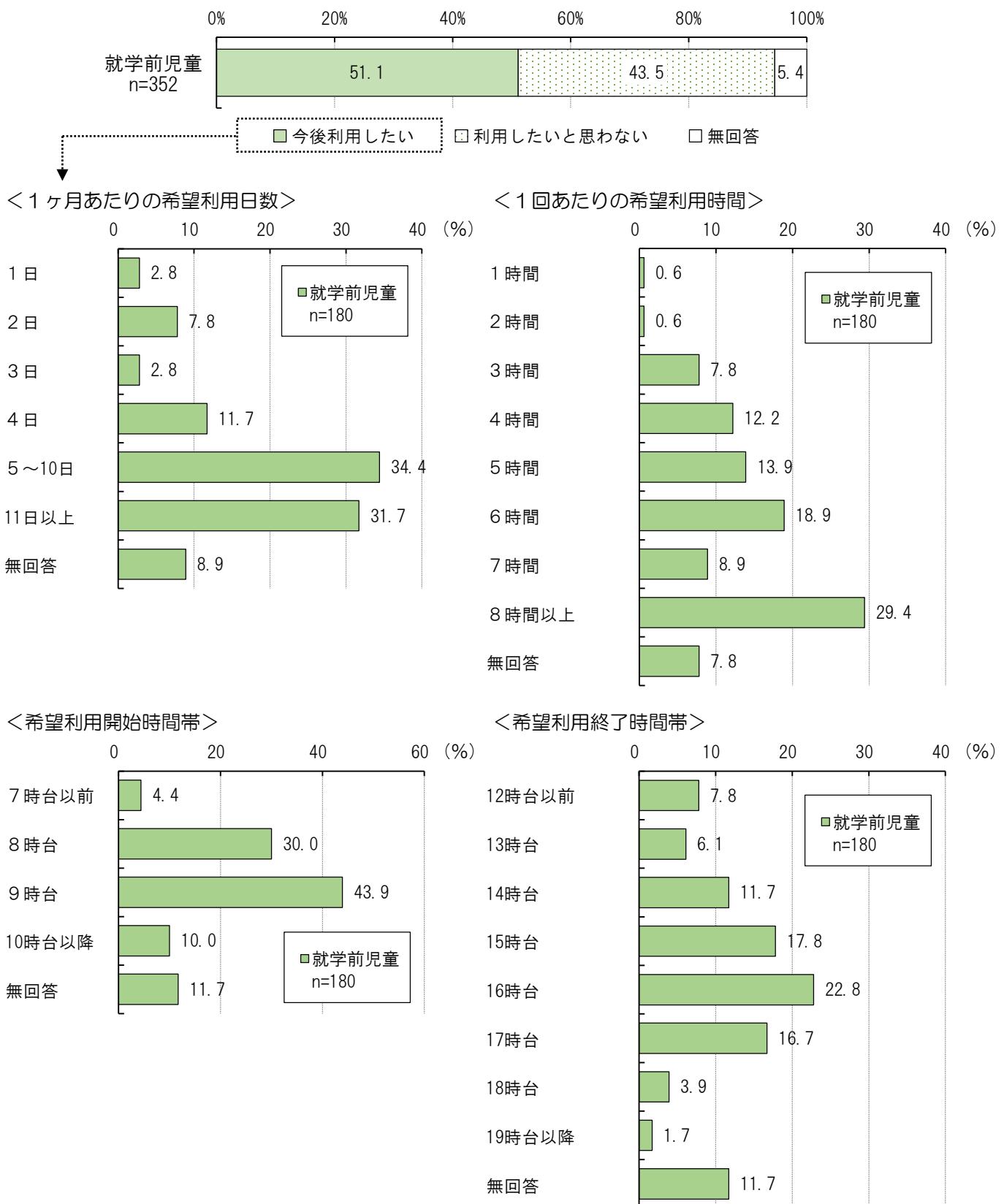
- 定期的な教育・保育事業を利用している理由については、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労中である」が71.7%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が53.0%などとなっている。



4-6 「こども誰でも通園制度」の利用意向（単数回答）

【就学前：問14】

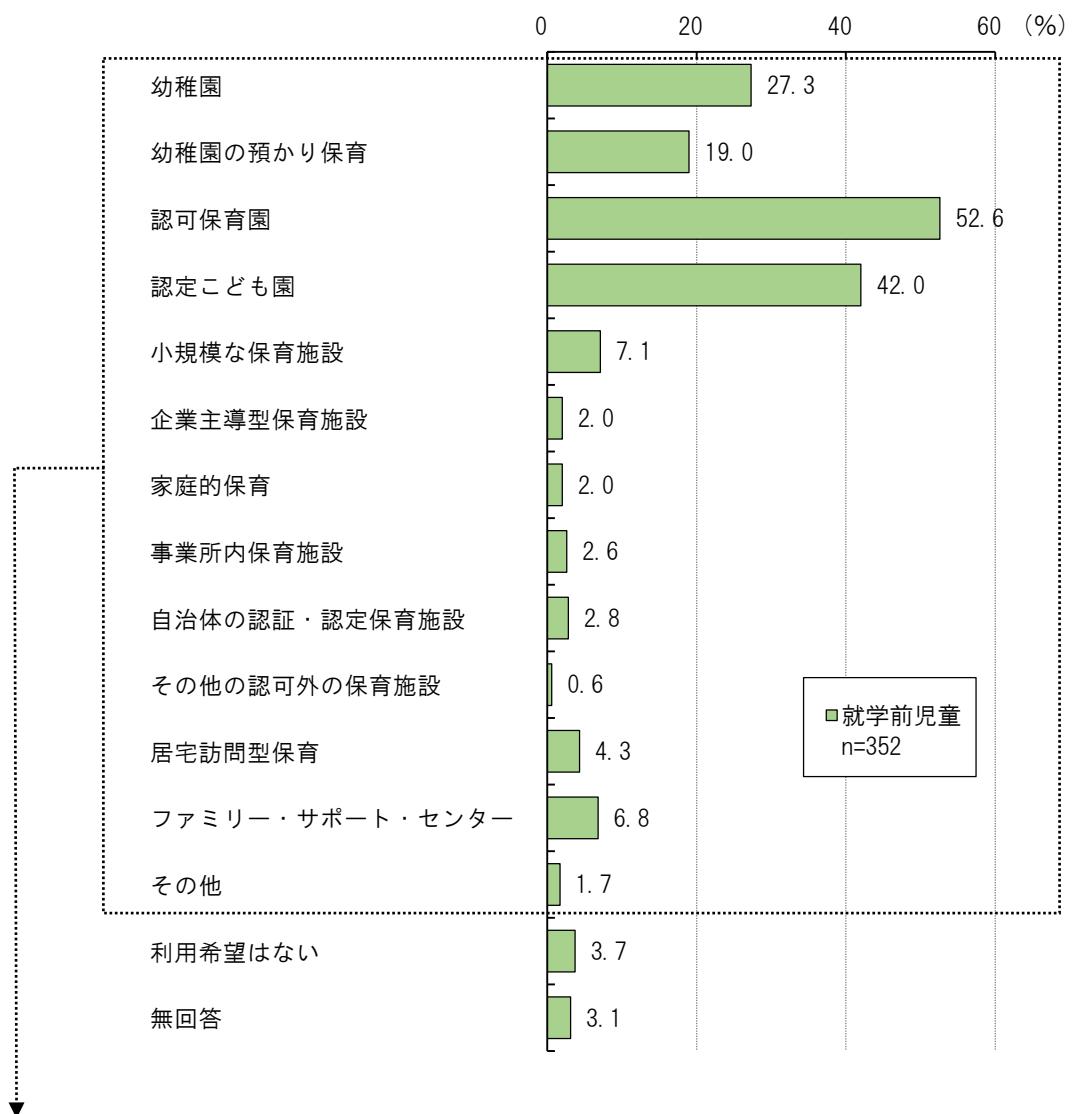
- 「こども誰でも通園制度」の利用意向については、「今後利用したい」が51.1%、「利用したいと思わない」が43.5%となっている。
- 利用意向のある人の1ヶ月あたりの希望利用頻度については、日数は「5日～10日」が34.4%と最も多く、1回あたりの利用時間は「8時間以上」が29.4%と最も多くなっている。



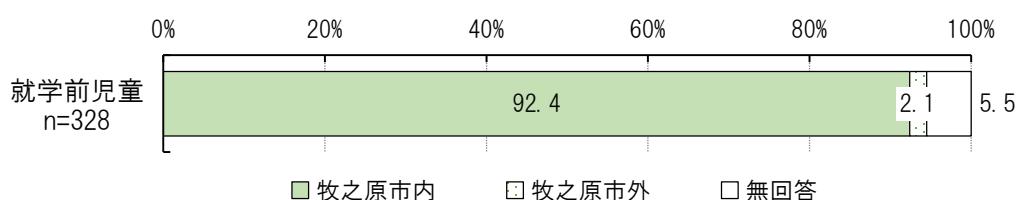
4-7 定期的に利用したいと考える平日の教育・保育事業（複数回答可）
及び、教育・保育事業を利用したい場所（単数回答）

【就学前：問15・問15-1】

- 定期的に利用したいと考える平日の教育・保育事業については、「認可保育園」が52.6%と最も多く、次いで「認定こども園」が42.0%、「幼稚園」が27.3%などとなっている。
- 教育・保育事業を利用したい場所は、「牧之原市内」が92.4%、「牧之原市外」が2.1%となっている。



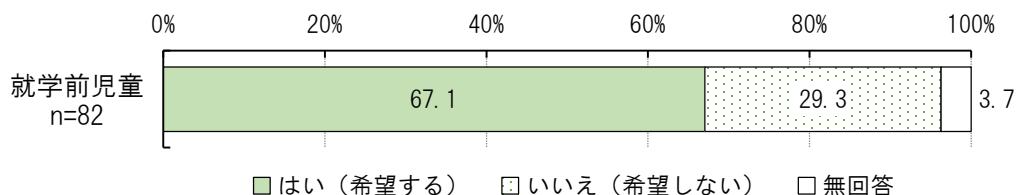
<利用したい場所>



4-8 4-7で「幼稚園・幼稚園の預かり教育」を選び、かつその他の事業も希望した人のみ
特に幼稚園の利用を希望するか（単数回答）

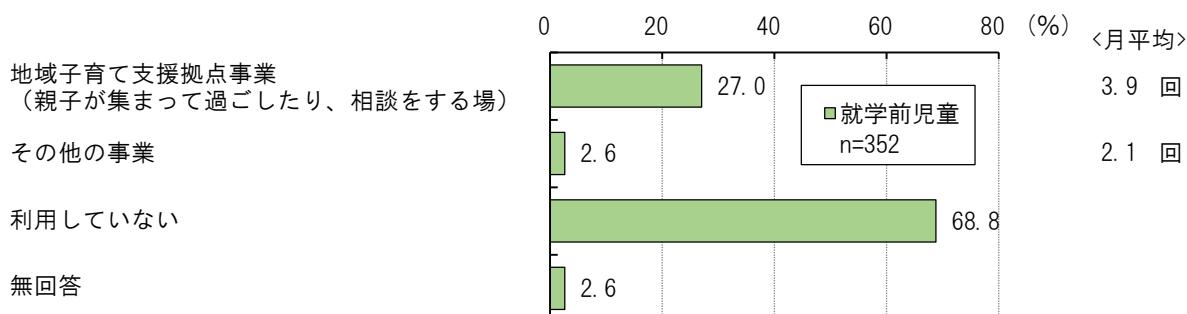
【就学前：問15-2】

- 希望する平日の教育・保育事業において、特に幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい（希望する）」が67.1%、「いいえ（希望しない）」が29.3%となっている。

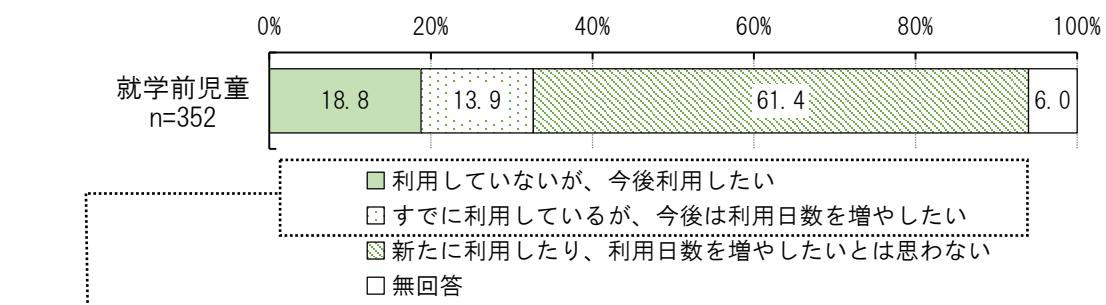
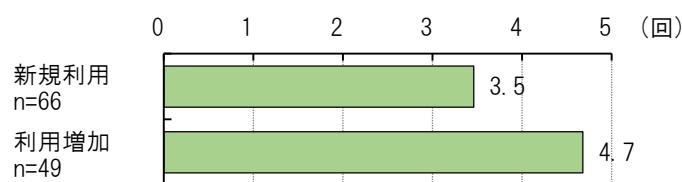


※就学前児童のみ**5. 地域の子育て支援事業の利用状況について****5-1 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答可）
及び、その利用頻度（利用回数）****【就学前：問16】**

- ・地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「利用していない」が68.8%と最も多くなっており、地域子育て支援拠点事業を利用している人の割合は28.6%となっている。
- ・利用している地域子育て支援拠点事業は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が27.0%であり、1ヶ月あたりの利用頻度は平均3.9回となっている。

**5-2 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向（単数回答）
及び、その利用頻度（利用回数）****【就学前：問17】**

- ・今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が61.4%と6割を超えて最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が18.8%、「すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい」が13.9%となっている。
- ・利用意向のある人の1ヶ月あたりの利用頻度については、「利用していないが、今後利用したい」において平均3.5回、「すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい」においては平均4.7回となっている。

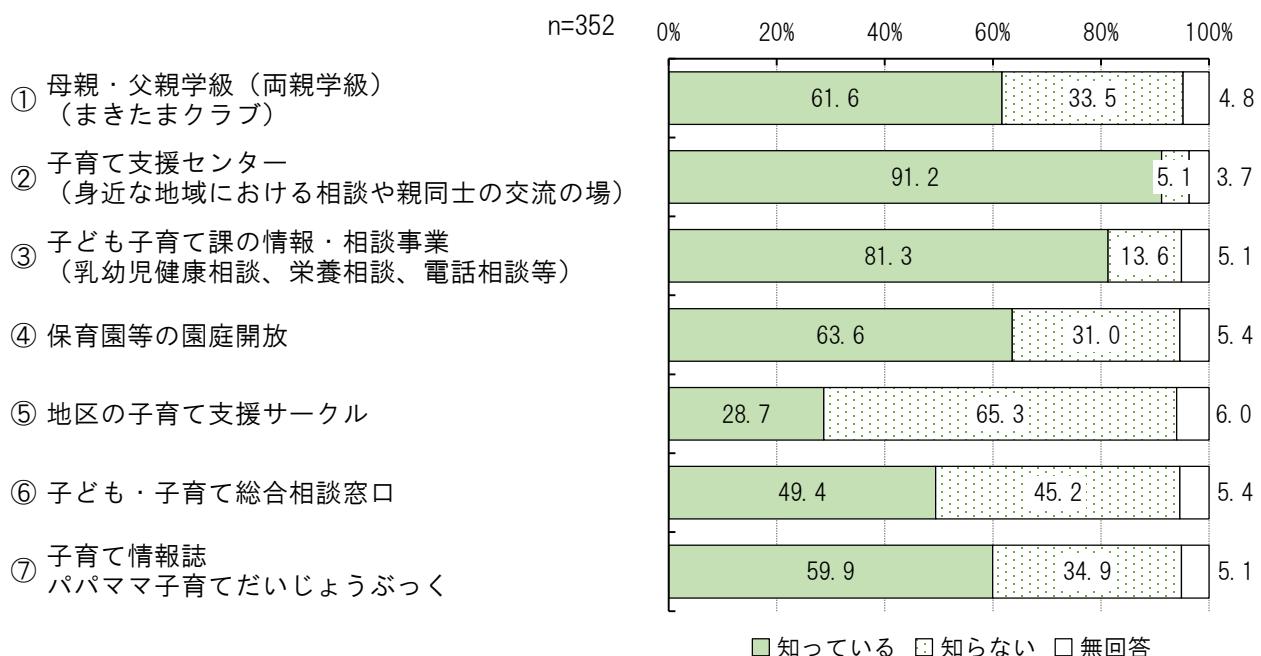
**<1ヶ月あたりの希望平均利用回数>**

5-3 牧之原市で実施している事業の認知度・利用経験の有無・今後の利用意向（単数回答）

【就学前：問18】

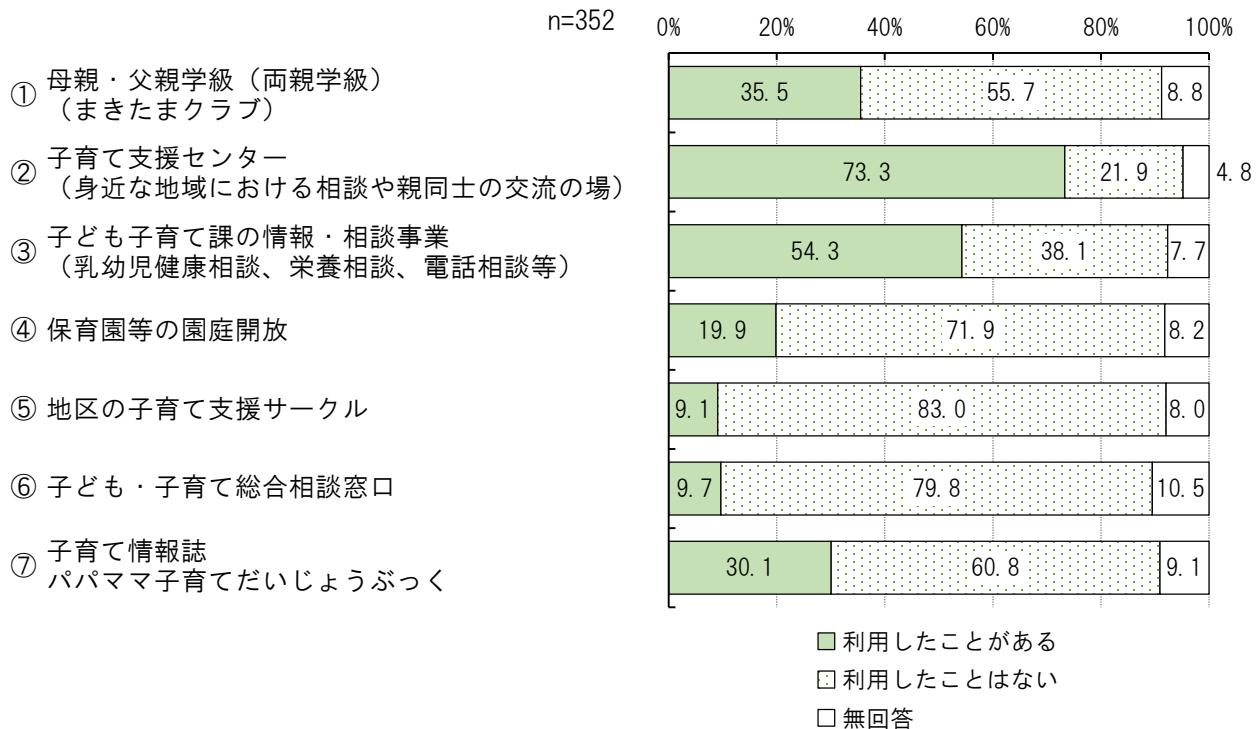
(1) 認知度

- ・牧之原市で実施している事業の認知度については、「知っている」が多いものの上位3項目は、【②子育て支援センター（身近な地域における相談や親同士の交流の場）】(91.2%)、【③子ども子育て課の情報・相談事業（乳幼児健康相談、栄養相談、電話相談等）】(81.3%)、【④保育園等の園庭開放】(63.6%)の順となっている。
- ・一方、「知っている」が少ないものは、【⑤地区の子育て支援サークル】(28.7%)、【⑥子ども・子育て総合相談窓口】(49.4%)、【⑦子育て情報誌パパママ子育てだいじょうぶっく】(59.9%)の順となっている。



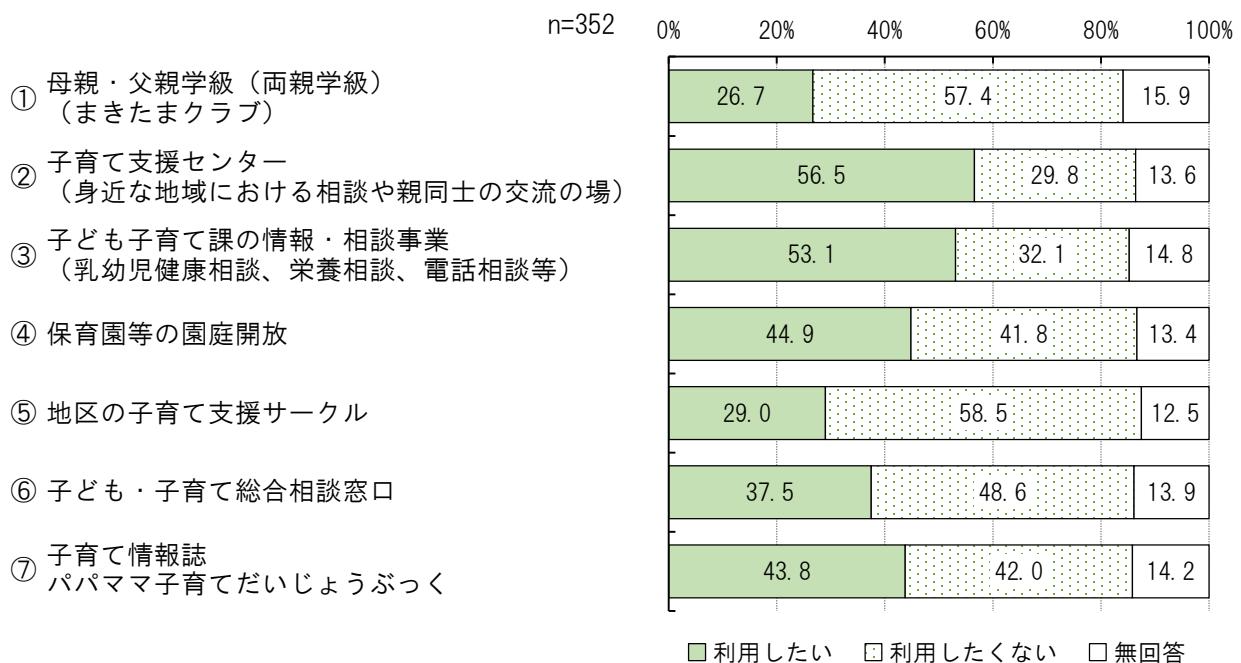
(2) 利用経験の有無

- 利用経験の有無については、「利用したことがある」が多いものの上位3項目は、【②子育て支援センター（身近な地域における相談や親同士の交流の場）】(73.3%)、【③子ども子育て課の情報・相談事業（乳幼児健康相談、栄養相談、電話相談等）】(54.3%)、【①母親・父親学級（両親学級）（まきたまクラブ）】(35.5%) の順となっている。
- 一方、「利用したことがある」が少ないものは、【⑤地区の子育て支援サークル】(9.1%)、【⑥子ども・子育て総合相談窓口】(9.7%)、【④保育園等の園庭開放】(19.9%) の順となっている。



(3) 今後の利用意向

- 今後の利用意向については、「利用したい」が多いものの上位3項目は、【②子育て支援センター（身近な地域における相談や親同士の交流の場）】（56.5%）、【③子ども子育て課の情報・相談事業（乳幼児健康相談、栄養相談、電話相談等）】（53.1%）、【④保育園等の園庭開放】（44.9%）の順となっている。
- 一方、「利用したい」が少ないものは、【①母親・父親学級（両親学級）（まきたまクラブ）】（26.7%）、【⑤地区の子育て支援サークル】（29.0%）、【⑥子ども・子育て総合相談窓口】（37.5%）の順となっている。



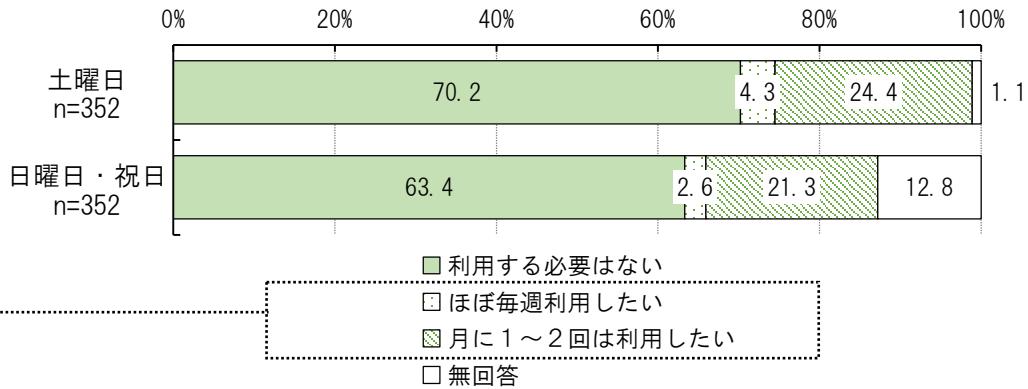
※就学前児童のみ

6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

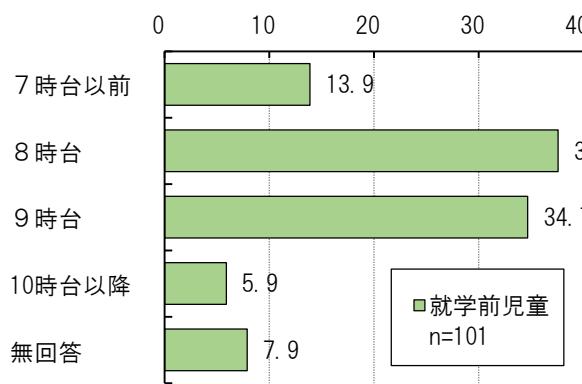
6-1 土曜日、日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向（単数回答）
及び、希望利用時間帯

【就学前：問19（1）・（2）】

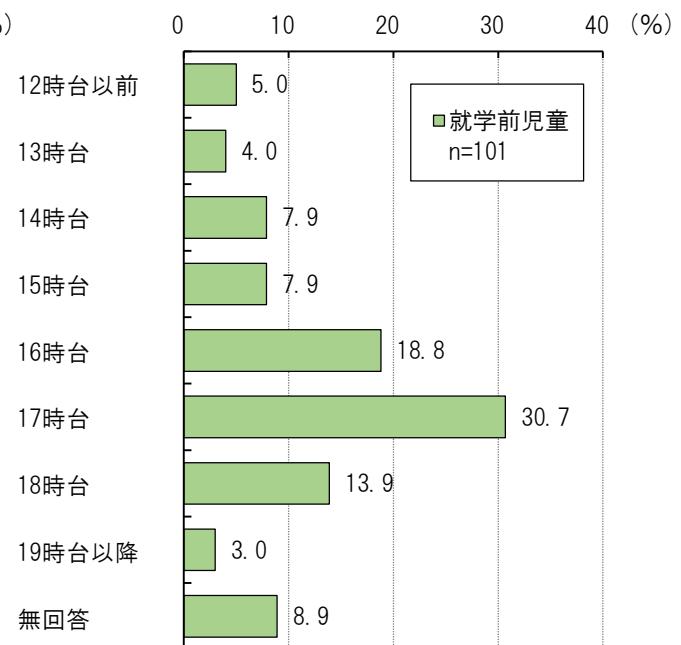
- ・土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向については、「利用する必要はない」（土曜日：70.2%、日曜日・祝日：63.4%）が土曜日、日曜日・祝日ともに6割～7割を超えて最も多くなっている。
- ・「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合計した『利用意向のある人』が、土曜日において28.7%、日曜日・祝日においては23.9%となっている。



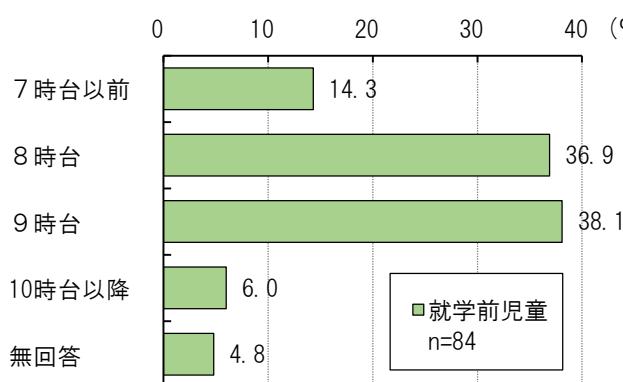
<土曜日の希望利用開始時間帯>



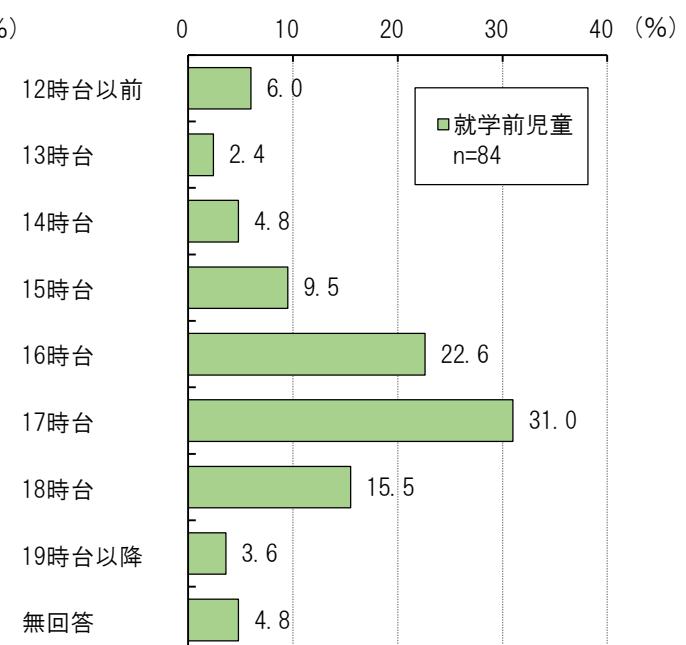
<土曜日の希望利用終了時間帯>



<日曜日・祝日の希望利用開始時間帯>



<日曜日・祝日の希望利用終了時間帯>

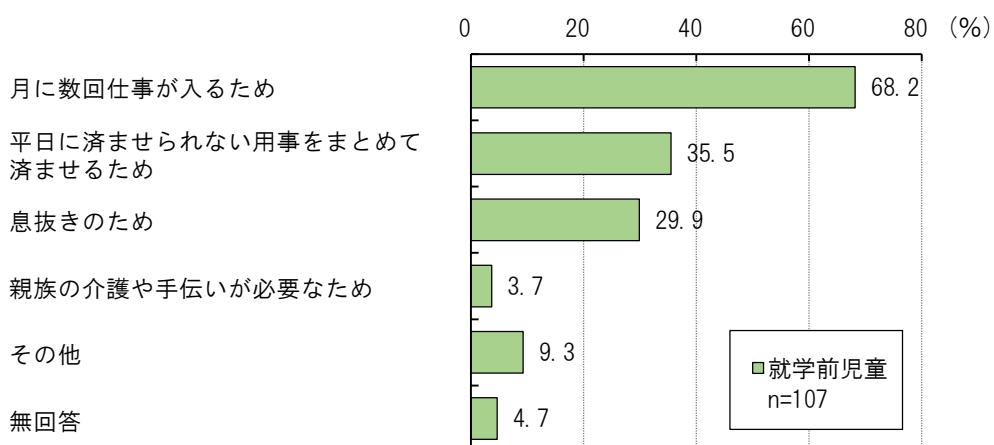


6-2 6-1で「月に1~2回は利用したい」と回答した人のみ

土曜日、日曜日・祝日に毎週ではなくたまに利用したい理由（複数回答可）

【就学前：問 19-1】

- 土曜日、日曜日・祝日に毎週ではなくたまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が68.2%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.5%、「息抜きのため」が29.9%などとなっている。

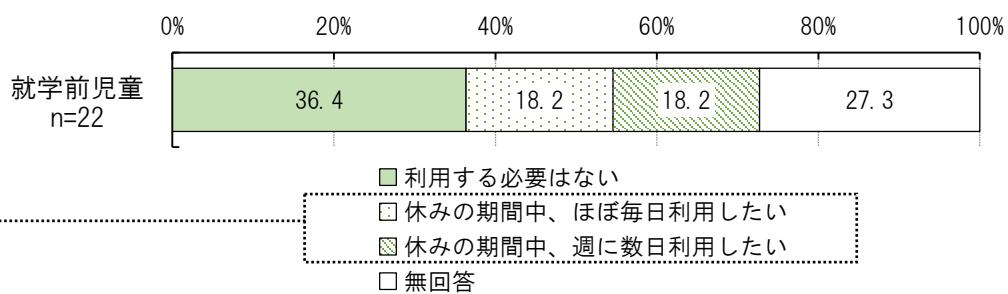


6-3 「幼稚園・認定こども園（幼稚部）」を利用している人のみ

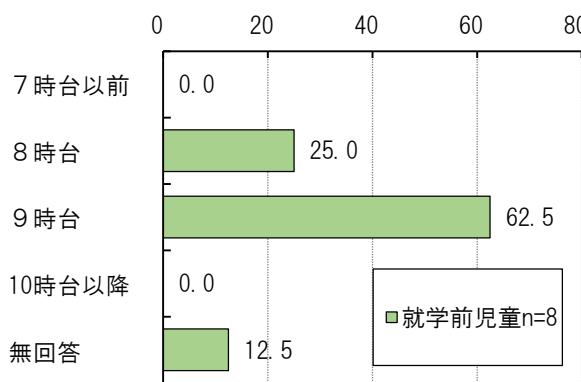
長期休暇の期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向（単数回答）
及び、希望利用時間帯

【就学前：問20】

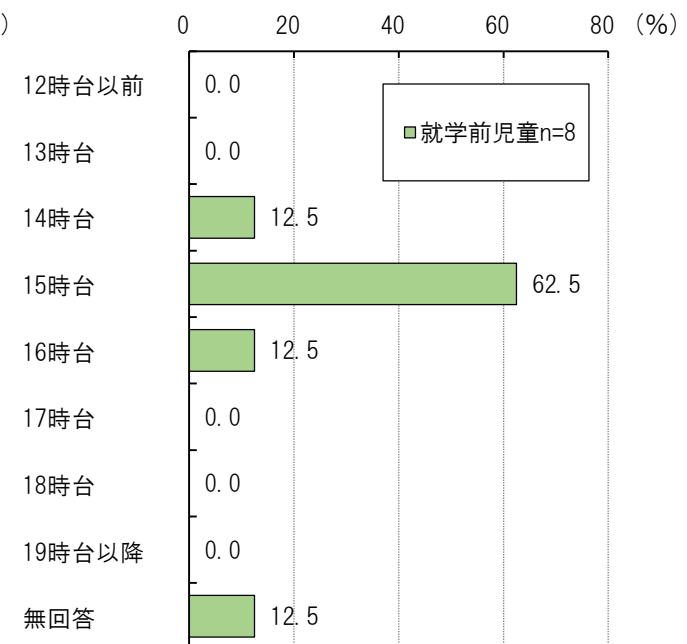
- 幼稚園・認定こども園（幼稚部）利用者の長期休暇の期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合計した『休みの期間中に利用したい』が36.4%となっている。



<希望利用開始時間帯>



<希望利用終了時間帯>



6-4 6-3で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人のみ

毎日ではなく、たまに利用したい理由（複数回答可）

【就学前：問20-1】

- 休みの期間中、週に数日利用したい人（4人）が毎日ではなく、たまに利用したい理由については、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が3人、「週に数回仕事が入るため」「息抜きのため」「その他」がともに1人であった。

※就学前児童は、対象の子どもが平日の定期的な教育・保育事業を利用している回答者のみ

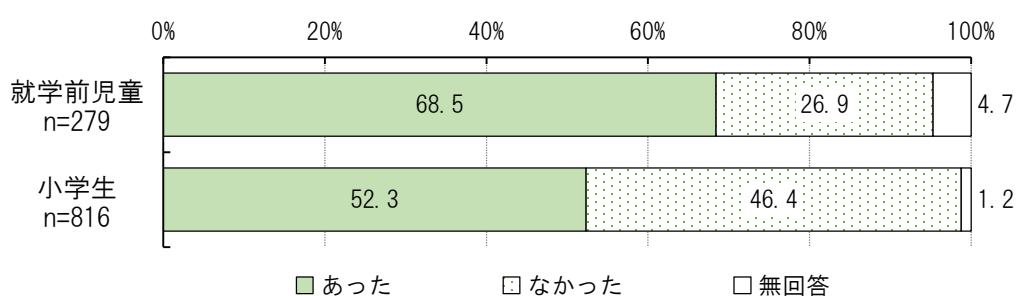
7. 病気やケガ等の際の対応について

7-1 過去1年間に子どもが病気やケガで学校を休んだり保育サービスを利用できなかったことの有無
(単数回答)

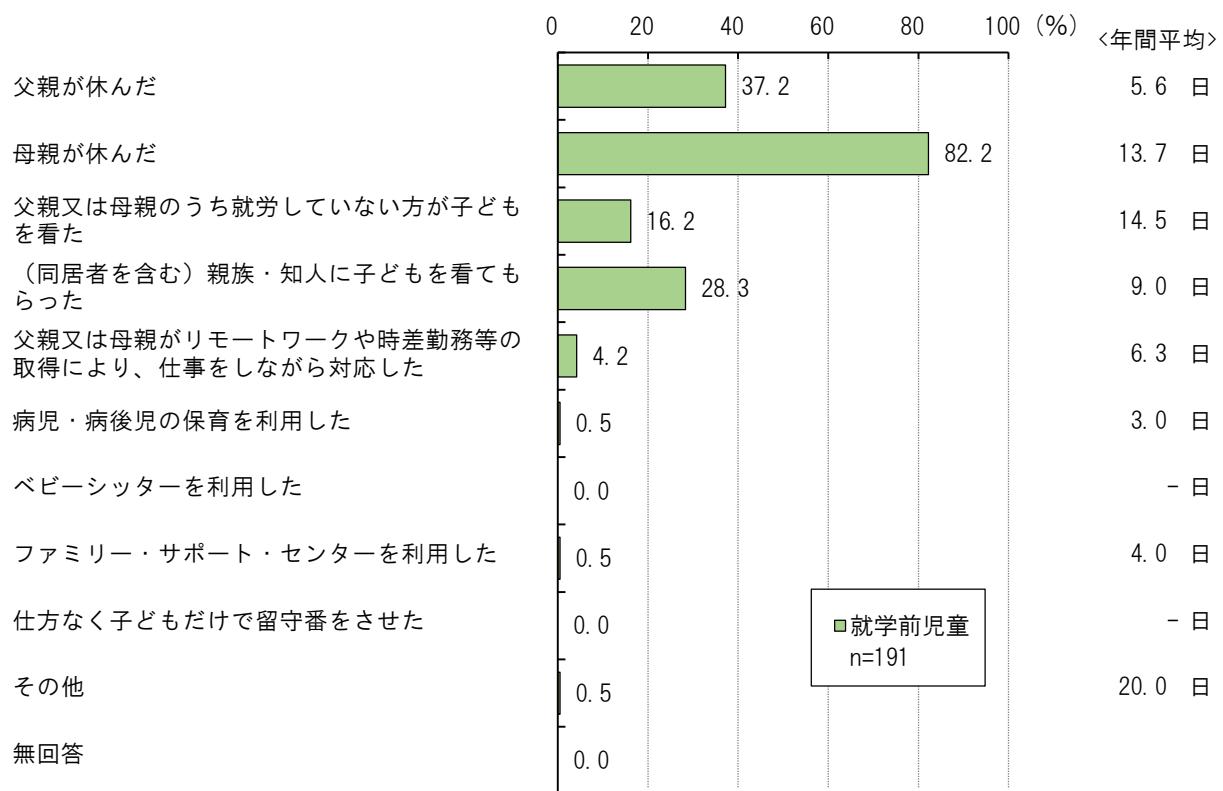
及び、定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法（複数回答可）

【就学前：問21・問21-1、小学生：問15・問15-1】

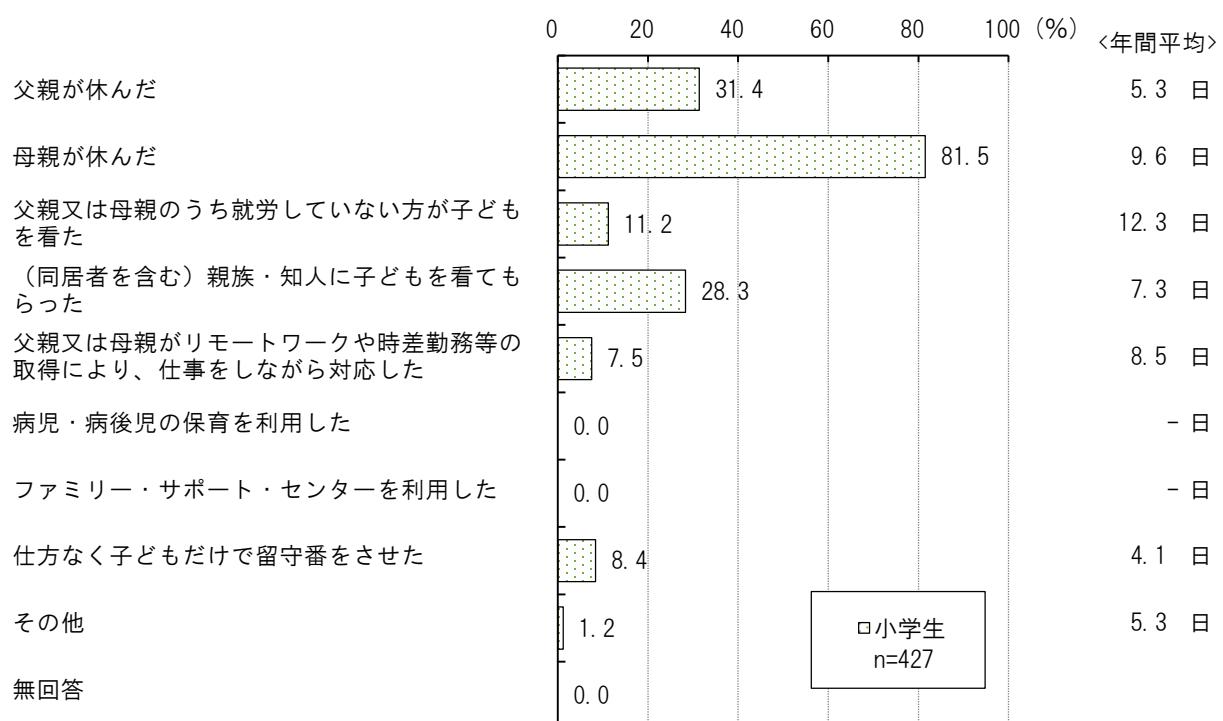
- 過去1年間に子どもが病気やケガで学校を休んだり保育サービスを利用できなかったことの有無については、就学前児童において「あった」が68.5%、「なかった」が26.9%となっている。小学生においては「あった」が52.3%、「なかった」が46.4%となっている。
- 学校を休んだり保育サービスを利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」（就学前児童：82.2%、小学生：81.5%）が就学前児童、小学生ともに8割を超えて最も多くなっている。



＜就学前児童 対処方法・年間平均利用日数＞



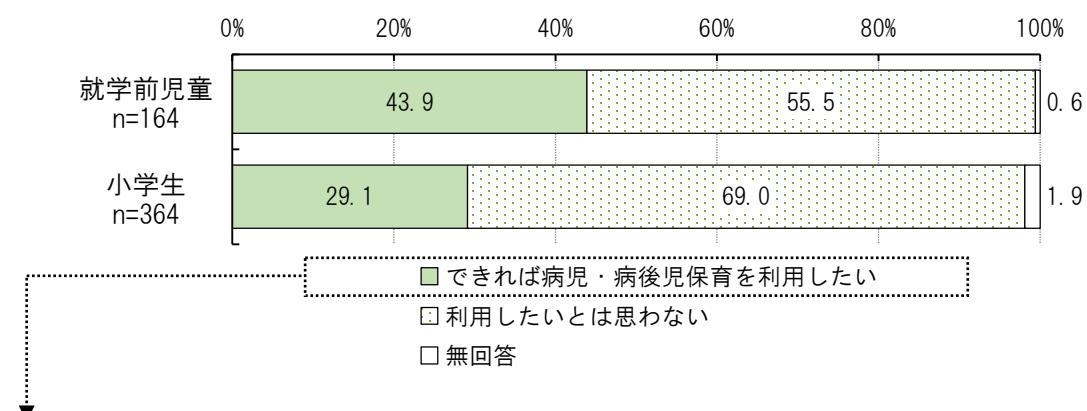
＜小学生 対処方法・年間平均利用日数＞



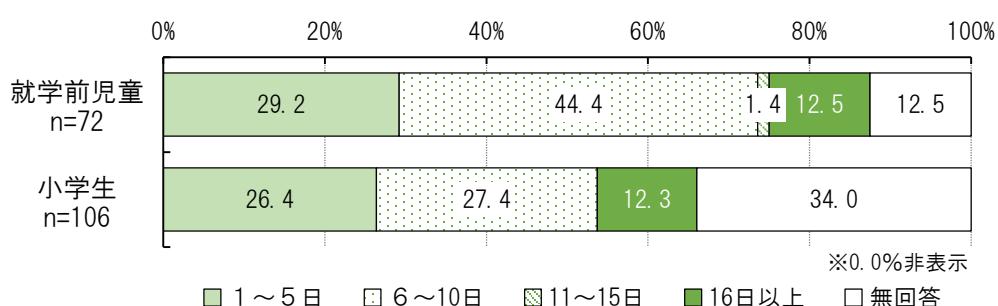
7-2 過去1年間に子どもが病気やケガで学校を休んだり保育サービスが利用できなかった時に
父親または母親が仕事を休んだ人のみ
病児・病後児保育の利用意向（単数回答）
及び、希望する事業形態（複数回答可）

【就学前：問21-2、小学生：問15-2】

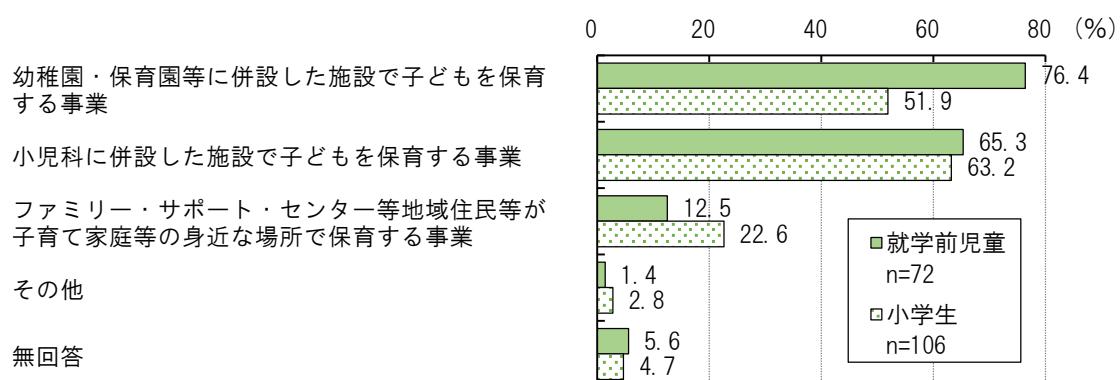
- 病児・病後児保育の利用意向については、就学前児童において「できれば病児・病後児保育を利用したい」が43.9%、「利用したいとは思わない」が55.5%となっている。小学生においては「できれば病児・病後児保育を利用したい」が29.1%、「利用したいとは思わない」が69.0%となっている。
- 利用意向のある人の希望する事業形態については、就学前児童において「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が76.4%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が65.3%などとなっている。小学生においては「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が63.2%と最も多く、次いで「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が51.9%などとなっている。



＜利用したい年間日数＞



＜希望する事業形態＞

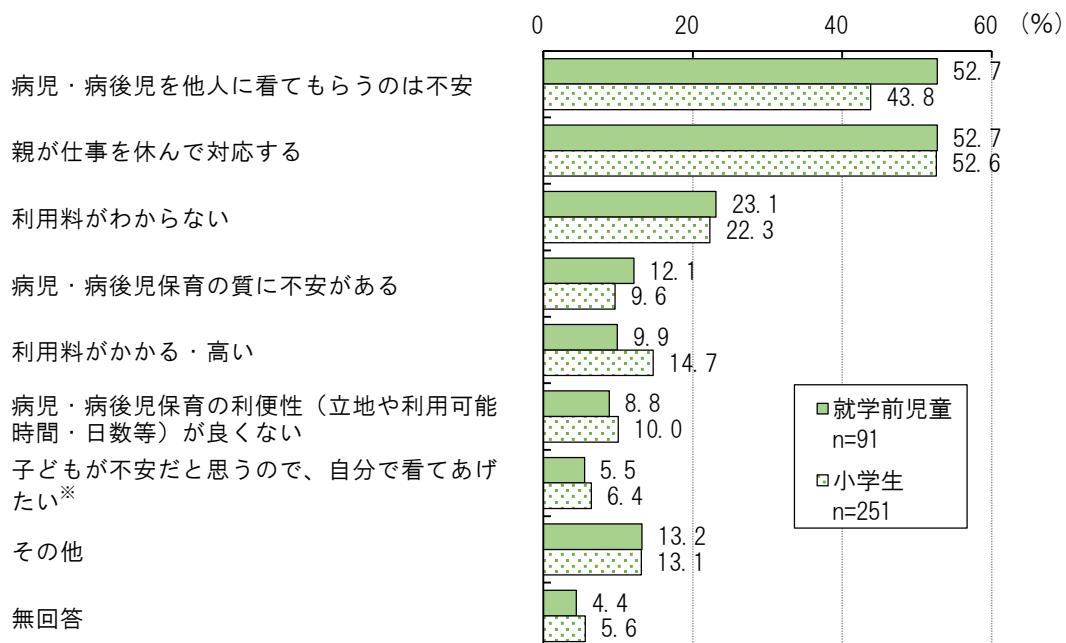


7-3 7-2で「(病児・病後児保育を) 利用したいとは思わない」と回答した人のみ

病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答可）

【就学前：問21-4、小学生：問15-4】

- 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由については、就学前児童において「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」「親が仕事を休んで対応する」がともに52.7%と最も多く、次いで「利用料がわからない」が23.1%などとなっている。小学生においては「親が仕事を休んで対応する」が52.6%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が43.8%、「利用料がわからない」が22.3%などとなっている。

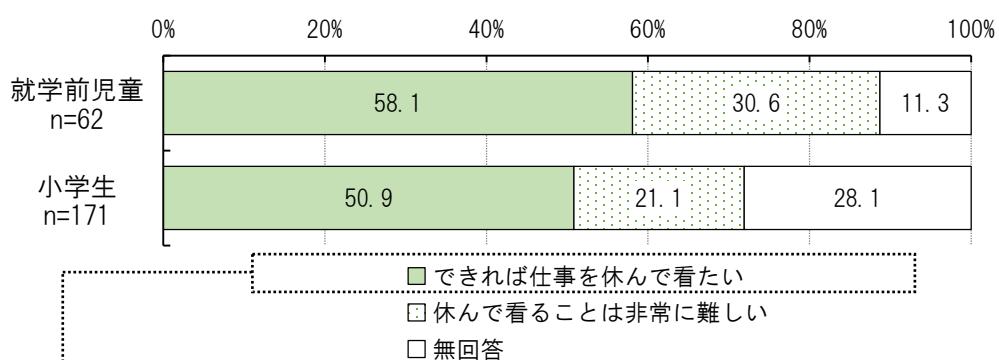


※「子どもが不安だと思うので、自分で見てあげたい」は、「その他」より回答の多かったもの。

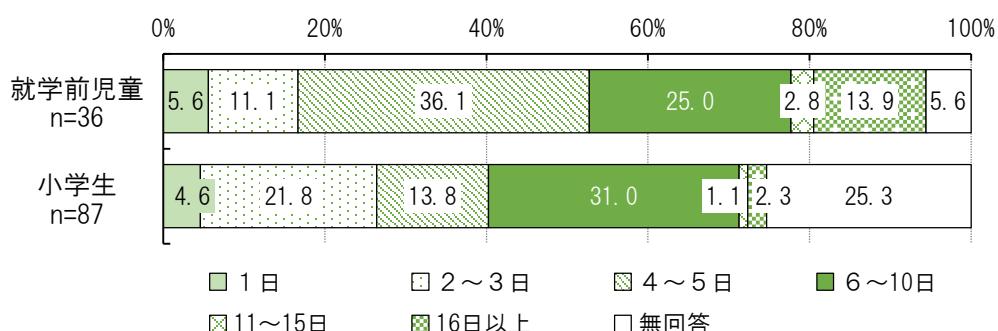
7-4 過去1年間に子どもが病気やケガで学校を休んだり保育サービスが利用できなかった時に
父親または母親が仕事を休む以外で対処をした人のみ
仕事を休んで子どもを看たいと思ったか（単数回答）

【就学前：問21-5、小学生：問15-5】

・子どもが病気やケガで学校を休んだり保育サービスが利用できなかった時に、父親または母親が仕事を休む以外で対処をした際の仕事の休暇取得希望については、就学前児童において「できれば仕事を休んで看たい」が58.1%、「休んで看ることは非常に難しい」が30.6%となっている。小学生においては「できれば仕事を休んで看たい」が50.9%、「休んで看ることは非常に難しい」が21.1%となっている。



＜休んで看たい年間日数＞

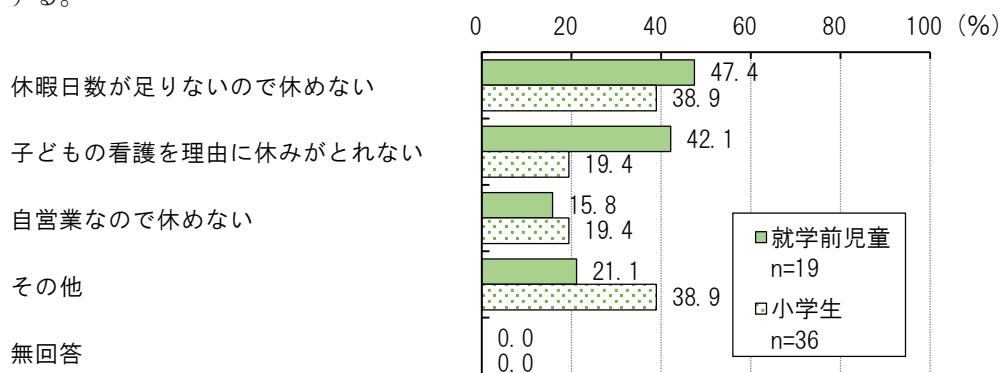


7-5 7-4で「休んで看ることは非常に難しい」と回答した人のみ

仕事を休んで子どもを見るのが難しい理由（複数回答可）

【就学前：問21-6、小学生：問15-6】

・仕事を休んで子どもを見るのが難しい理由については、小学生において「休暇日数が足りないので休めない」が38.9%と最も多くなっている。就学前児童においては、回答者数が少ないため、参考掲載とする。



8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

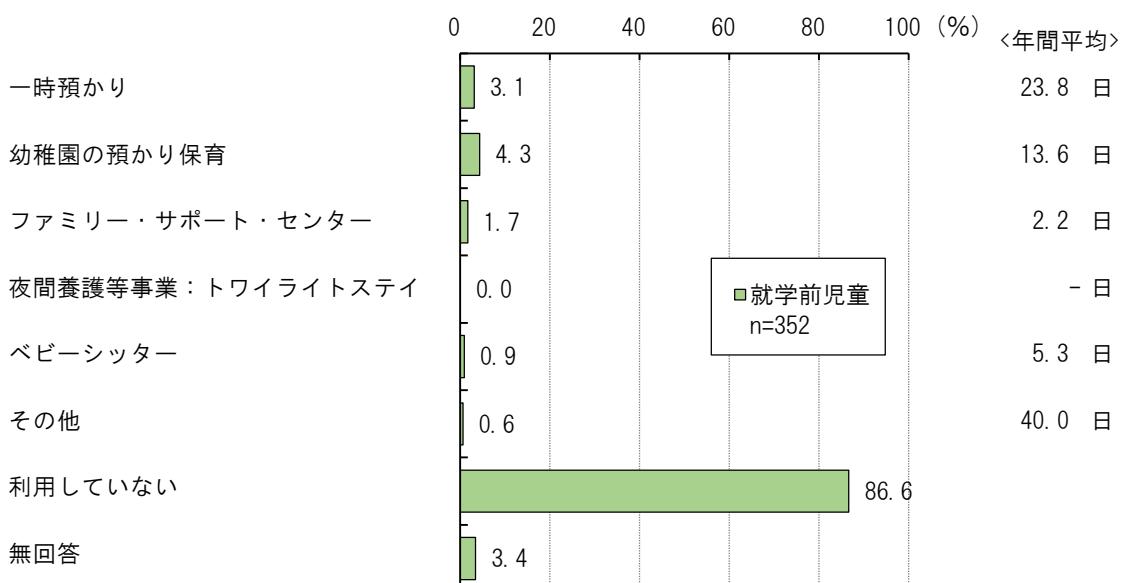
8-1 過去1年間の不定期での教育・保育事業の利用状況（複数回答可）

及び、不定期の教育・保育事業を利用していない理由（複数回答可）

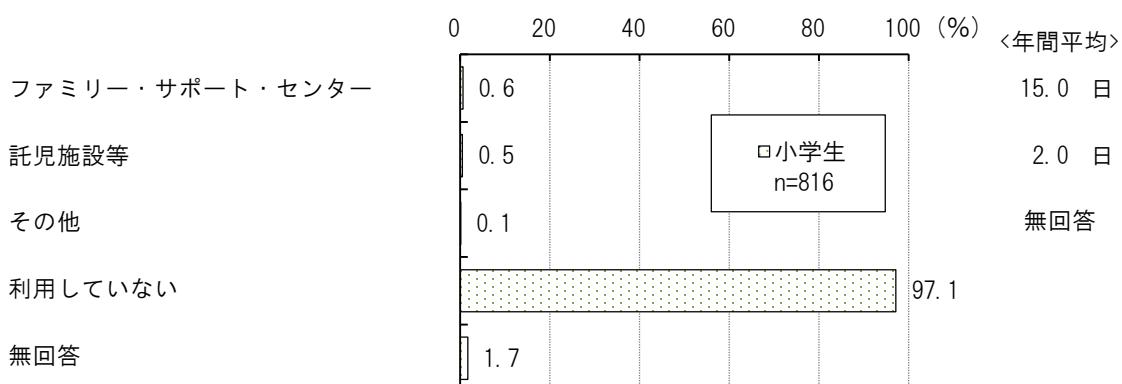
【就学前：問22・問22-1、小学生：問16・問16-1】

- ・不定期での教育・保育事業の利用状況については、「利用していない」（就学前児童：86.8%、小学生：97.1%）が就学前児童、小学生ともに最も多くなっている。また、利用している不定期での教育・保育事業については、就学前児童において「幼稚園の預かり保育」が4.3%、「一時預かり」が3.1%などとなっている。小学生においては「ファミリー・サポート・センター」が0.6%、「託児施設等」が0.5%などとなっている。
- ・利用していない理由については、「特に利用する必要がない」（就学前児童：65.6%、小学生：78.2%）が就学前児童、小学生ともに6割～7割を超えて最も多くなっている。

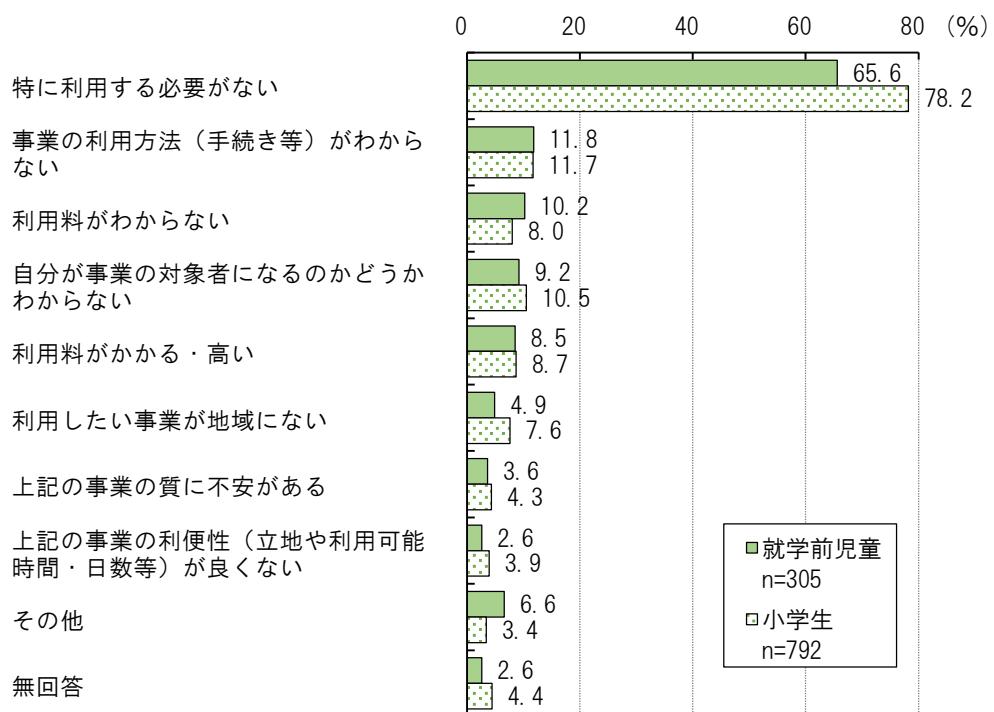
＜就学前児童＞



＜小学生＞



<利用していない理由>

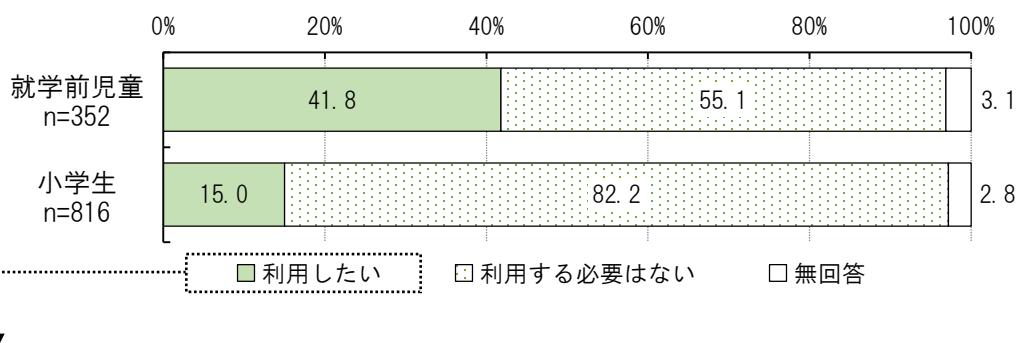


8-2 不定期での教育・保育事業の利用意向（単数回答）・利用目的（複数回答可）

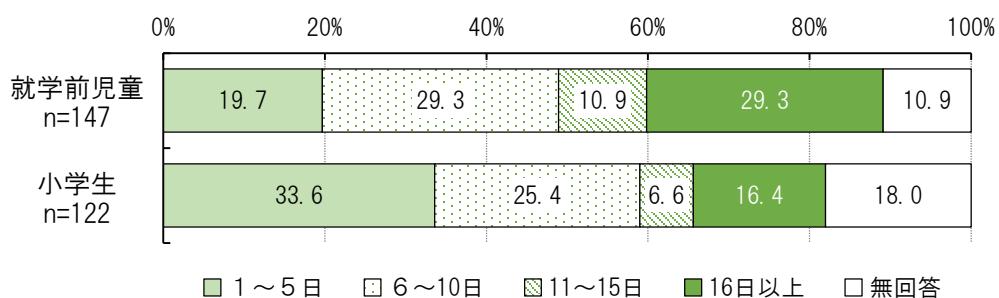
及び、希望する事業形態（複数回答可）

【就学前：問23・問23-1・問23-2、小学生：問17・問17-1・問17-2】

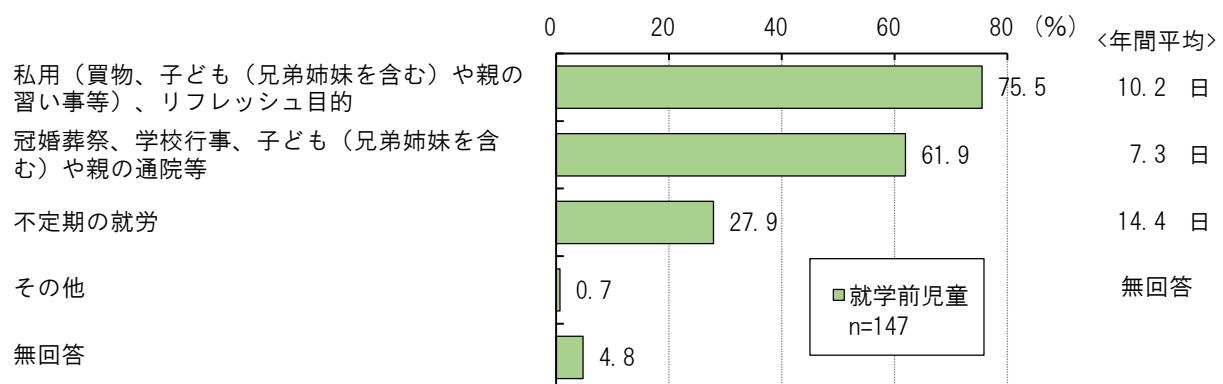
- ・不定期での教育・保育事業の今後の利用意向については、就学前児童において「利用したい」が41.8%、「利用する必要はない」が55.1%となっている。小学生においては「利用したい」が15.0%、「利用する必要はない」が82.2%となっている。
- ・利用意向のある人の利用目的については、就学前児童において「私用、リフレッシュ目的」が75.5%と最も多くなっている。小学生においては「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が68.9%と最も多くなっている。
- ・利用意向のある人の希望する事業形態については、就学前児童において「大規模施設で子どもを養育する事業」が66.7%と最も多くなっている。小学生においては「小規模施設で子どもを養育する事業」が60.7%と最も多くなっている。



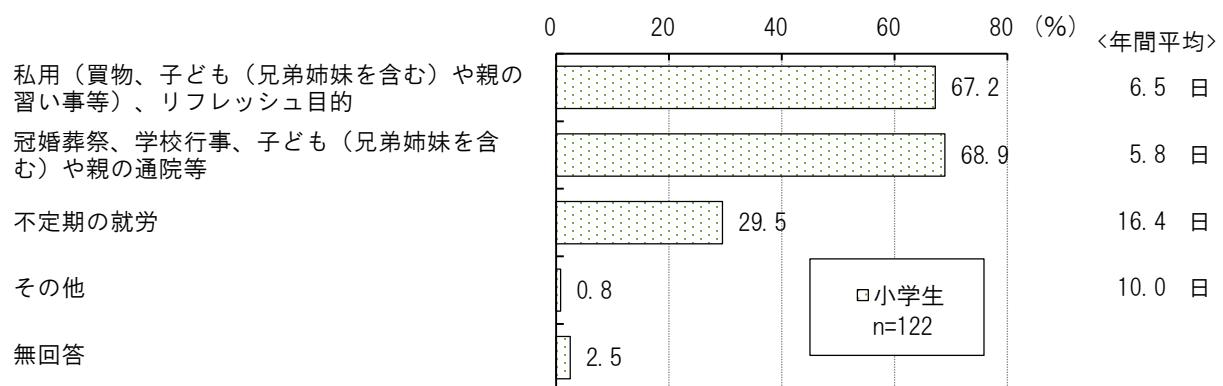
<利用したい年間日数>



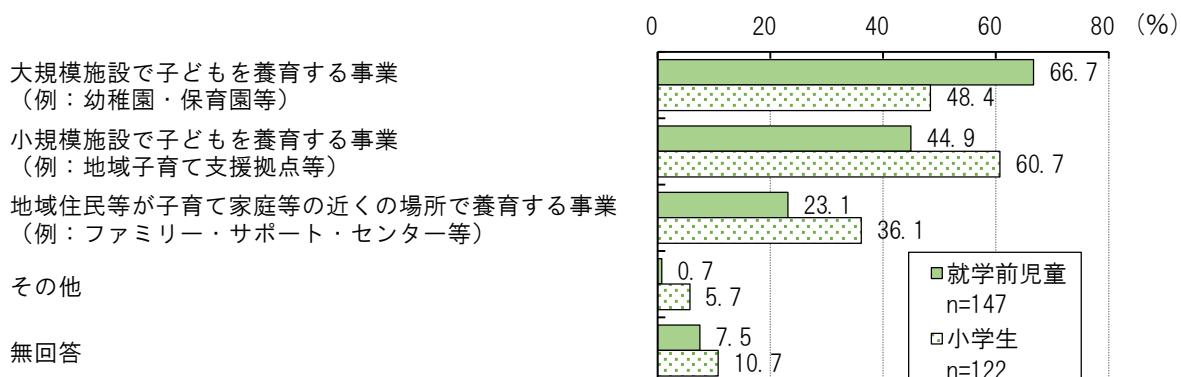
<就学前児童 利用目的・年間平均日数>



<小学生 利用目的・年間平均日数>



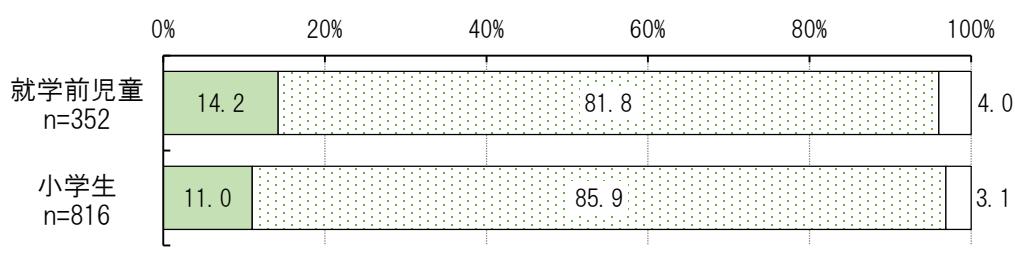
<希望する事業形態>



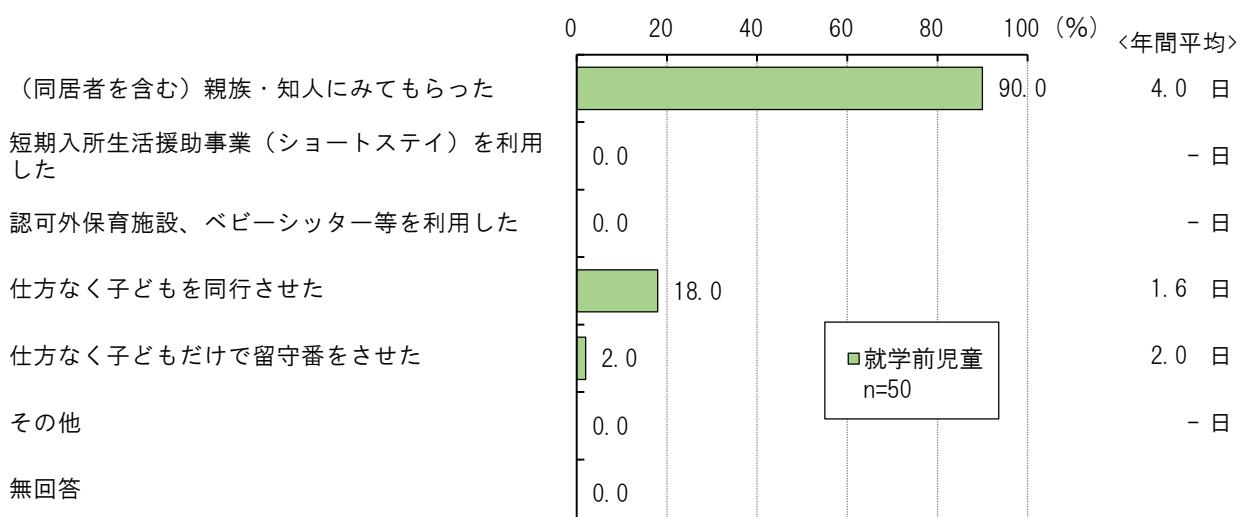
8-3 過去1年間に泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかつたことの有無（単数回答）
及び、その対処方法（複数回答可）

【就学前：問24・問24-1、小学生：問18・問18-1】

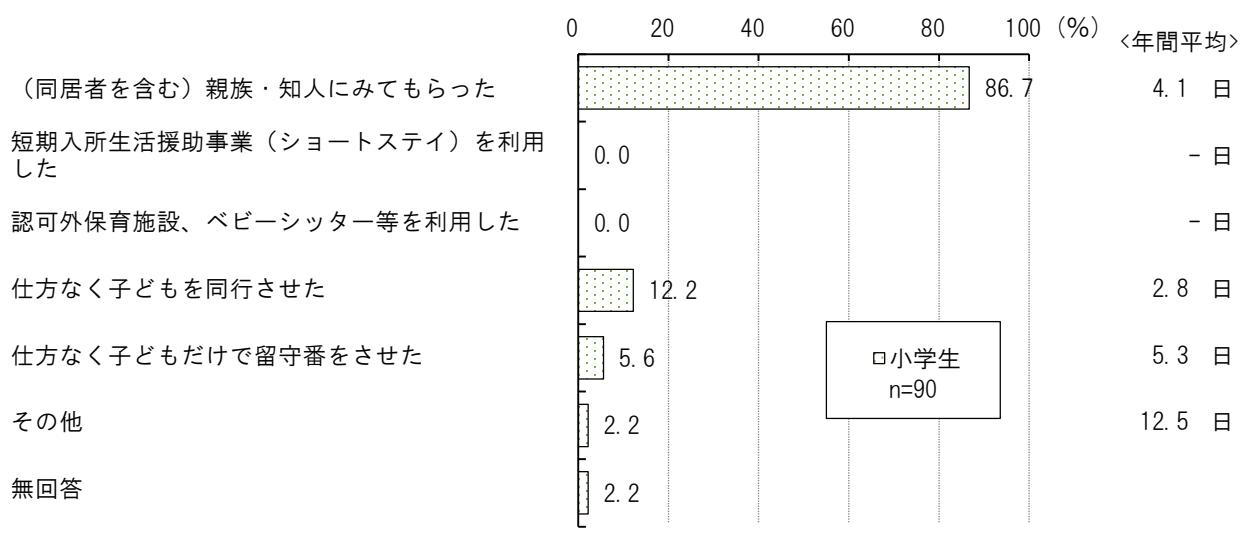
- 過去1年間に、保護者の用事により泊まりがけで家族以外に子どもをみてもらわなければならなかつたことの有無については、「なかつた」（就学前児童：81.8%、小学生：85.9%）が就学前児童、小学生ともに8割を超えている。
- 家族以外に泊まりがけで子どもをみてもらった人の対処方法については、「親族・知人にみてもらつた」（就学前児童：90.0%、小学生：86.7%）が就学前児童、小学生ともに9割前後と最も多くなっている。また、年間平均宿泊数は「親族・知人にみてもらった」が就学前児童において4.0日、小学生においては4.1日となっている。



＜就学前児童 対処方法・年間平均日数＞



＜小学生 対処方法・年間平均日数＞

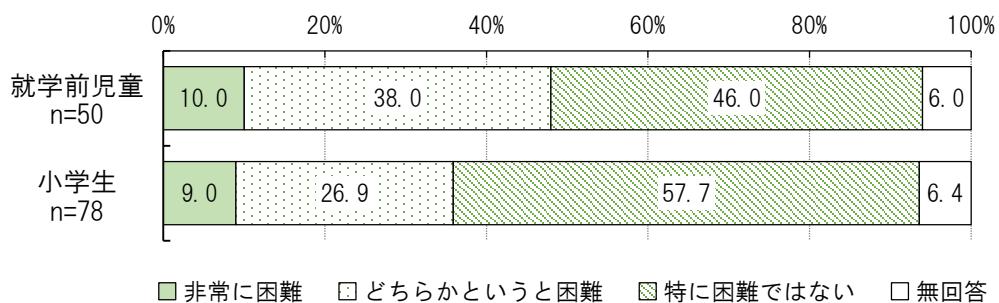


8-4 8-3で「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答した人のみ

親族・知人にみてもらった場合の困難度（単数回答）

【就学前：問 21-2、小学生：問 16-2】

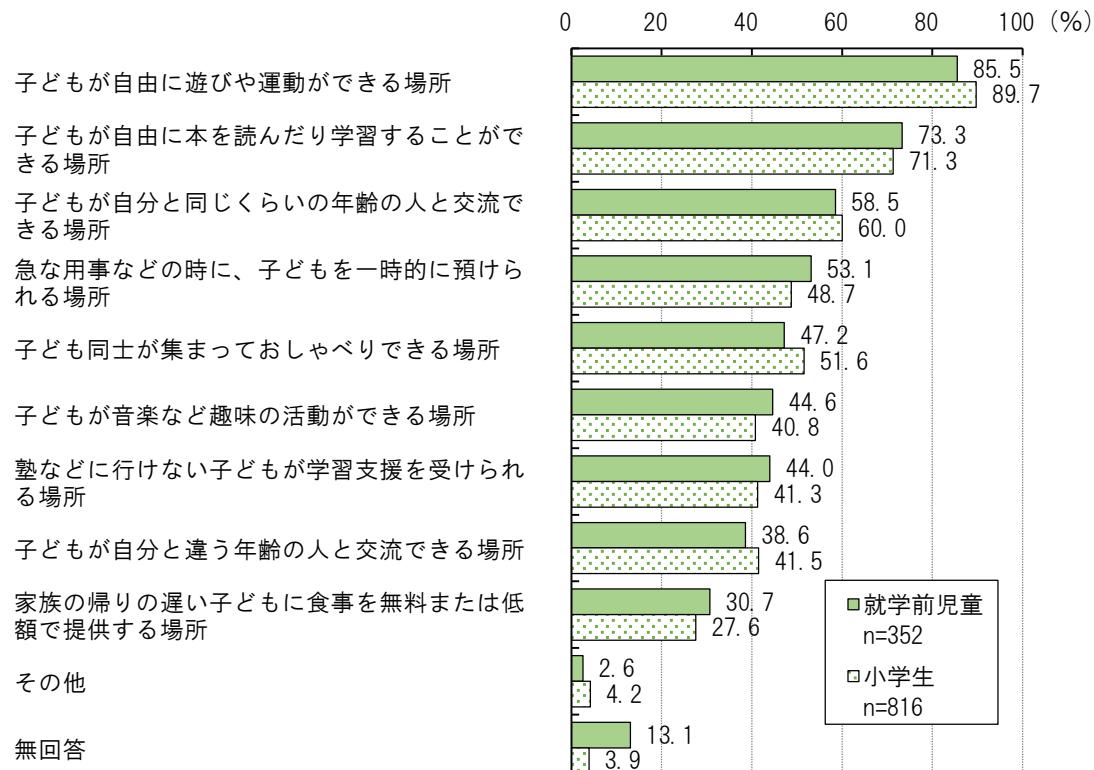
- 親族・知人にみてもらった場合の困難度については、「特に困難ではない」（就学前児童：46.0%、小学生：57.7%）が就学前児童、小学生ともに4割～5割を超えて最も多く、次いで「どちらかといふと困難」（就学前児童：38.0%、小学生：26.9%）などとなっている。



8-5 子どもが放課後に過ごす場所としてあれば良いと思う場所（複数回答可）

【就学前：問29、小学生：問19】

- ・子どもが放課後に過ごす場所としてあれば良いと思う場所については、「子どもが自由に遊びや運動ができる場所」（就学前児童：85.5%、小学生：89.7%）が就学前児童、小学生ともに8割を超えて最も多く、次いで「子どもが自由に本を読んだり学習することができる場所」（就学前児童：73.3%、小学生：71.3%）、「子どもが自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所」（就学前児童：58.5%、小学生：60.0%）などとなっている。



※対象の子どもが来年度小学校に入学する回答者のみ

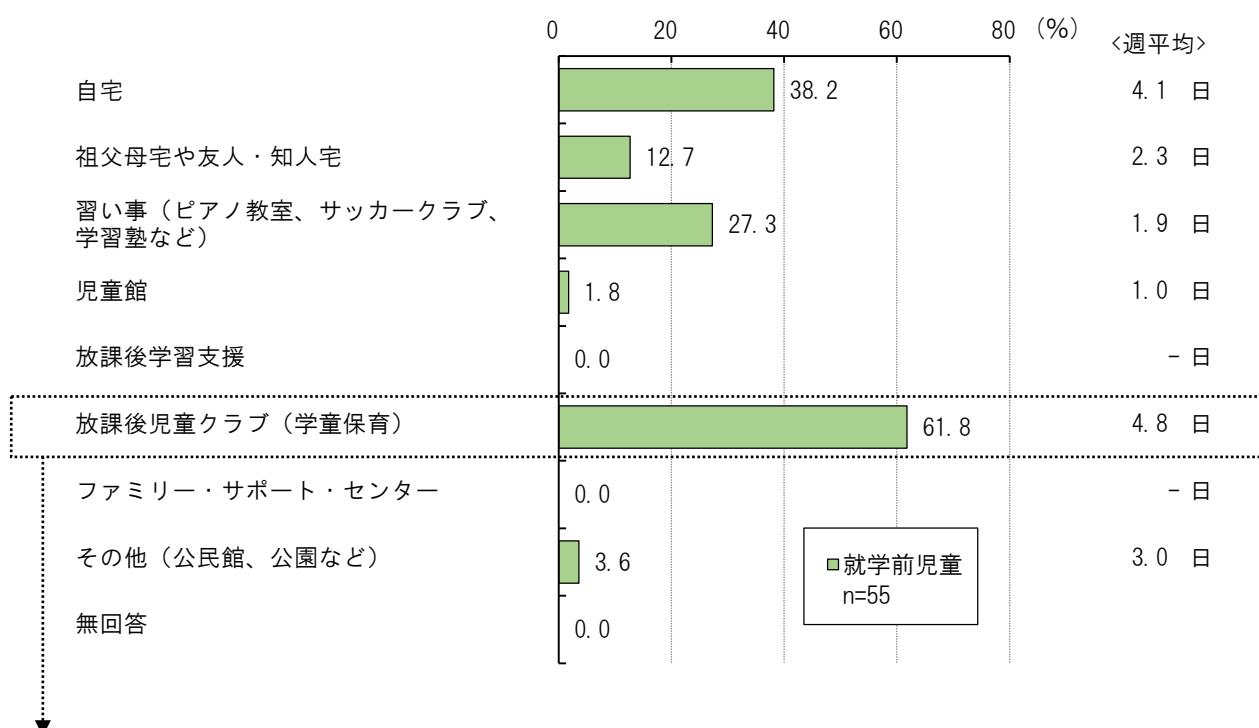
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

9-1 小学校低学年時及び高学年時の放課後の過ごし方の希望（複数回答可）

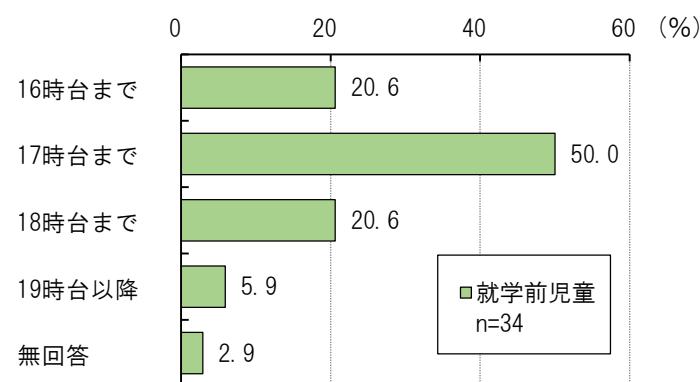
【就学前：問25・問26】

- 小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望については、「放課後児童クラブ（学童保育）」が61.8%と最も多く、次いで「自宅」が38.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が27.3%などとなっている。小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望については、「自宅」が78.2%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が40.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が25.5%などとなっている。
- 小学校低学年時の「放課後児童クラブ（学童保育）」に預けたい時間帯については、「17時台まで」が50.0%と最も多くなっている。小学校高学年時の「放課後児童クラブ（学童保育）」に預けたい時間帯についても、「17時台まで」が57.1%と最も多くなっている。

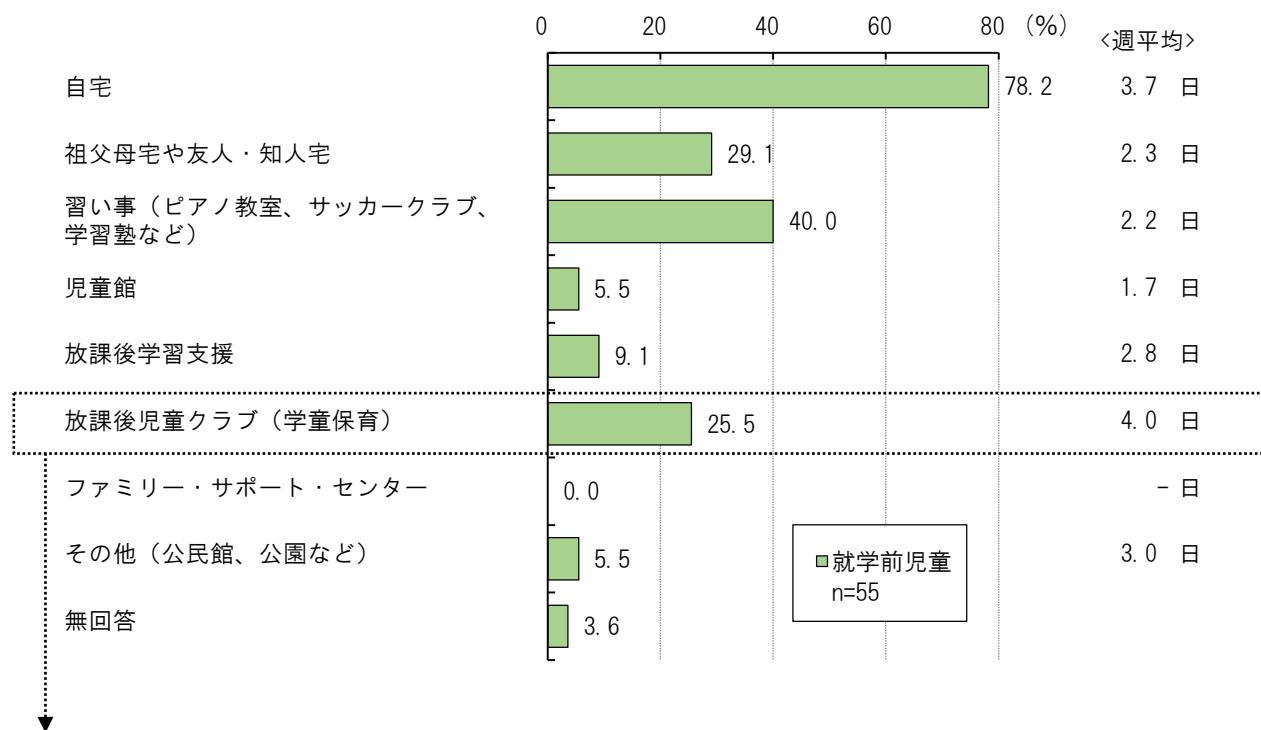
＜低学年時の利用希望＞



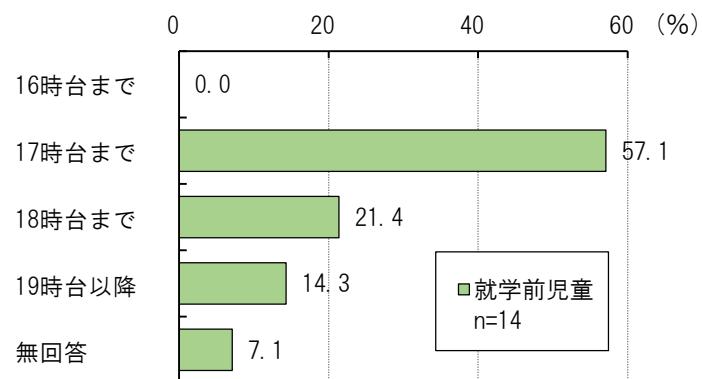
＜放課後児童クラブ（学童保育）の希望利用終了時間帯＞



＜高学年時の利用希望＞



＜放課後児童クラブ (学童保育) の希望利用終了時間帯＞

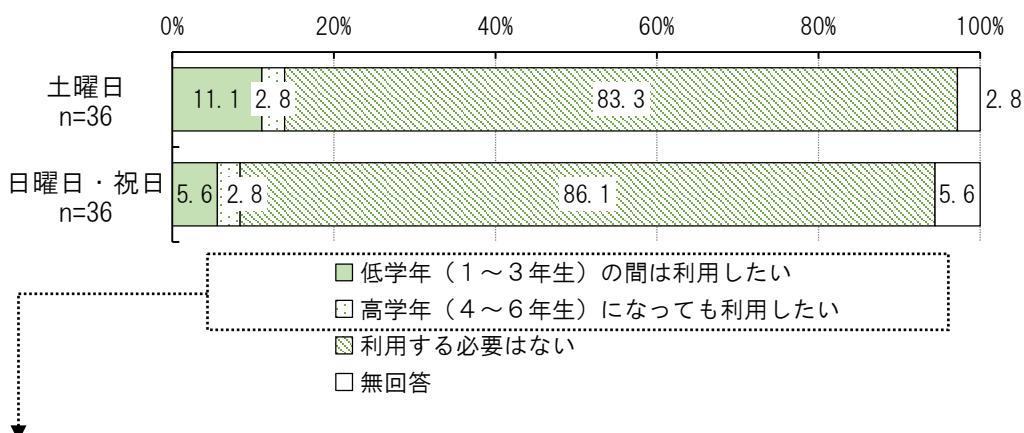


9-2 9-1で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した人のみ

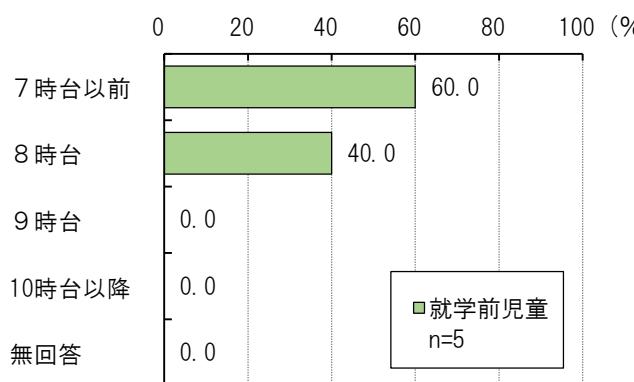
土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向（単数回答）

【就学前：問27（1）・（2）】

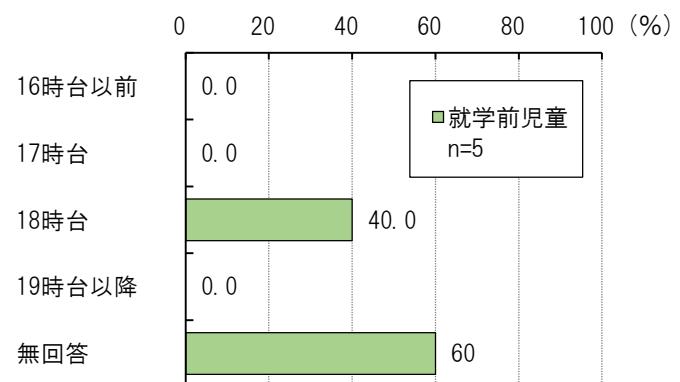
- 土曜日の放課後児童クラブの利用意向については、「利用する必要はない」が83.3%と8割を超えて最も多くなっている。
- 利用意向のある人をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が11.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が2.8%となっている。
- 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向については、「利用する必要はない」が86.1%と8割を超えて最も多くなっている。
- 利用意向のある人をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が5.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が2.8%となっている。



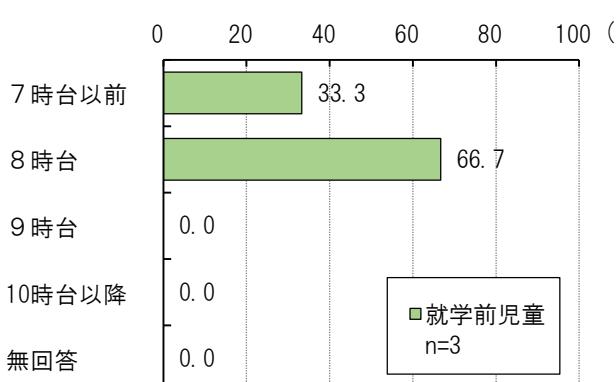
<土曜日の希望利用開始時間帯>



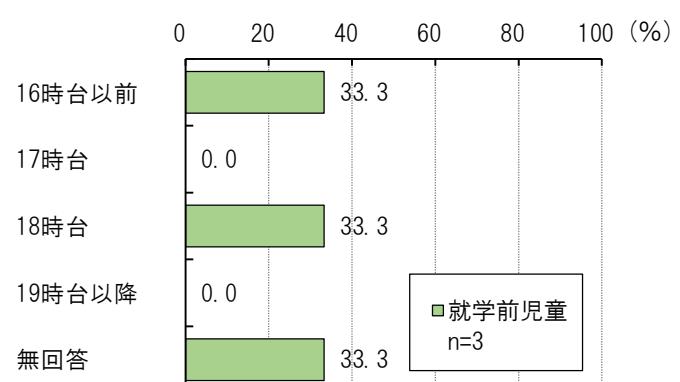
<土曜日の希望利用終了時間帯>



<日曜日・祝日の希望利用開始時間帯>



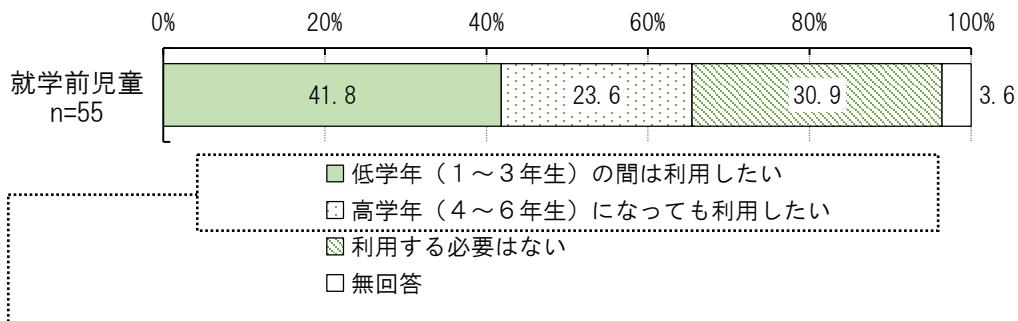
<日曜日・祝日の希望利用終了時間帯>



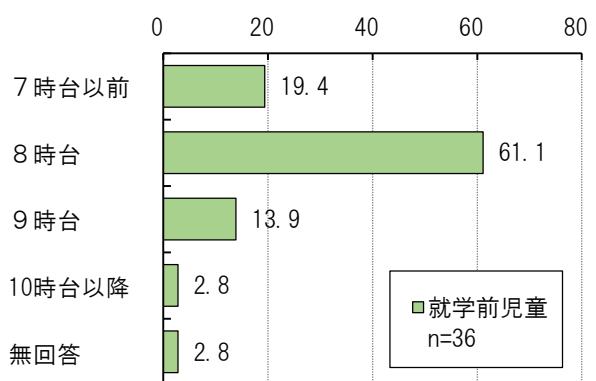
9-3 長期休暇の期間中の放課後児童クラブの利用意向（単数回答）

【就学前：問28】

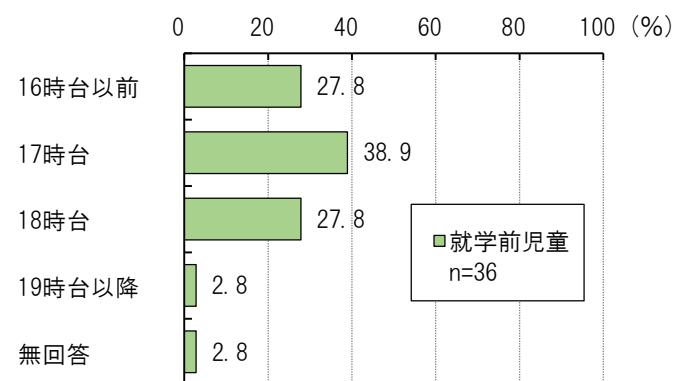
- 長期休暇の期間中の放課後児童クラブの利用意向については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が41.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が23.6%となっている。



<長期休暇中の希望利用開始時間帯>



<長期休暇中の希望利用終了時間帯>



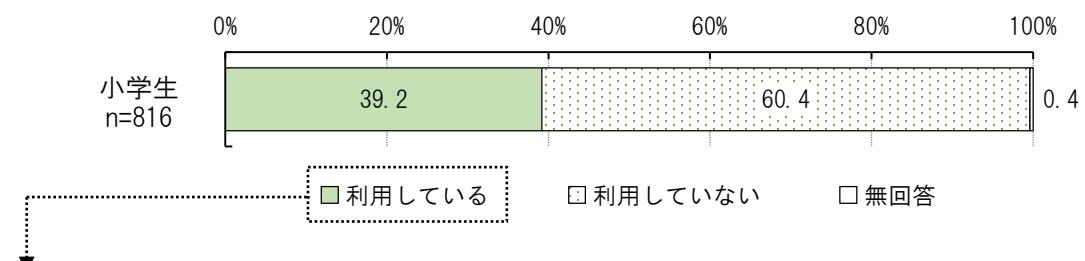
※小学生のみ

10. 放課後児童クラブの利用について

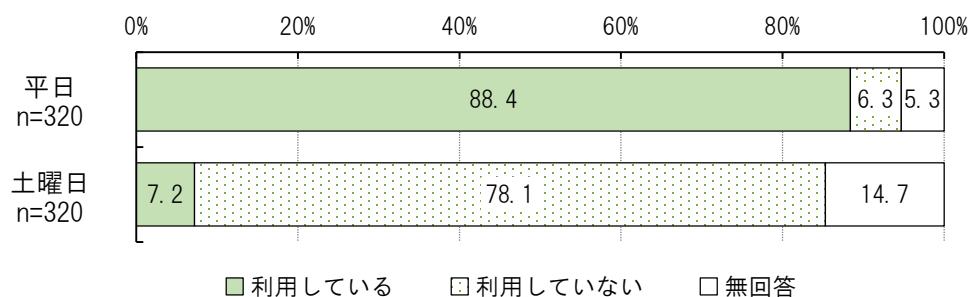
10-1 放課後児童クラブの利用状況（単数回答）、平日・土曜日の利用状況（単数回答）
及び、利用している理由（複数回答可）

【小学生：問13・問13-1-1・問13-1-2】

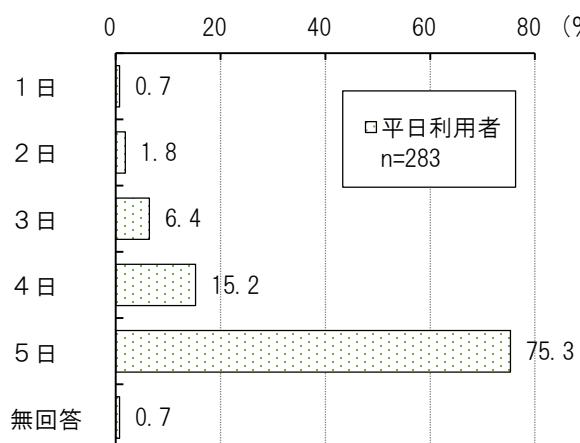
- 放課後児童クラブの利用状況については、「利用している」が39.2%、「利用していない」が60.4%となっている。
- 利用している人の平日の利用状況については、「利用している」が88.4%となっている。土曜日については「利用している」が7.2%、「利用していない」が78.1%となっている。
- 平日の1週あたりの利用日数については、「5日」が75.3%と最も多くなっている。土曜日の1ヶ月あたりの利用日数については「1日」が34.8%と最も多くなっている。
- 利用している理由については、「母親または父親が就労しているから」が95.0%と9割を超えて最も多くなっている。



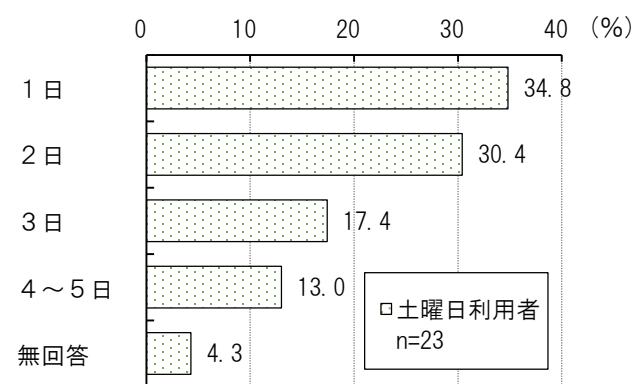
<平日・土曜日の利用状況>



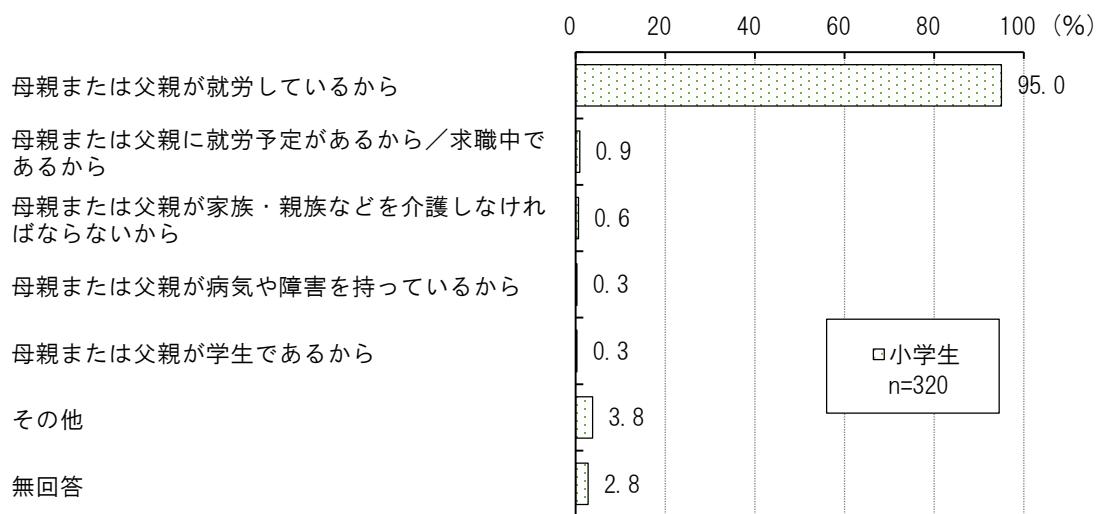
<平日の1週あたりの利用日数>



<土曜日の1ヶ月あたりの利用日数>



<利用している理由>

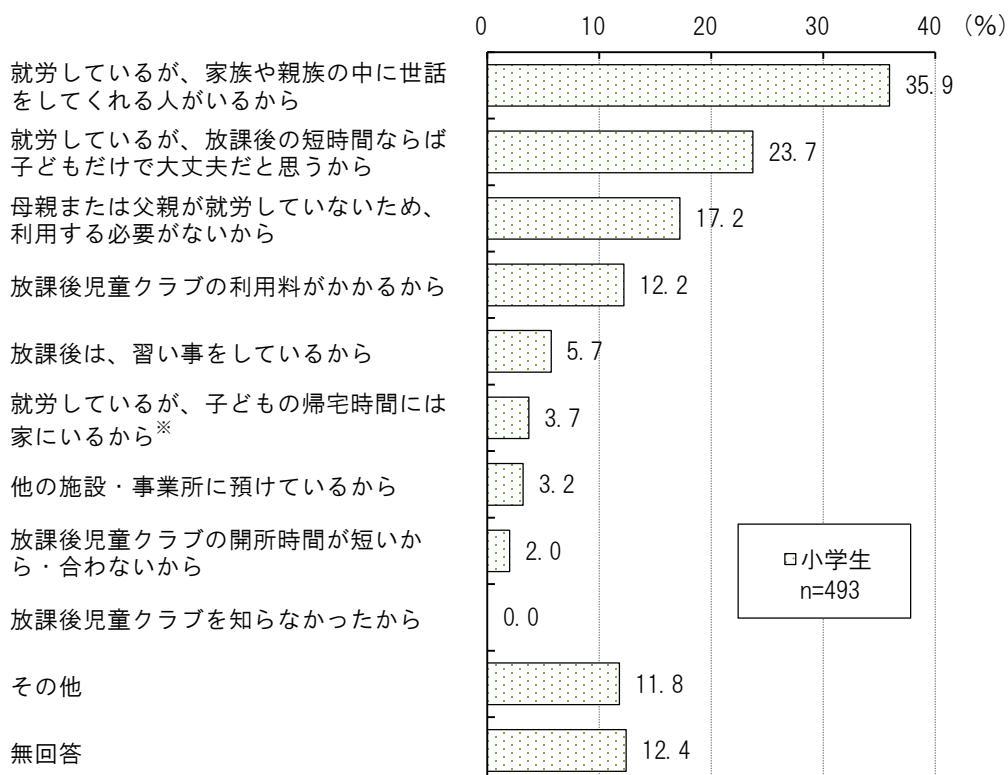


10-2 10-1で「(放課後児童クラブを) 利用していない」と回答した人のみ

放課後児童クラブを利用していない理由（複数回答可）

【小学生：問13-2-1・問13-2-2】

- 放課後児童クラブを利用していない理由については、「就労しているが、家族や親族の中に世話をしてくれる人がいるから」が35.9%と最も多く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけで大丈夫だと思うから」が23.7%、「母親または父親が就労していないため、利用する必要がないから」が17.2%などとなっている。



※「就労しているが、子どもの帰宅時間には家にいるから」は、「その他」より回答の多かったもの。

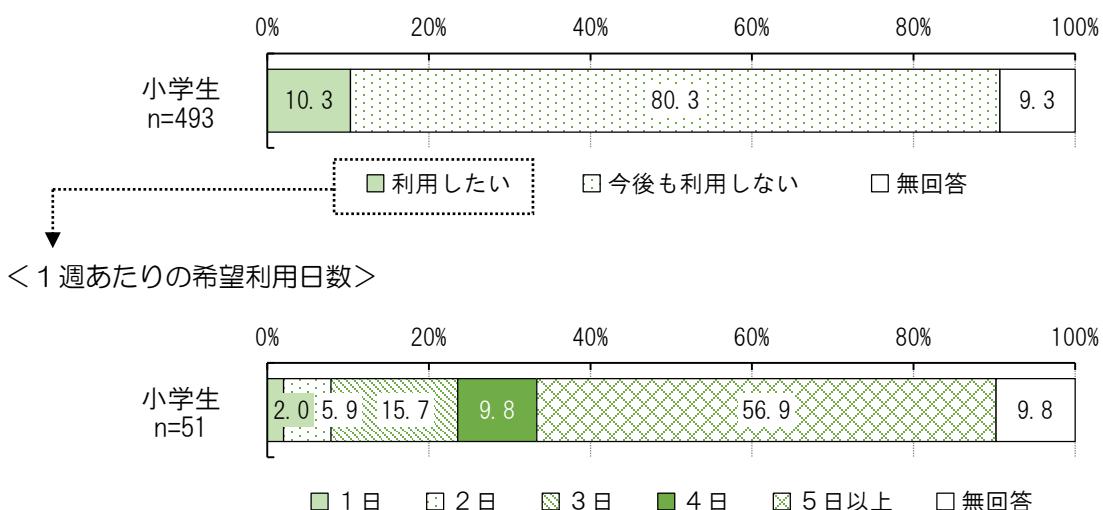
10-3 10-1で「(放課後児童クラブを) 利用していない」と回答した人のみ

放課後児童クラブの今後の利用意向（単数回答）

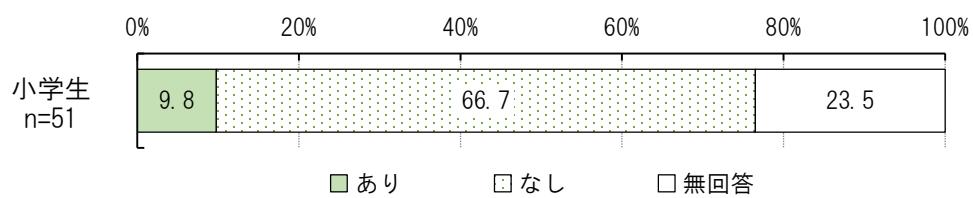
及び、利用したい理由（複数回答可）

【小学生：問13-2-1・問13-2-2】

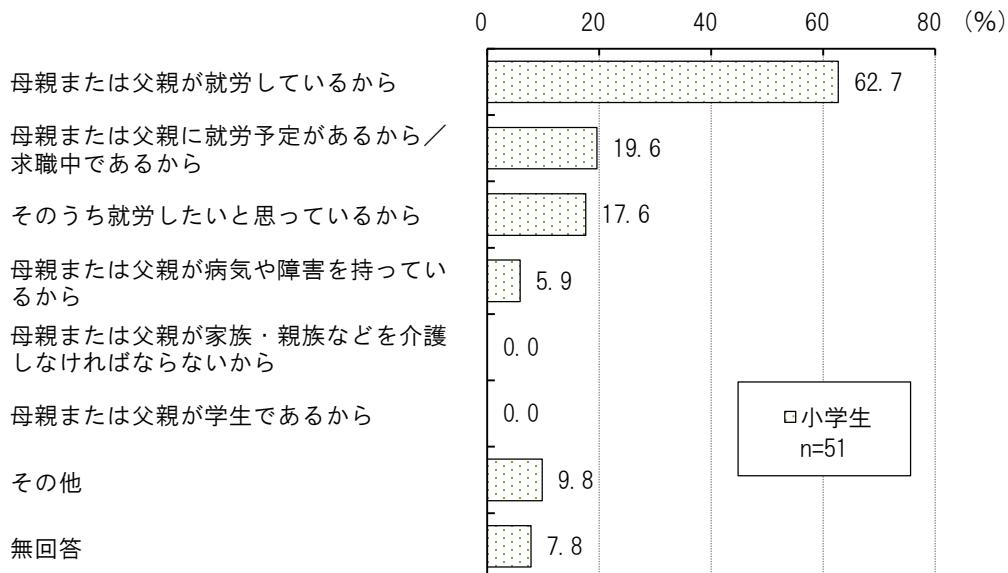
- 放課後児童クラブの今後の利用意向については、「利用したい」が10.3%、「今後も利用しない」が80.3%となっている。
- 利用したい人の土曜日の利用意向については、「あり」が9.8%、「なし」が66.7%となっている。
- 利用したい理由については、「母親または父親が就労しているから」が62.7%と6割を超えて最も多く、次いで「母親または父親に就労予定があるから／求職中であるから」が19.6%、「そのうち就労したいと考えているから」が17.6%などとなっている。



<土曜日の利用希望の有無>

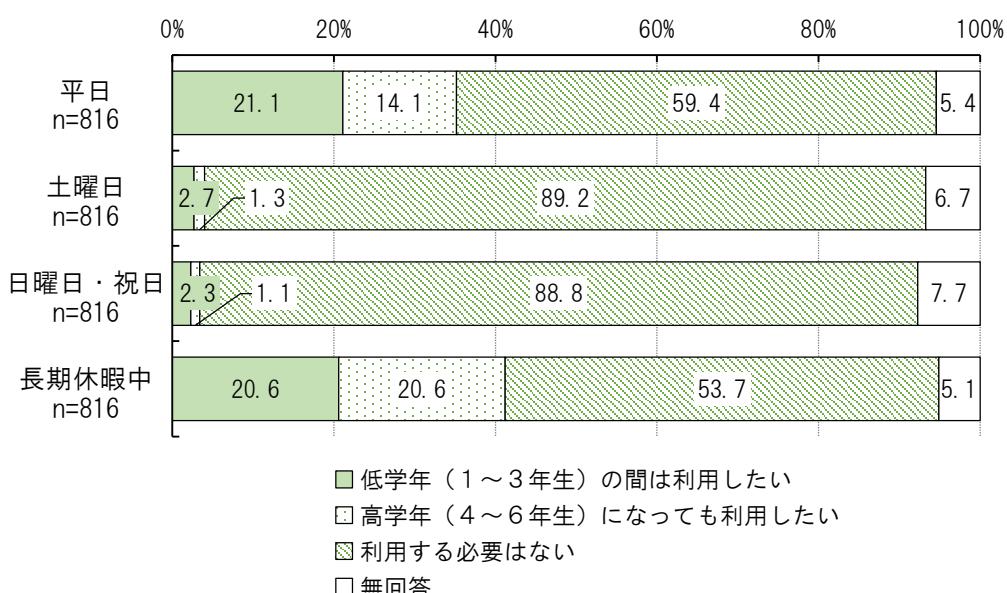


<利用したい理由>

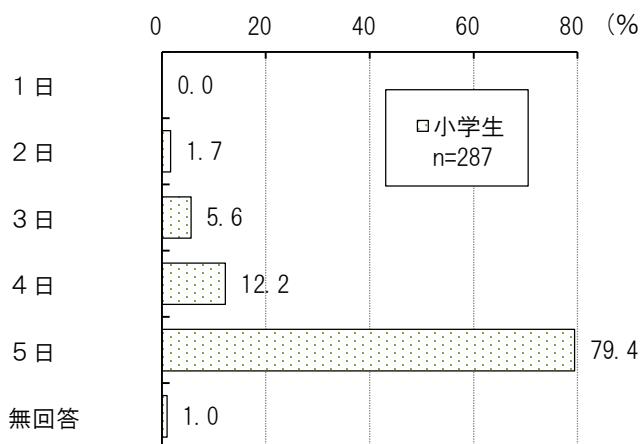


10-4 来年度以降の平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向
 (単数回答)
 【小学生：問14(1)・(2)・(3)・(4)】

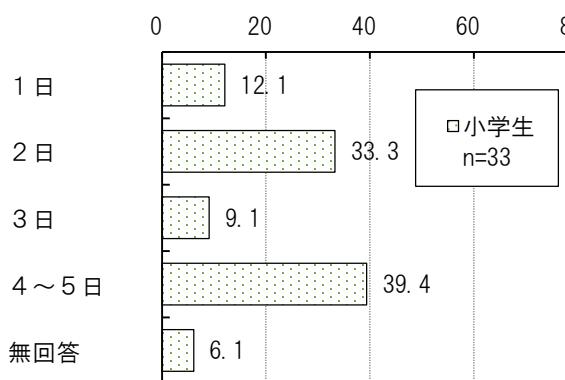
- 来年度以降の平日の放課後児童クラブの利用意向については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が14.1%となっている。
- 土曜日の利用意向については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が2.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が1.3%となっている。
- 日曜日・祝日の利用意向については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が2.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が1.1%となっている。
- 長期休暇中の利用意向については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」がともに20.6%となっている。
- 『利用したい』と回答した人のうち、来年度以降の平日の1週あたりの希望利用日数については、「5日」が79.4%と最も多くなっている。土曜日の1ヶ月あたりの希望利用日数については「4～5日」が39.4%、日曜日・祝日の1ヶ月あたりの希望利用日数については「2日」が39.3%と最も多くなっている。長期休暇中の1ヶ月あたりの希望利用日数については、夏休みにおいて「15日以上」が63.4%、冬休みにおいては「7日以上」が41.7%、春休みにおいては「11日以上」が32.4%とそれぞれ最も多くなっている。



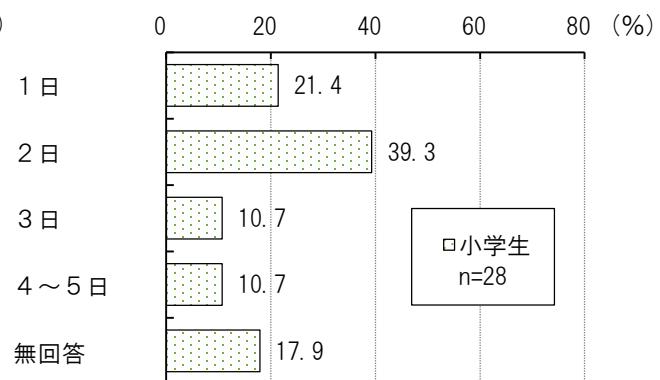
<平日の1週あたりの希望利用日数>



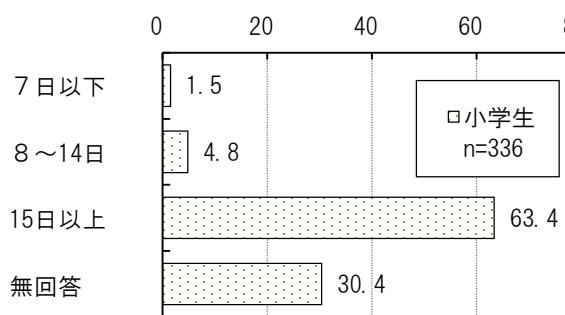
<土曜日の1ヶ月あたりの希望利用日数>



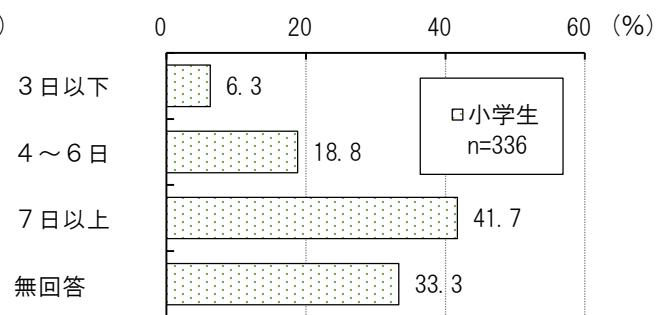
<日曜日・祝日の1ヶ月あたりの希望利用日数>



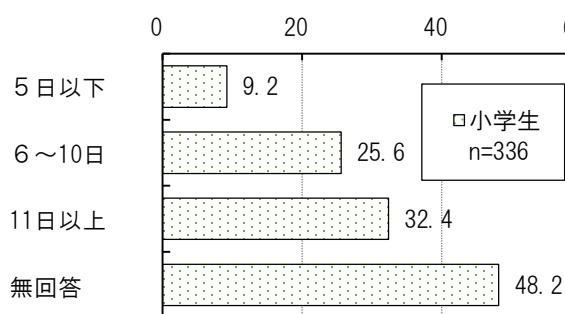
<夏休み期間中の希望利用日数>



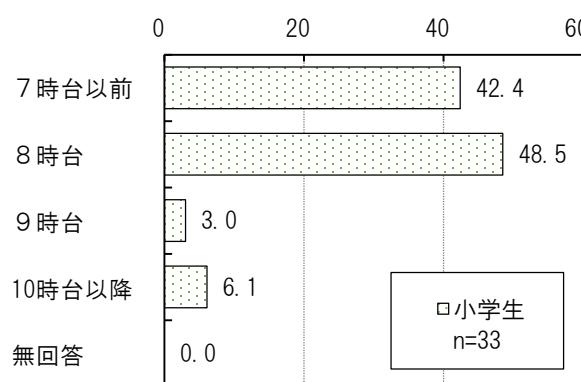
<冬休み期間中の希望利用日数>



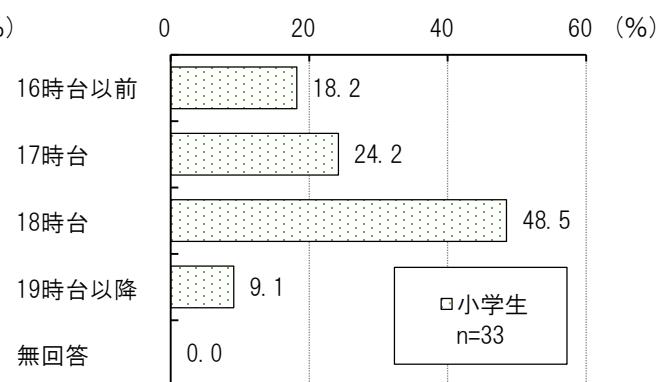
<春休み期間中の希望利用日数>



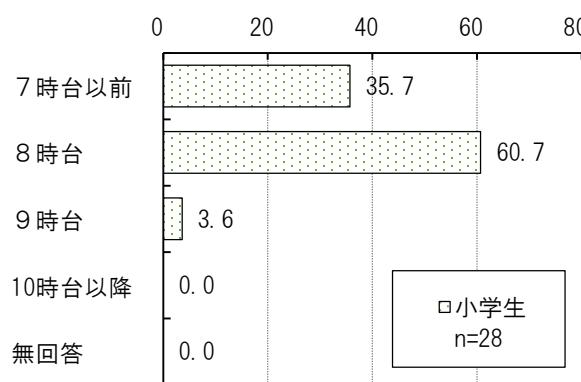
＜土曜日の希望利用開始時間帯＞



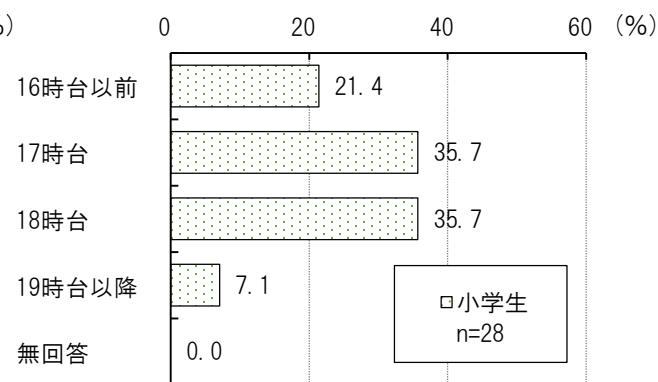
＜土曜日の希望利用終了時間帯＞



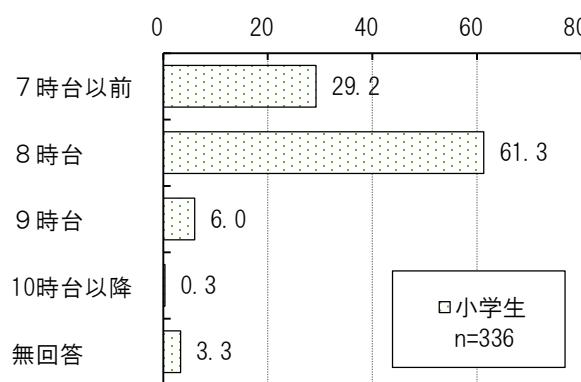
＜日曜日・祝日の希望利用開始時間帯＞



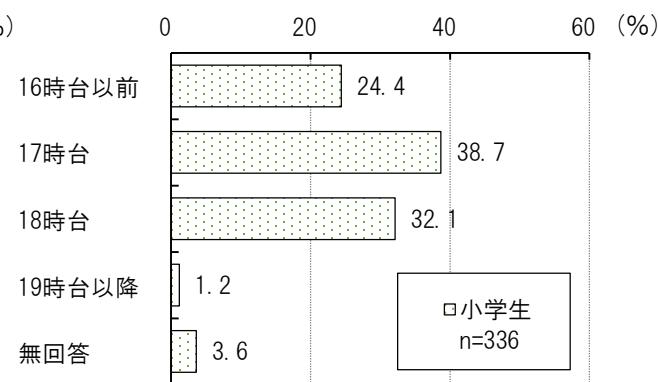
＜日曜日・祝日の希望利用終了時間帯＞



＜長期休暇中の希望利用開始時間帯＞



＜長期休暇中の希望利用終了時間帯＞



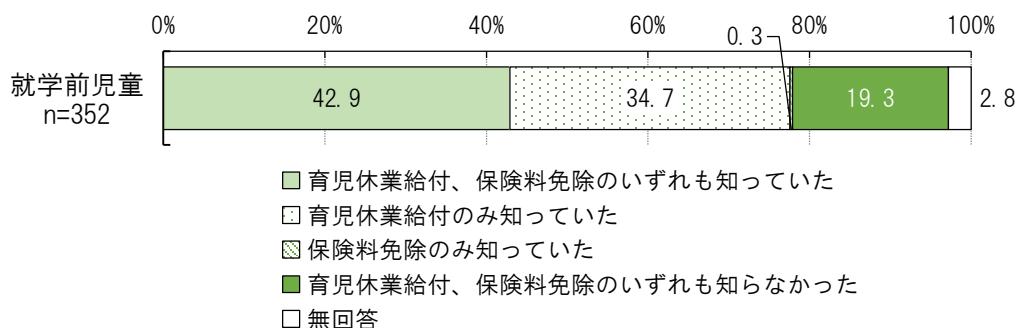
※就学前児童のみ

11. 育児休業や短時間勤務制度等職場の両立支援制度について

11-1 育児休業給付、保険料免除の認知度（単数回答）

【就学前：問30】

- 育児休業給付、保険料免除の認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が42.9%と4割を超えて最も多くなっている。

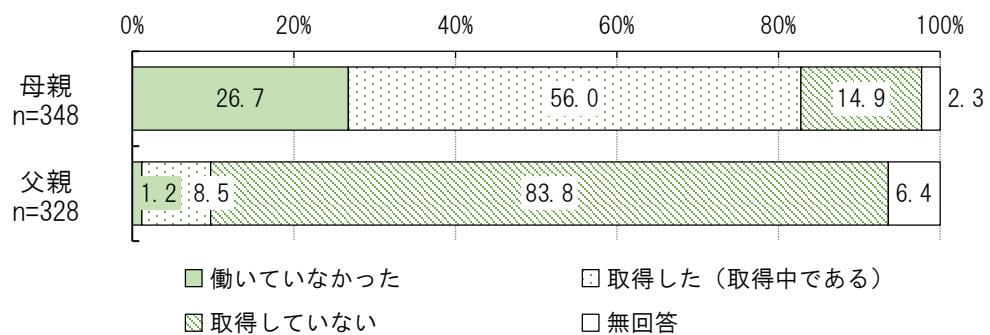


11-2 育児休業の取得状況（単数回答）

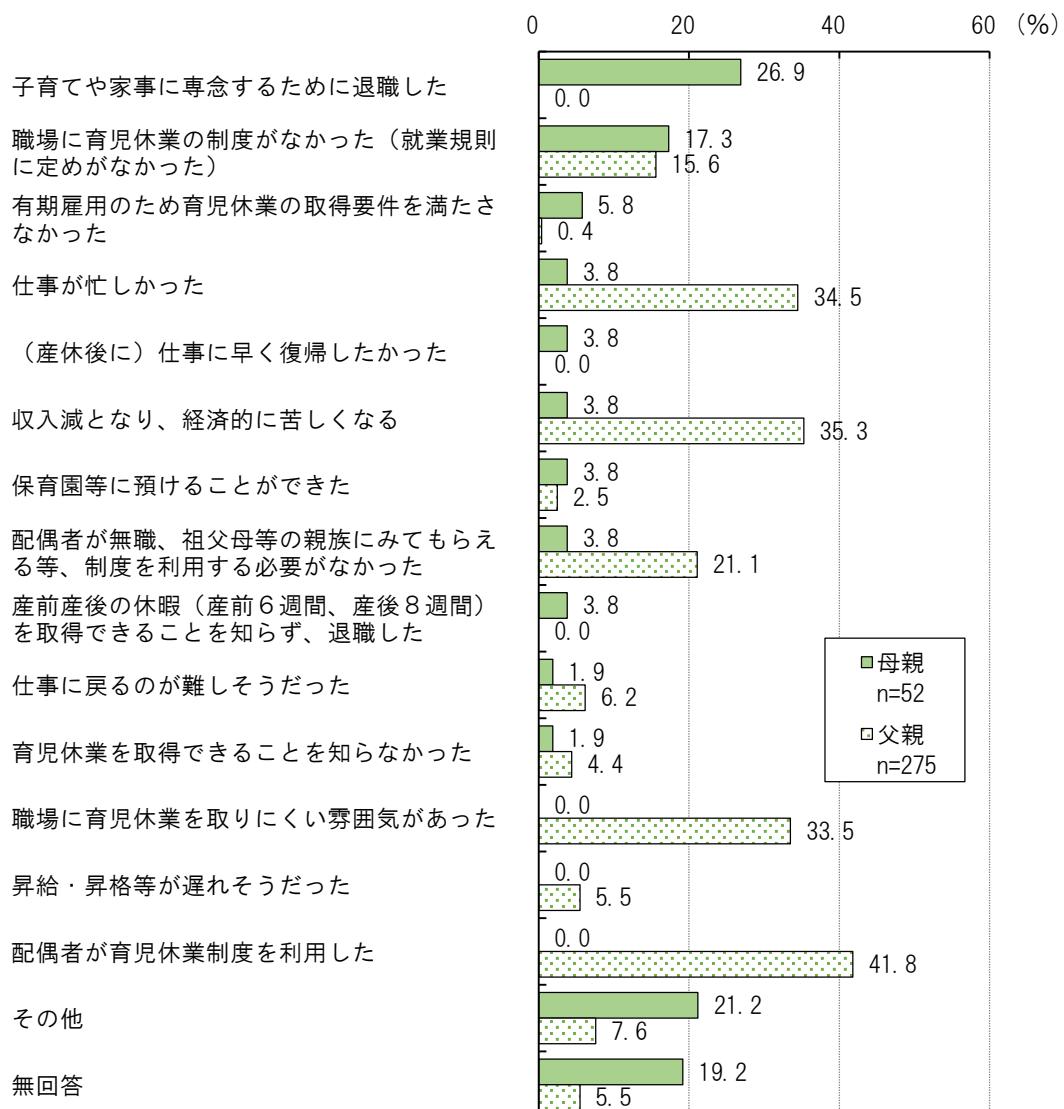
及び、取得していない理由（複数回答可）

【就学前：問31】

- 育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」は母親が56.0%、父親が8.5%となっている。
- 育児休業を取得していない理由については、母親において「子育てや家事に専念するために退職した」が26.9%と最も多く、父親においては「配偶者が育児休業制度を利用した」が41.8%と最も多くなっている。



<育児休業を取得していない理由>



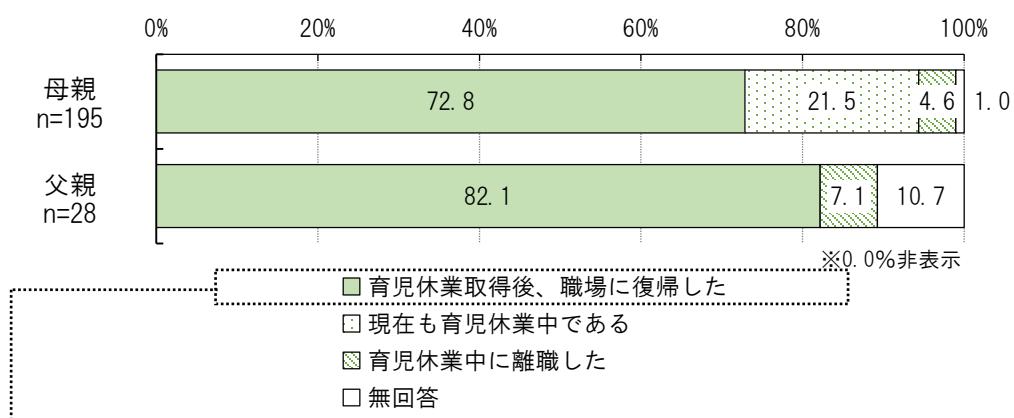
11-3 11-2で「(育児休業を) 取得した(取得中である)」と回答した人のみ

育児休業取得後の職場復帰の状況(単数回答)

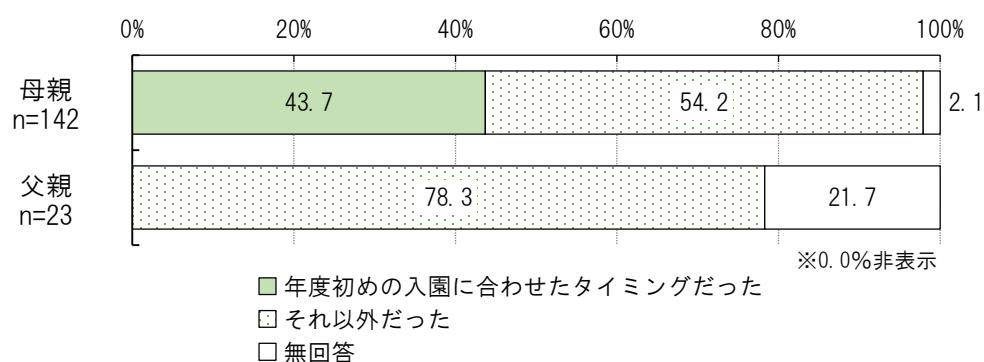
及び、職場復帰のタイミング(単数回答)

【就学前：問31-1・問31-2】

- 育児休業取得後の職場復帰の状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」(母親:72.8%、父親:82.1%)が母親、父親ともに最も多くなっている。
- 育児休業取得後に職場復帰したタイミングについては、母親において「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が43.7%、「それ(年度初めの入園に合わせたタイミング)以外だった」が54.2%となっている。父親においては「それ(年度初めの入園に合わせたタイミング)以外だった」が78.3%となっている。



<育児休業から職場に復帰したタイミング>



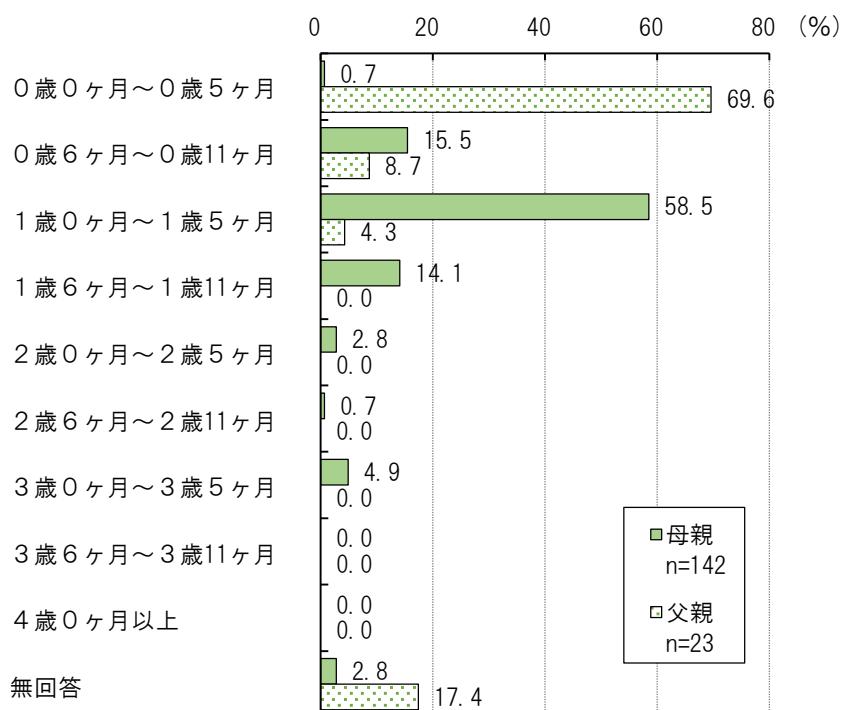
11-4 11-3で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人のみ

職場復帰をした時の子どもの年齢・月齢と、復帰したかった年齢・月齢の希望期間

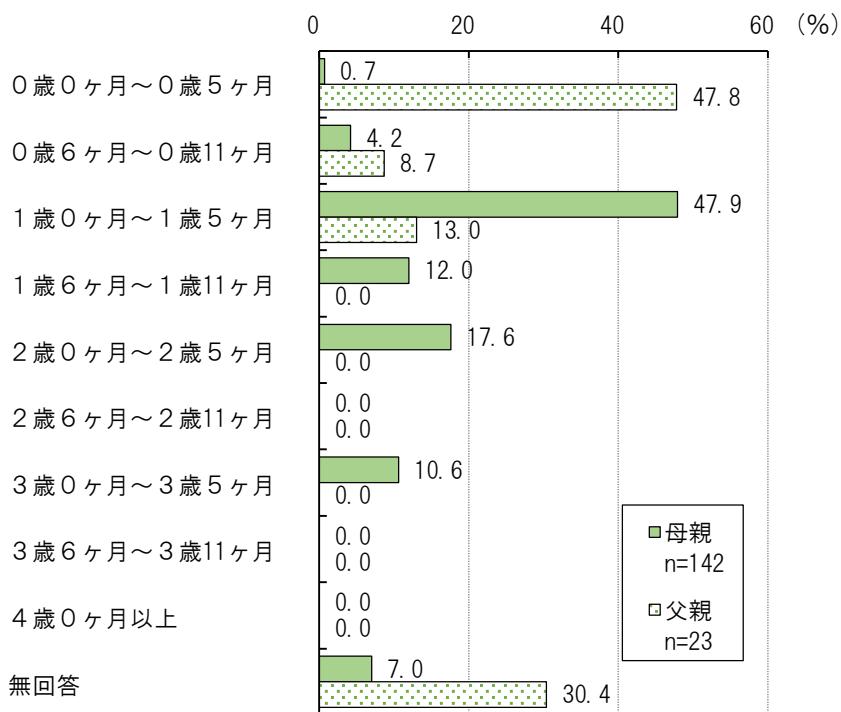
【就学前：問 31-3】

- 実際に職場復帰した時の子どもの年齢・月齢については、母親において「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が58.5%と最も多くなっている。父親においては「0歳0ヶ月～0歳5ヶ月」が69.6%と最も多くなっている。
- 希望していた職場復帰の時期の子どもの年齢・月齢については、母親において「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が47.9%と最も多くなっている。父親においては「0歳0ヶ月～0歳5ヶ月」が47.8%と最も多くなっている。

<実際に職場復帰した時の子どもの年齢・月齢>



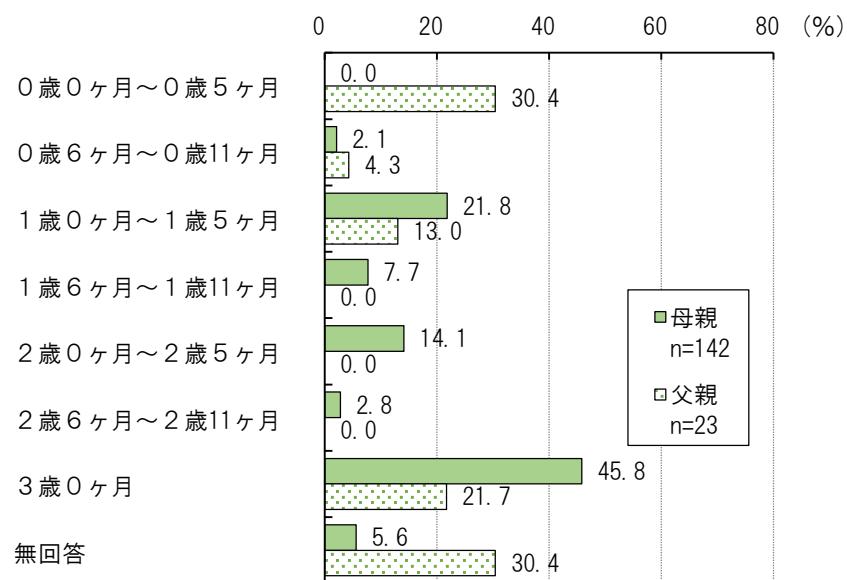
<希望していた復帰時期の子どもの年齢・月齢>



11-5 11-3で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人のみ
3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望取得期間

【就学前：問 31-4】

- 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望取得期間については、母親において「3歳0ヶ月」が45.8%と最も多く、次いで「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が21.8%、「2歳0ヶ月～2歳5ヶ月」が14.1%などとなっている。父親においては「0歳0ヶ月～0歳5ヶ月」が30.4%と最も多く、次いで「3歳0ヶ月」が21.7%、「1歳0ヶ月～1歳5ヶ月」が13.0%などとなっている。



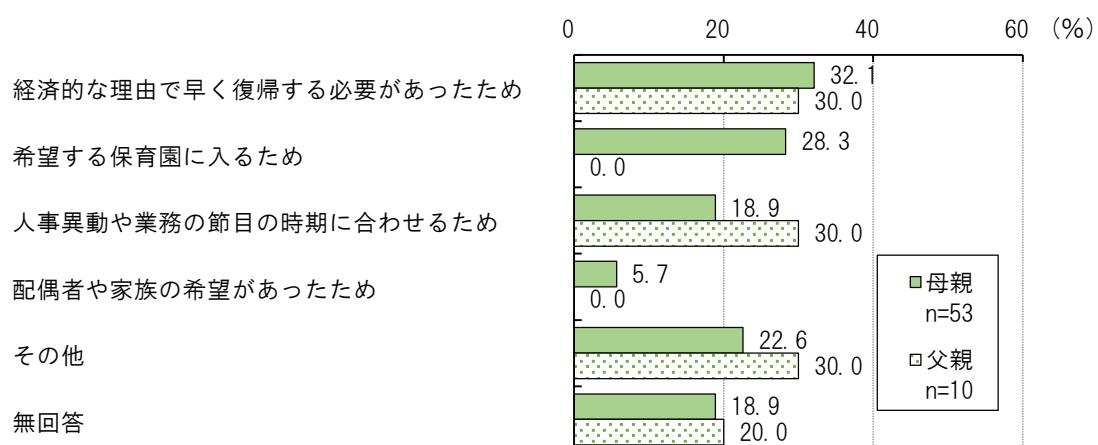
11-6 11-4で実際の復帰と希望が異なる人のみ

希望の時期に職場復帰しなかった理由（複数回答可）

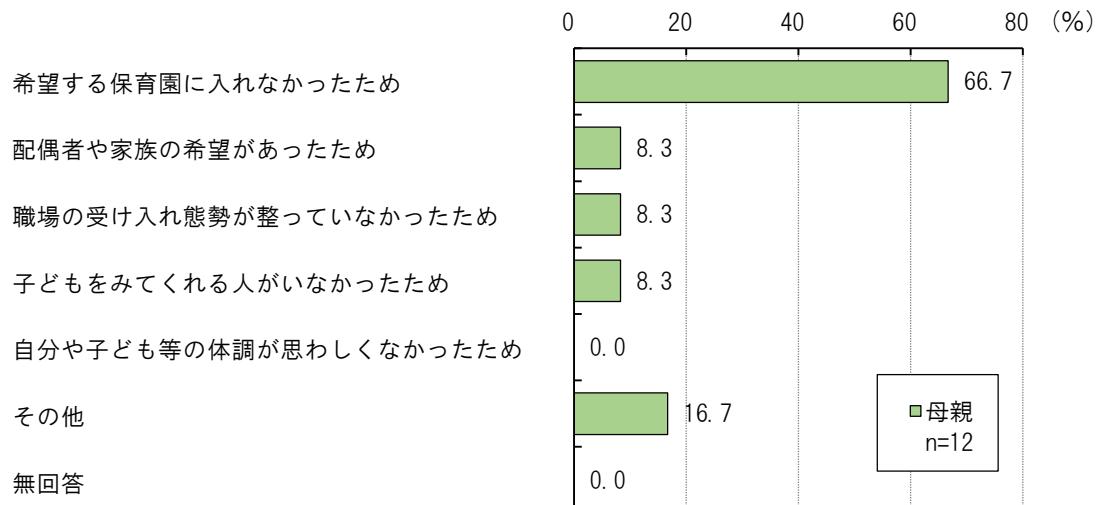
【就学前：問 31-6】

- 希望の時期より早く職場復帰した理由については、母親において「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が32.1%と最も多く、次いで「希望する保育園に入るため」が28.3%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が18.9%などとなっている。父親においては、回答者数が少ないため、参考掲載とする。
- 希望の時期より遅く職場復帰した理由については、母親において「希望する保育園に入れなかったため」が66.7%と最も多くなっている。父親においては、今回の調査では対象者がいなかった。

<希望より早く職場復帰した理由>



<希望より遅く職場復帰した理由>



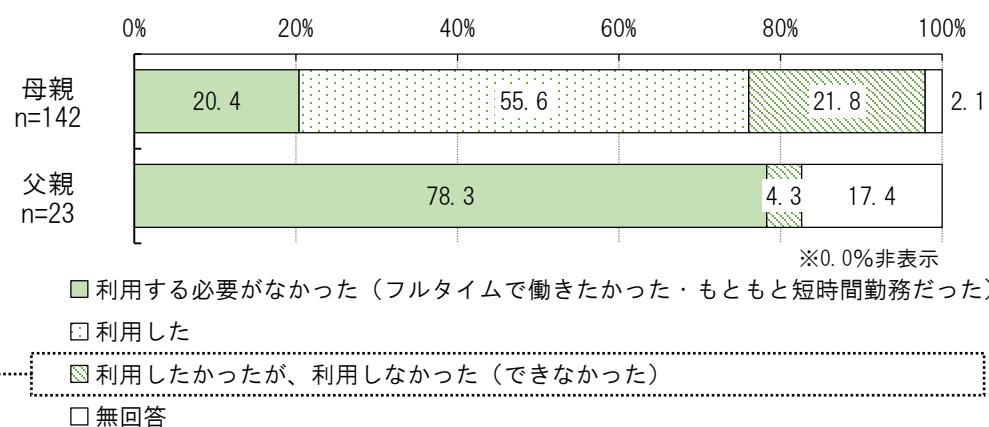
11-7 11-3で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人のみ

職場復帰後の短時間勤務制度の利用状況（単数回答）

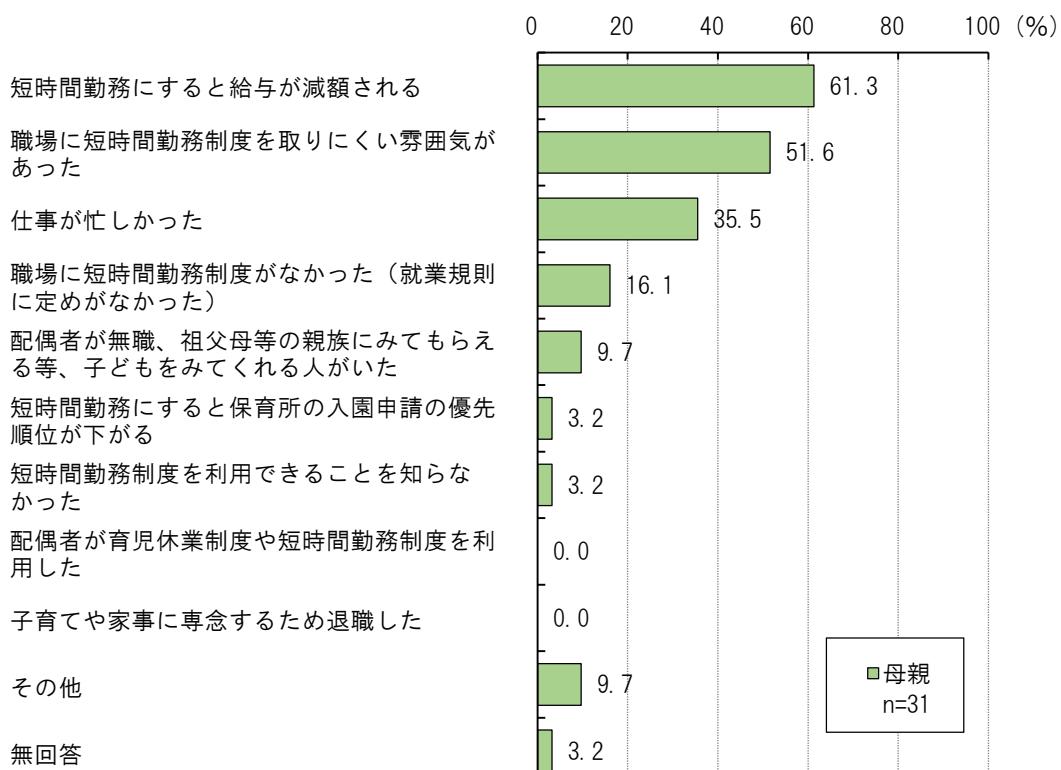
及び、短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由（複数回答可）

【就学前：問31-5・問31-7】

- 職場復帰後の短時間勤務制度の利用状況については、母親において「利用した」が 55.6%と最も多く、「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」と「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった）」を合計した『利用していない』が 42.3%となっている。父親においては「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった）」が 78.3%と最も多くなっている。
- 短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由については、母親において「短時間勤務にすると給与が減額される」が 61.3%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 51.6%、「仕事が忙しかった」が 35.5%などとなっている。父親（1人）においては「仕事が忙しかった」が 1人であった。



<短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由>

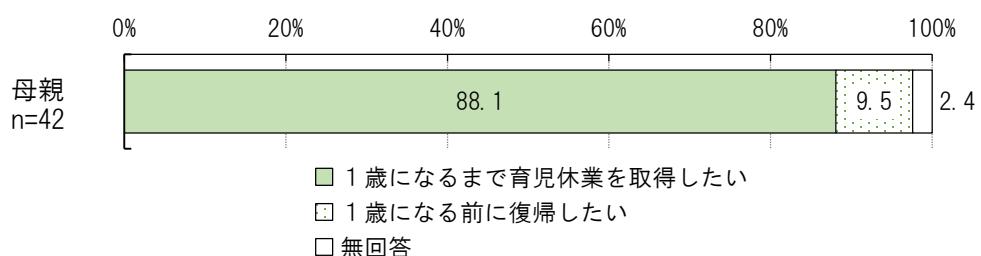


11-8 11-3で「現在も育児休業中である」と回答した人のみ

1歳になった時に必ず利用できる保育事業があった場合の育児休業取得希望（単数回答）

【就学前：問 31-8】

- 1歳になった時に必ず利用できる保育事業があった場合の育児休業取得希望については、母親において「1歳になるまで育児休業を取得したい」が88.1%、「1歳になる前に復帰したい」が9.5%となっている。父親においては、今回の調査では対象者がいなかった。



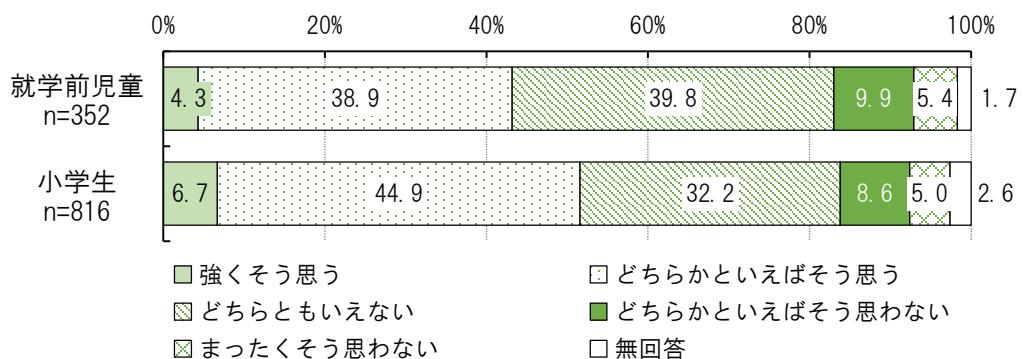
12. 子育てに関する一般的な事項について

12-1 住んでいる地域についての考え方（単数回答）

【就学前：問32、小学生：問20】

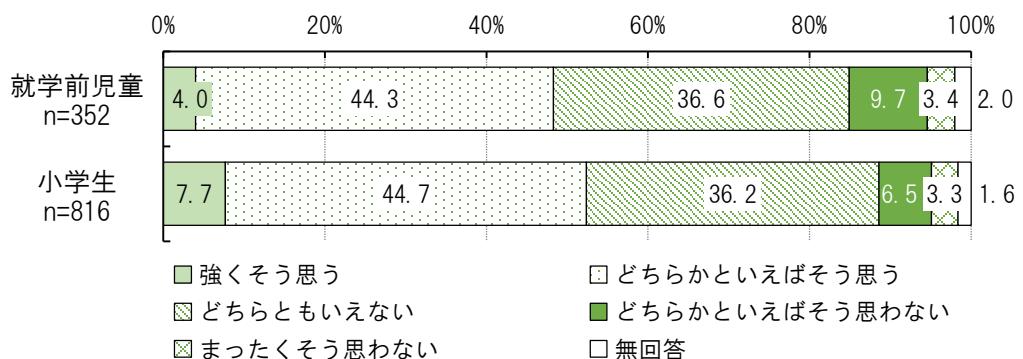
①あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている

・住んでいる地域の人々がお互いに助け合っているかについては、就学前児童において「どちらともいえない」が39.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が38.9%などとなっている。小学生においては「どちらかといえばそう思う」が44.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が32.2%などとなっている。



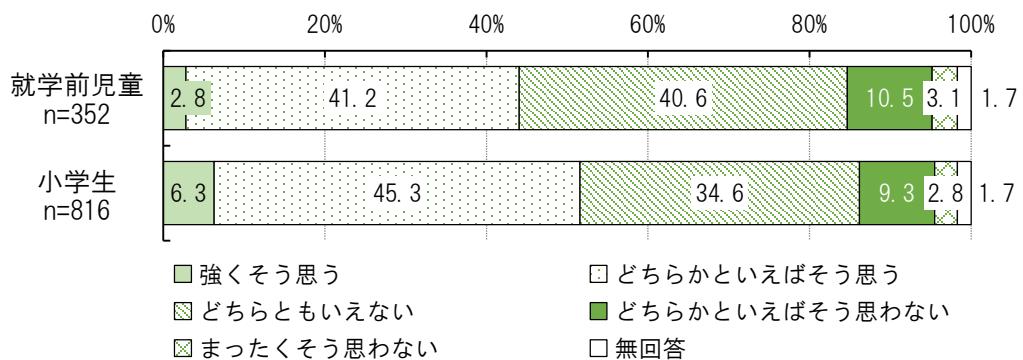
②あなたのお住まいの地域の人々は信頼できる

・住んでいる地域の人々が信頼できるかについては、「どちらかといえばそう思う」(就学前児童:44.3%、小学生:44.7%)が就学前児童、小学生ともに最も多く、次いで「どちらともいえない」(就学前児童:36.6%、小学生:36.2%)などとなっている。



③あなたのお住まいの地域では、子どもの安全が守られている

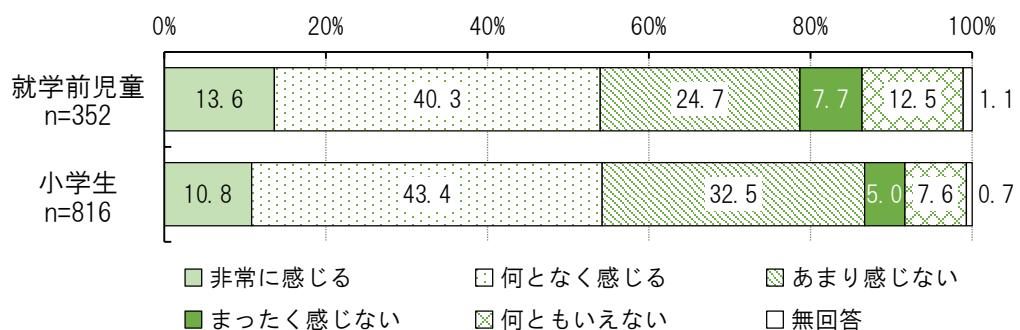
- 住んでいる地域では子どもの安全が守られているかについては、「どちらかといえばそう思う」（就学前児童：41.2%、小学生：45.3%）が就学前児童、小学生ともに最も多く、次いで「どちらともいえない」（就学前児童：40.6%、小学生：34.6%）などとなっている。



12-2 子育てについて不安や負担を感じるか（単数回答）

【就学前：問33、小学生：問21】

- 子育てについて不安や負担を感じるかについては、「何となく感じる」（就学前児童：40.3%、小学生：43.4%）が就学前児童、小学生ともに最も多く、次いで「あまり感じない」（就学前児童：24.7%、小学生：32.5%）などとなっている。

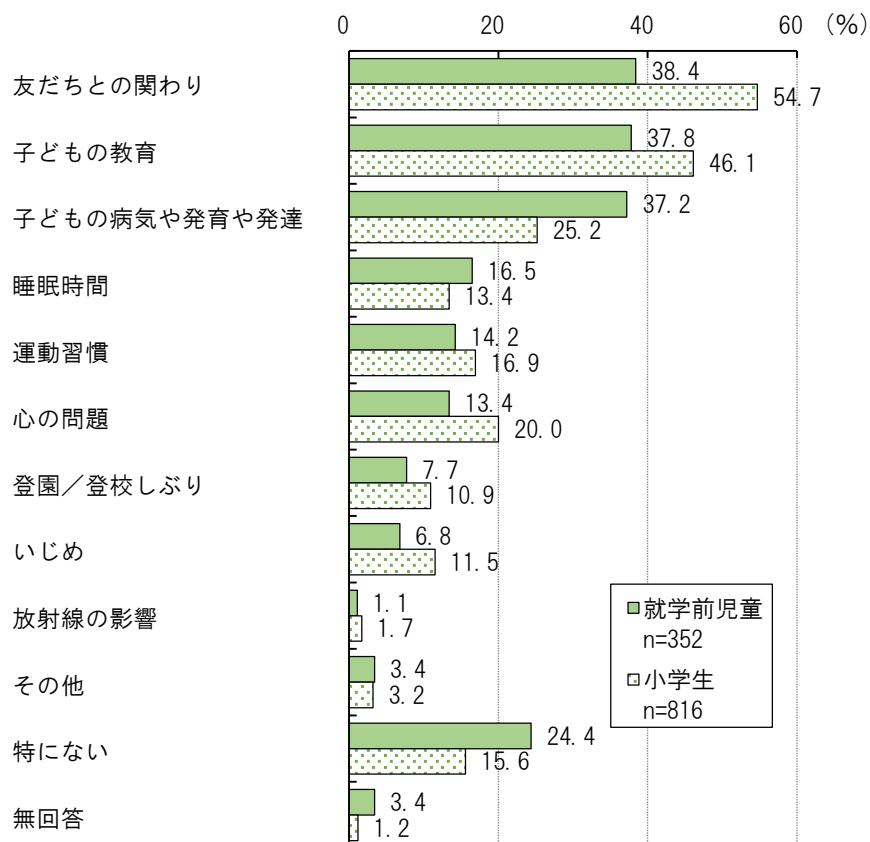


12-3 日頃、子育てについて悩んでいることや気になること（複数回答可）

【就学前：問34、小学生：問22】

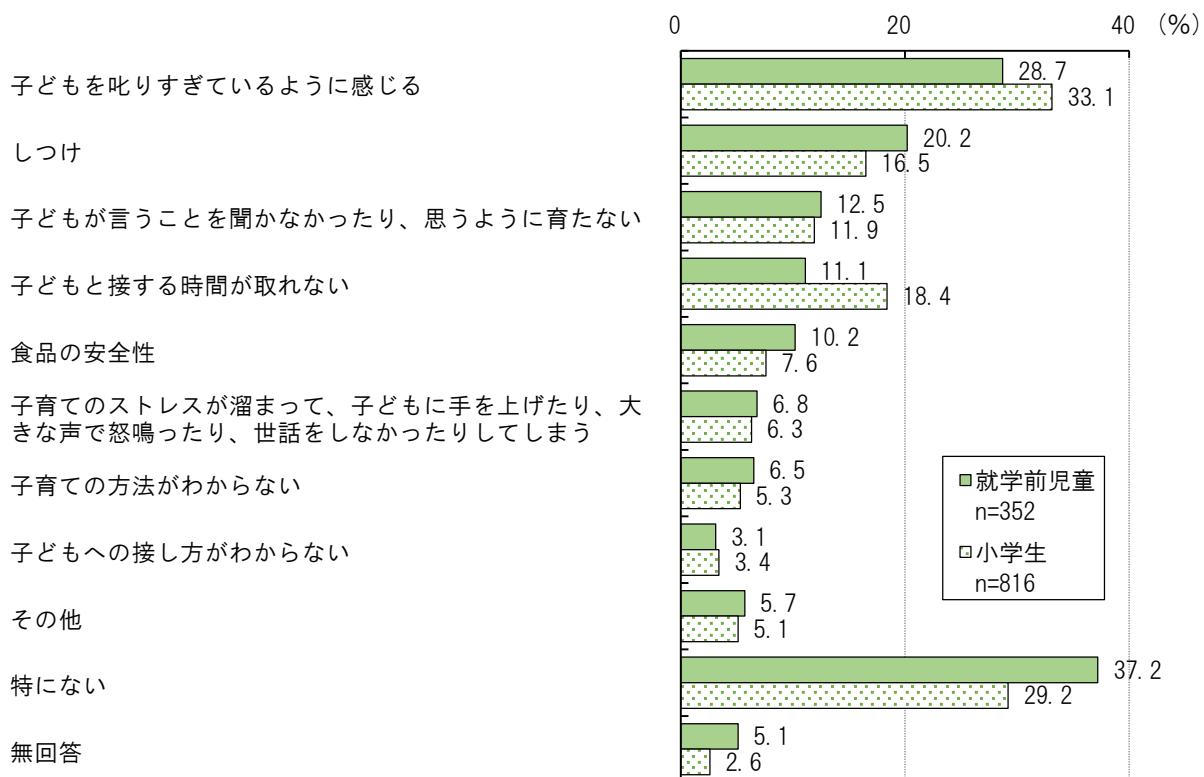
①子ども自身に関すること

- 子ども自身に関して悩んでいることや気になることについては、「友だちとの関わり」（就学前児童：38.4%、小学生：54.7%）が就学前児童、小学生ともに最も多く、次いで「子どもの教育」（就学前児童：37.8%、小学生：46.1%）、「子どもの病気や発育や発達」（就学前児童：37.2%、小学生：25.2%）などとなっている。



②育児について

- 育児に関して悩んでいることや気になることについては、就学前児童において「子どもを叱りすぎているように感じる」が28.7%と最も多く、次いで「しつけ」が20.2%などとなっている。小学生においては「子どもを叱りすぎているように感じる」が33.1%と最も多く、次いで「子どもと接する時間が取れない」が18.4%、などとなっている。一方、「特がない」は就学前児童において37.2%、小学生においては29.2%となっている。

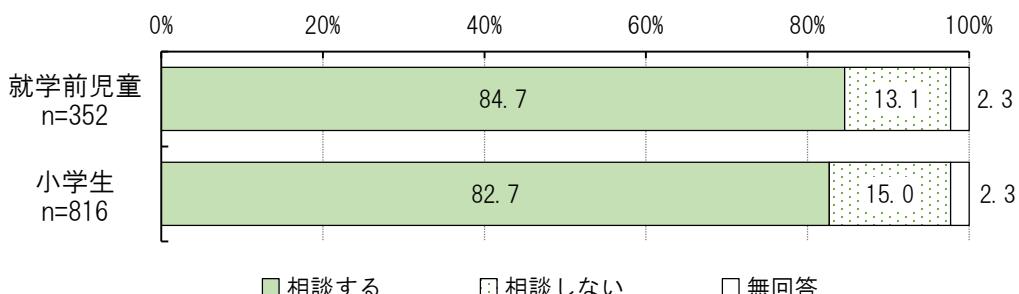


12-4 育児の不安や悩みを相談することの有無（単数回答）

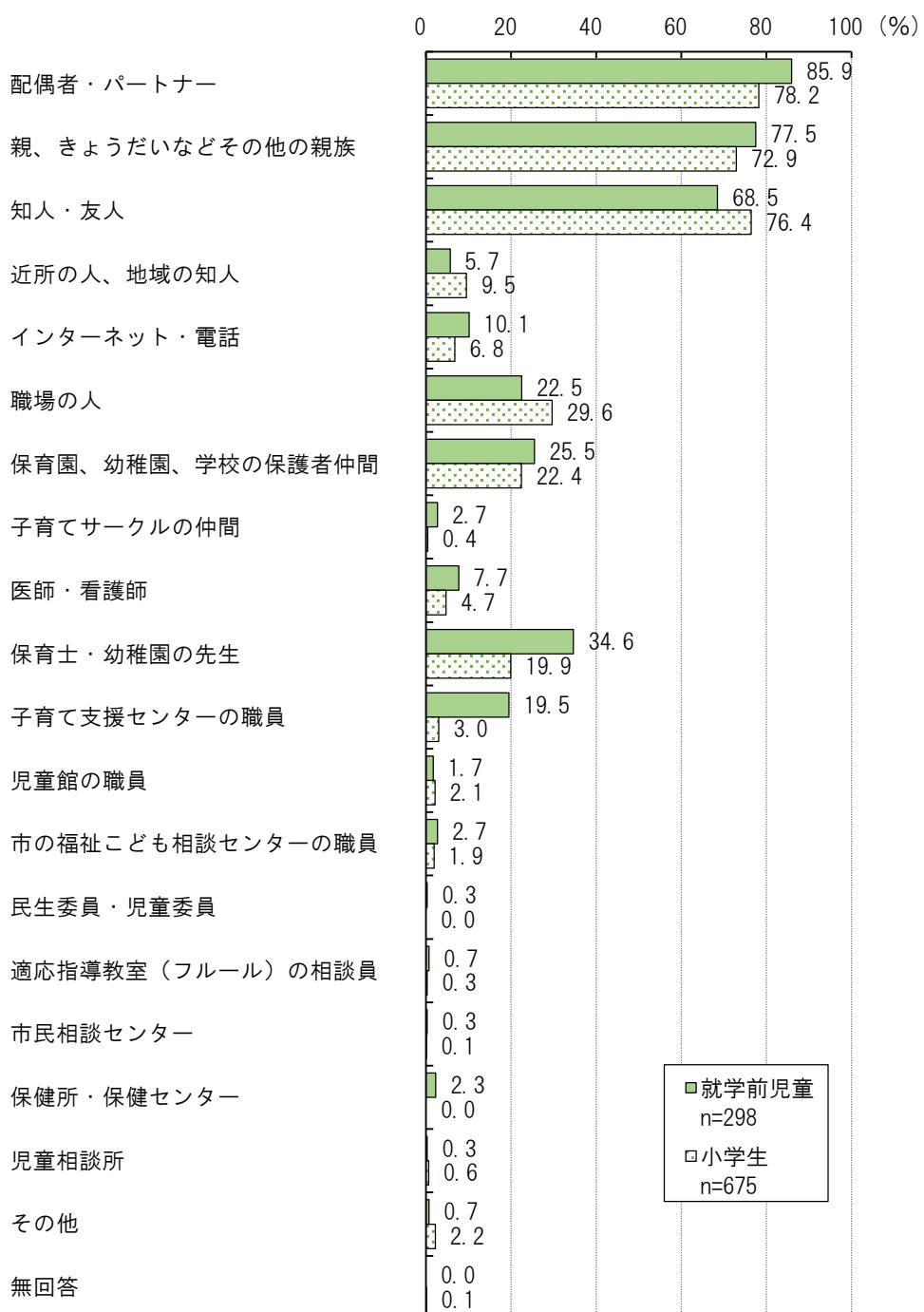
及び、相談先（複数回答可）

【就学前：問36・問36-1、小学生：問24・問24-1】

- 育児の不安や悩みを相談することの有無については、「相談する」（就学前児童：84.7%、小学生：82.7%）が就学前児童、小学生ともに8割を超えていている。
- その相談先については、就学前児童において「配偶者・パートナー」が85.9%と最も多く、次いで「親、きょうだいなど他の親族」が77.5%などとなっている。小学生においては「配偶者・パートナー」が78.2%と最も多く、次いで「知人・友人」が76.4%などとなっている。



<相談先>

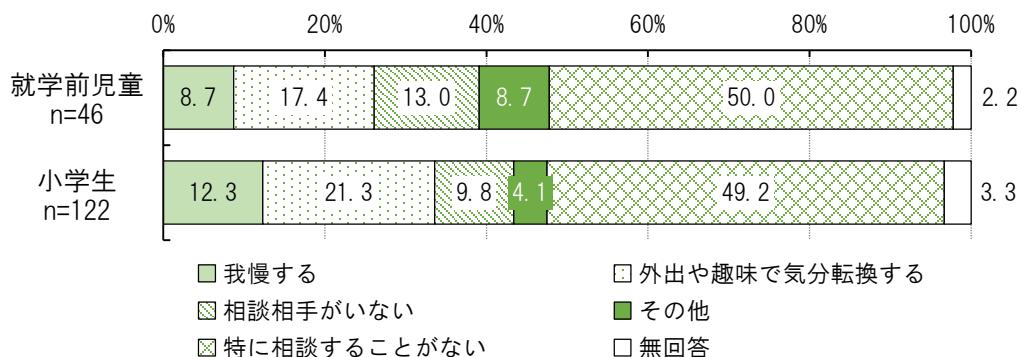


12-5 12-4で「相談しない」と回答した人のみ

育児の不安や悩みを相談しない主な理由（単数回答）

【就学前：問36-2、小学生：問36-2】

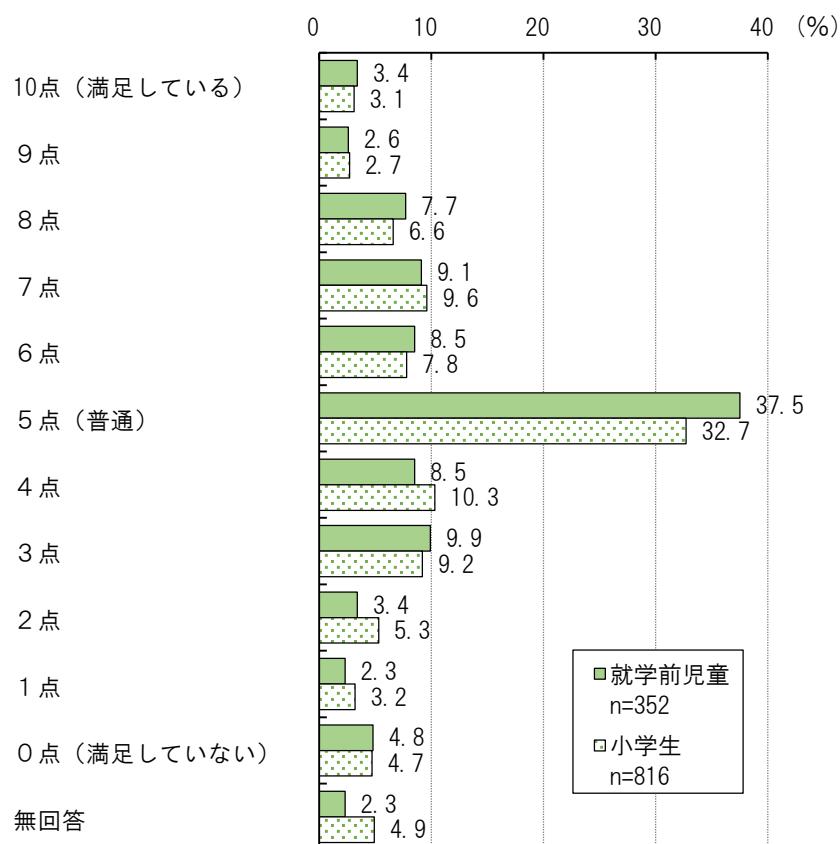
- 育児の不安や悩みを相談しない理由については、「特に相談することがない」（就学前児童：50.0%、小学生：49.2%）が就学前児童、小学生ともに5割前後と最も多くなっている。



12-6 地域における子育ての環境や支援への満足度（10点満点）

【就学前：問37、小学生：問25】

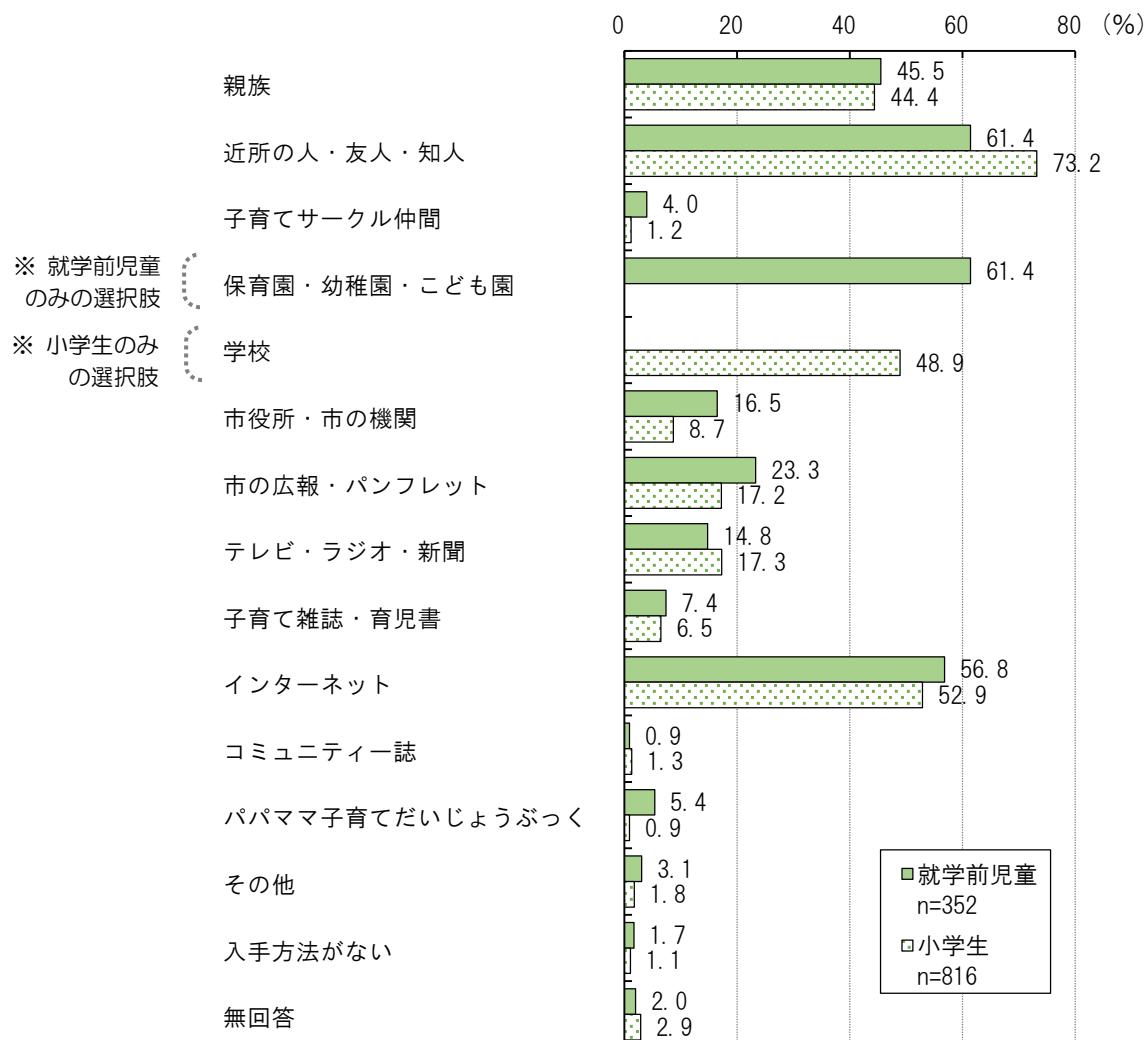
- 地域における子育ての環境や支援への満足度については、就学前児童において「5点（普通）」が37.5%と最も多く、次いで「3点」が9.9%などとなっている。小学生においては「5点（普通）」が32.7%と最も多く、次いで「4点」が10.3%などとなっている。平均点は、就学前児童が5.1点、小学生が4.9点となっている。



12-7 子育てに関する情報源（複数回答可）

【就学前：問38、小学生：問26】

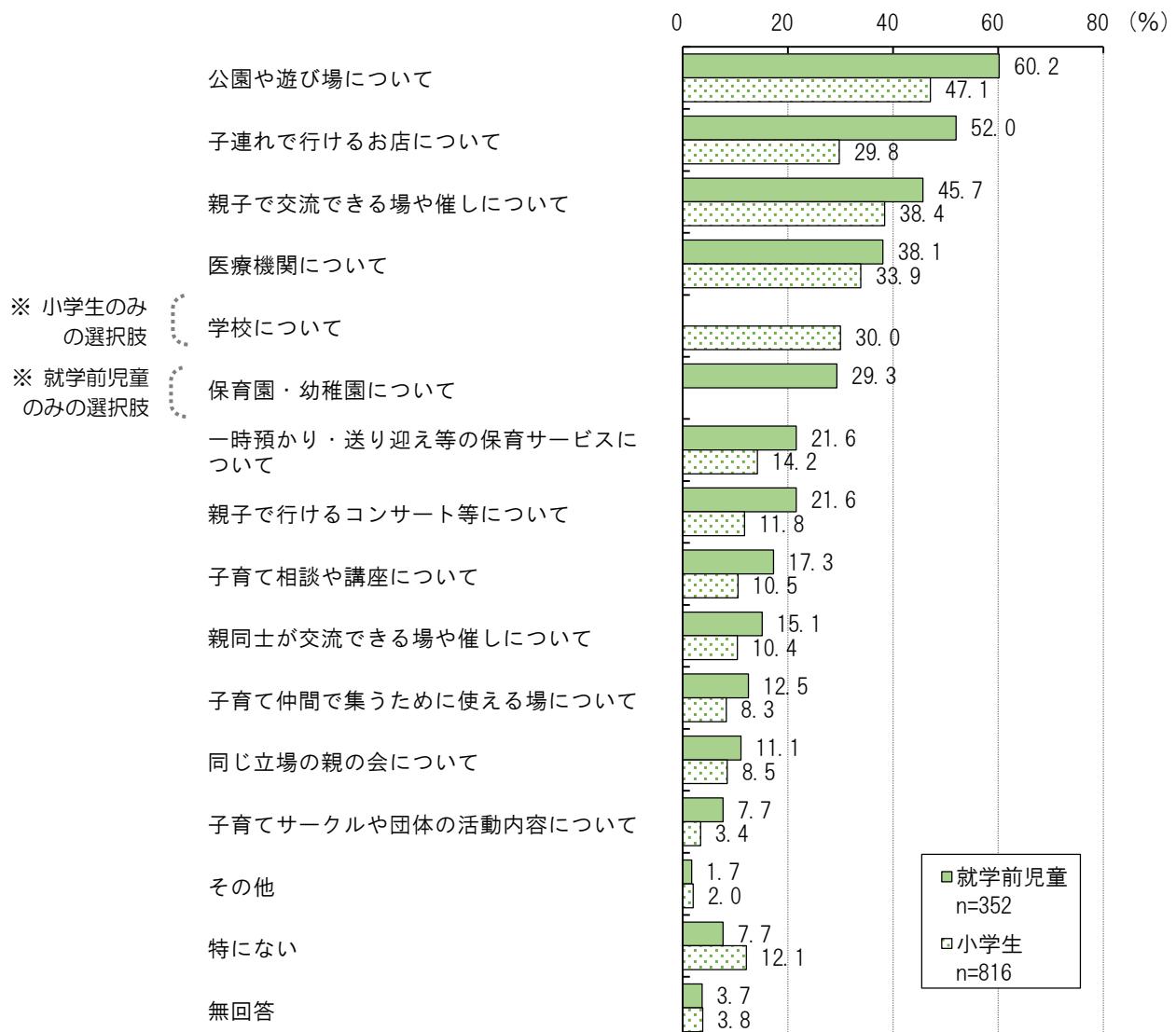
- ・子育てに関する情報源については、就学前児童において「近所の人・友人・知人」「保育園・幼稚園・こども園」がともに61.4%と最も多く、次いで「インターネット」が56.8%などとなっている。小学生においては「近所の人・友人・知人」が73.2%と最も多く、次いで「インターネット」が52.9%、「学校」が48.9%などとなっている。



12-8 子育てに関して知りたい地域情報（複数回答可）

【就学前：問39、小学生：問27】

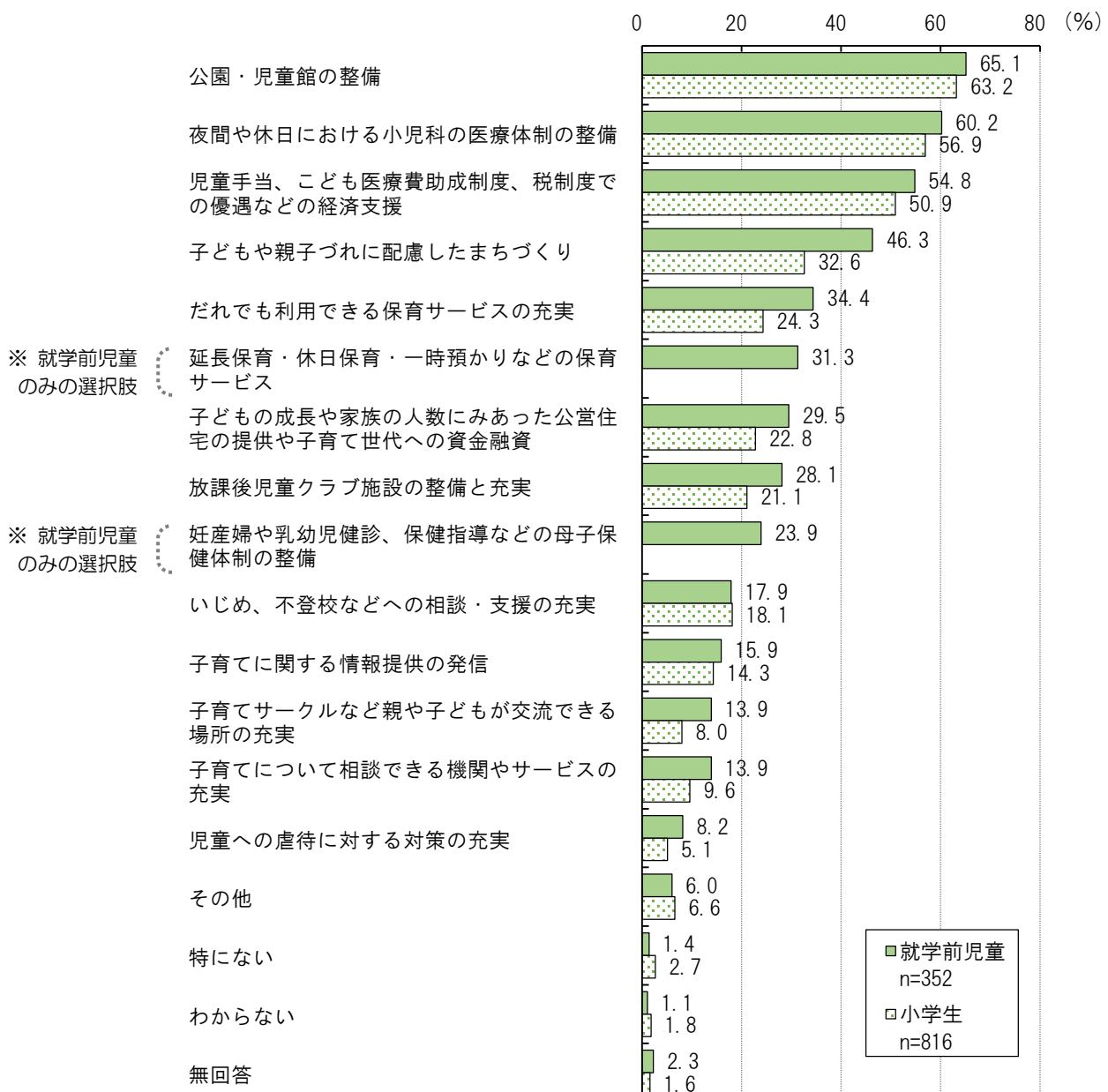
・子育てに関して知りたい地域情報については、就学前児童において「公園や遊び場について」が60.2%と最も多く、次いで「子連れで行けるお店について」が52.0%、「親子で交流できる場や催しについて」が45.7%などとなっている。小学生においては「公園や遊び場について」が47.1%と最も多く、次いで「親子で交流できる場や催しについて」が38.4%、「医療機関について」が33.9%などとなっている。



12-9 子育て支援策で図ってほしいもの（複数回答可）

【就学前：問40、小学生：問28】

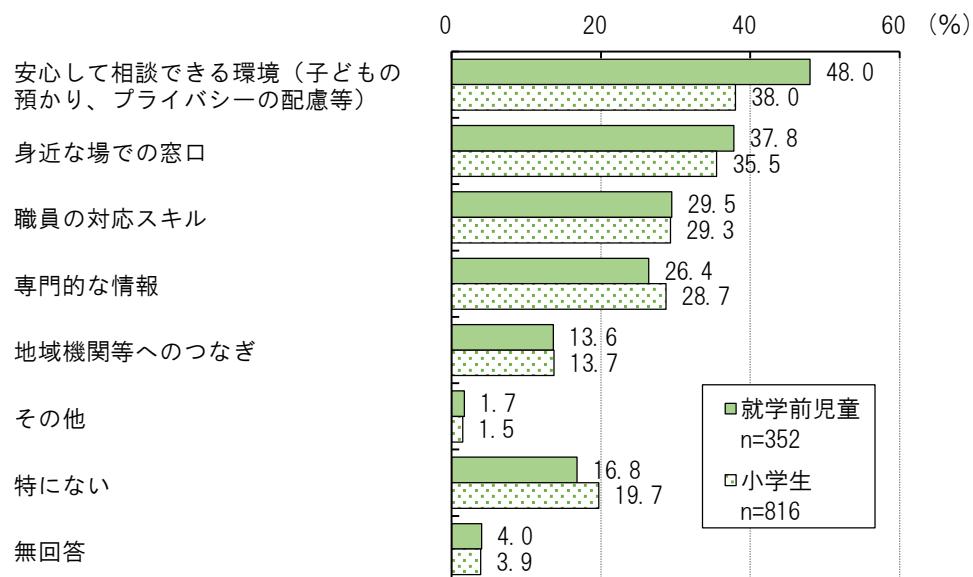
- ・子育て支援策で図ってほしいものについては、「公園・児童館の整備」（就学前児童：65.1%、小学生：63.2%）が就学前児童、小学生ともに最も多く、次いで「夜間や休日における小児科の医療体制の整備」（就学前児童：60.2%、小学生：56.9%）、「児童手当、こども医療費助成制度、税制度での優遇などの経済支援」（就学前児童：54.8%、小学生：50.9%）などとなっている。



12-10 子育てに関する相談で充実してほしいこと（複数回答可）

【就学前：問41、小学生：問29】

・子育てに関する相談で充実してほしいことについては、「安心して相談できる環境(子どもの預かり、プライバシーの配慮等)」（就学前児童：48.0%、小学生：38.0%）が就学前児童、小学生ともに最も多く、次いで「身近な場での窓口」（就学前児童：37.8%、小学生：35.5%）、「職員の対応スキル」（就学前児童：29.5%、小学生：29.3%）などとなっている。

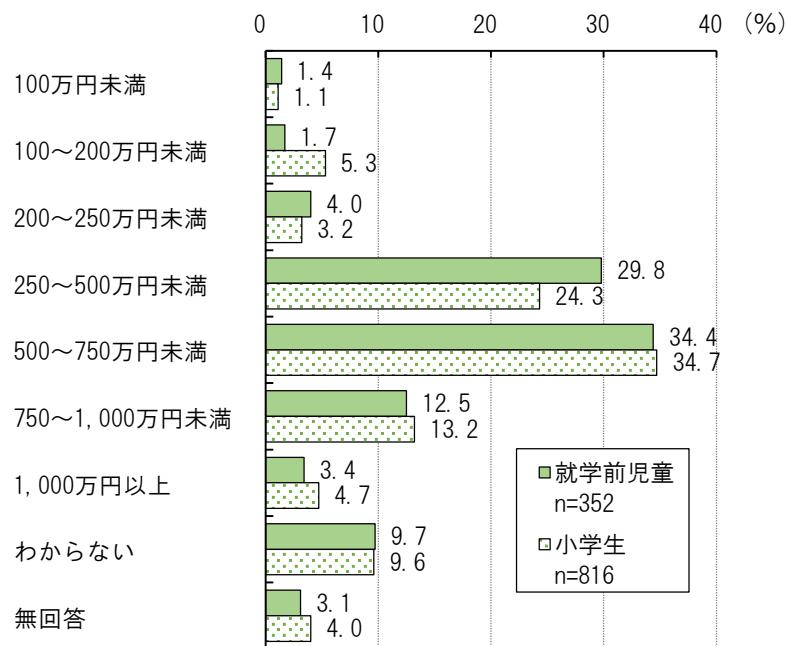


13. 世帯の経済状況について

13-1 令和5年分の世帯収入（単数回答）

【就学前：問42、小学生：問30】

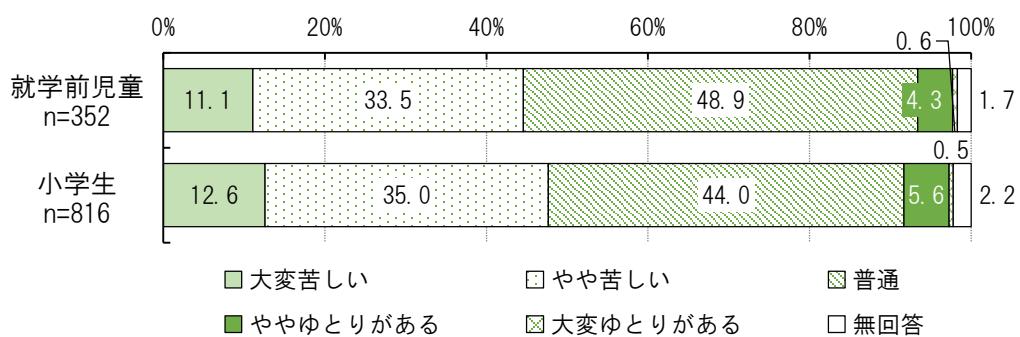
- 令和5年分の世帯収入については、「750～1,000万円未満」（就学前児童：34.4%、小学生：34.7%）が就学前児童、小学生ともに3割を超えて最も多く、次いで「250～500万円未満」（就学前児童：29.8%、小学生：24.3%）などとなっている。



13-2 現在の暮らしの状況（単数回答）

【就学前：問43、小学生：問31】

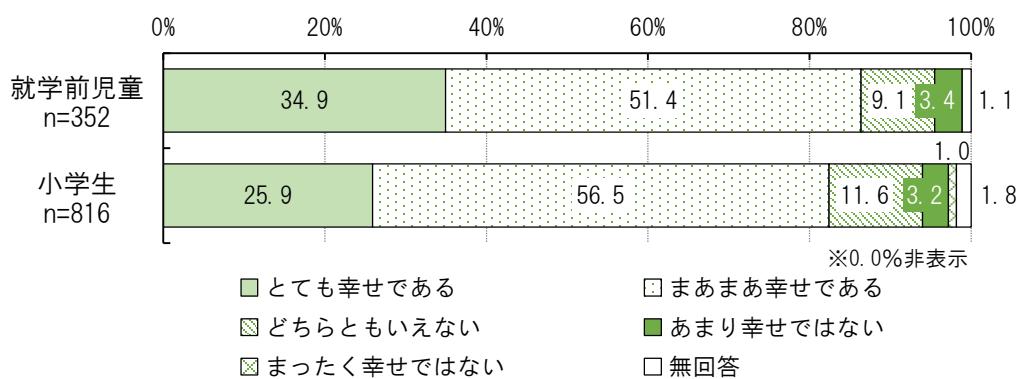
- 現在の暮らしの状況については、「普通」（就学前児童：48.9%、小学生：44.0%）が就学前児童、小学生ともに4割を超えて最も多く、次いで「やや苦しい」（就学前児童：33.5%、小学生：35.0%）などとなっている。



13-3 現在の幸福度（単数回答）

【就学前：問44、小学生：問32】

- 現在の幸福度については、「まあまあ幸せである」（就学前児童：51.4%、小学生：56.5%）が就学前児童、小学生ともに5割を超えて最も多く、次いで「とても幸せである」（就学前児童：34.9%、小学生：25.9%）などとなっている。



資料（調査票）

1. 就学前児童

就学前児童

牧之原市

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

ご協力のお願い

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、国では少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目指しています。

本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向け、令和2年度を初年度とする計画として「第2期牧之原市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援施策を進めて参りました。このたび、現計画が令和6年度をもって終了することから、市民の皆様の子育て状況や、子育て支援に関するご要望・ご意見などを把握するため、「牧之原市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施します。

この調査は、牧之原市内の就学前児童保護者の皆様にご協力ををお願いするものです。

つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年2月

牧之原市長 杉本 基久雄

記入にあたってのお願い

※ご回答いただいた内容は、牧之原市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、他の目的に利用することは一切ございません。

1. アンケートは、封筒のあて名のお子さんが対象となります。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 調査は無記名で実施し個人を特定することはできません。そのため、個人的情報がわかることはございません。また、回答結果は統計処理を行い、目的以外の使用や公表は行いません。
4. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
5. 数字（年齢や時間帯等）をうかがう質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。（例：午後1時 → 13時）
6. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
7. 保育サービス等の子育て支援サービスについての質問は、あくまで今後の利用希望等を把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件（例：保育園の入園要件等）を全て表現しているものではありません。実際のサービスの利用条件等については、市担当課窓口にご相談ください。
8. 現在、子ども・子育てや生活実態に関する調査を複数実施中です。お手数ですが、届いたすべての調査票について、ご回答をお願いいたします。
9. 日本語が読めない場合、お子さん・保護者の方およびその両方が調査にまったく回答できない場合も、回答は空欄で構いませんので、調査票の返送をお願いいたします。
10. 記入後は、お手数ですが、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

2月22日（木）までに、ポストに投函してください。

【お問合せ先】 牧之原市 子ども子育て課（担当：中西）
電話：0548-23-0071

1. 封筒のあて名のお子さんとご家族の状況について

問1 あなたのお住まいの地区（小学校区）を教えてください。（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 相良小学校区 | 2 菅山小学校区 |
| 3 萩間小学校区 | 4 地頭方小学校区 |
| 5 川崎小学校区 | 6 細江小学校区 |
| 7 勝間田小学校区 | 8 坂部小学校区 |
| 9 牧之原小学校区 | |
| 10 わからない（具体的に： | ） |

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字で記入。数字は一括に一字）

西暦20 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、お子さんが2人以上いる場合、末子の方の生年月をご記入ください。（数字で記入）

お子さんは、合計 人

末子の生年月は、西暦20 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

- | | | |
|------|------|-------------------------------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他（ <input type="text"/> ） |
|------|------|-------------------------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（○は1つ）

- | |
|-----------|
| 1 配偶者がいる |
| 2 配偶者はいない |

問6 お子さんからみた関係で、あて名のお子さんと同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況について、お答えください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1 父母同居 | 2 父同居（ひとり親家族） |
| 3 母同居（ひとり親家族） | 4 祖父同居 |
| 5 祖母同居 | 6 祖父近居 |
| 7 祖母近居 | 8 その他（ <input type="text"/> ） |

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

- | | | |
|---------|-------------------------------|--------|
| 1 父母ともに | 2 主に母親 | 3 主に父親 |
| 4 主に祖父母 | 5 その他（ <input type="text"/> ） | |

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どの施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○はいくつでも）

- | | | |
|----------|----------|-------|
| 1 父母ともに | 2 母親 | 3 父親 |
| 4 祖父母 | 5 幼稚園 | 6 保育園 |
| 7 認定こども園 | 8 その他（ ） | |

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境はどれですか。

（○はいくつでも）

- | | | |
|-------|----------|----------|
| 1 家庭 | 2 地域 | 3 幼稚園 |
| 4 保育園 | 5 認定こども園 | 6 その他（ ） |

問10 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（○はいくつでも）

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもいない → 3ページの問11へ |

→問10で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。

問10-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他（ ） |

→問10で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。

問10-2 友人や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他（ ） |

問 11 あて名のお子さんの子育て(教育・保育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。(○は1つ)

1 いる／ある

2 いない／ない

▶問 11 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 11-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(○はいくつでも)

1 親やきょうだいなどの親族

2 友人や知人

3 近所の人

4 子育て支援センター

5 市の健康推進課

6 市の福祉こども相談センター

7 子どもが通う保育園等の保育士

8 子どもが通う幼稚園等の幼稚園教諭

9 民生児童委員・主任児童委員

10 かかりつけの医師

11 自治体の子育て関連担当窓口

12 子ども・子育て相談窓口

13 子育てサークル

14 その他 ()

▶問 11 で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問 11-2 子育てに関して気軽に相談できない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 誰に相談したらよいかわからない

2 相談することが恥ずかしい

3 (施設や機関など) 相談の時間が合わない

4 自分が忙しい

5 相談場所が遠い

6 適切な人・相談場所がない

7 相談したことの秘密が守られるか不安

8 相談先自体を知らない

9 その他 ()

3. 保護者の就労状況について

問12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親【父子家庭の場合は記載不要です】

問12（1）現在の就労状況（○は1つ）

- 1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまで就労したことがない

▶問12（1）で「1」「2」「3」「4」のいずれかを選ばれた方にうかがいます。

問12（1）－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字で記入）

1週あたり	□	日	1日あたり	□	時間
家を出る時刻	□	時	帰宅時刻	□	時

▶問12（1）で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。（問12（1）－1もお答えください）

問12（1）－2 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

- 1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

▶問12（1）で「5」または「6」を選ばれた方にうかがいます。

問12（1）－3 就労したいという希望はありますか。（○は1つ）

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子どもが □歳になったころに就労したい ※年齢を記入してください
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

▶問12（1）－3で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問12（1）－4 希望する就労形態は何ですか。（○は1つ）

- 1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
- 2 パート・アルバイト等 ⇒ 1週あたり □日、1日あたり □時間

父親【母子家庭の場合は記載不要です】

問12(2) 現在の就労状況(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまで就労したことがない

▶問12(2)で「1」「2」「3」「4」のいずれかを選ばれた方にうかがいます。

問12(2)-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字で記入)

1週あたり	□	日	1日あたり	□	時間
家を出る時刻	□	時	帰宅時刻	□	時

▶問12(2)で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。(問12(2)-1もお答えください)

問12(2)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

▶問12(2)で「5」または「6」を選ばれた方にうかがいます。

問12(2)-3 就労したいという希望はありますか。(○は1つ)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2 1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい ※年齢を記入してください
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

▶問12(2)-3で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問12(2)-4 希望する就労形態は何ですか。(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 パート・アルバイト等 ⇒1週あたり□日、1日あたり□時間

全員の方にうかがいます。

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育園等、問13-1に示した事業が含まれます。

問13 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園等の「定期的な教育・保育の事業」を利用して
いますか。(○は1つ)

- 1 利用している 2 利用していない

▼7ページ 問13-5へ

►問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 幼稚園【通常の就園時間の利用】
 2 幼稚園の預かり保育【幼稚園、認定こども園の通常の就園時間を超えて預かる事業のうち定期的な利用のみ】
 3 認可保育園【国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの】
 4 認定こども園【幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設】
 5 小規模な保育施設【国が定める最低基準に適合した施設で自治体の認可を受けた定員概ね6～19人のもの】
 6 企業主導型保育施設
 7 家庭的保育【保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業】
 8 事業所内保育施設【企業が主に従業員用に運営する施設】
 9 自治体の認証・認定保育施設【認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設】
 10 その他の認可外の保育施設
 11 居宅訪問型保育【ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業】
 12 ファミリー・サポート・センター【登録した会員同士が子どもを預かる事業】
 13 その他()

*牧之原市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

►問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かお答えください。(数字で記入)

(1) 現在

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～ 時)

▼7ページ 問13-3へ

►問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(○は1つ)

1 牧之原市内

2 牧之原市外 (具体的な市町名: _____)

►問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 子どもの教育や発達のため
- 2 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労中である
- 3 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定である／求職中である
- 4 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族等を介護している
- 5 子育て(教育を含む)をしている方に病気や障害がある
- 6 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
- 7 その他 ()

-----►問13で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問13-5 定期的な教育・保育事業の利用をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 利用する必要がない(家庭内での教育・保育が可能)
- 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 3 近所の人や父母の友人、知人がみている
- 4 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
- 5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7 利用したいが、事業の質や場所等、納得できる事業がない
- 8 子どもがまだ小さいため ⇒ (□)歳くらいになつたら利用しようと考えている
- 9 その他 ()

全員の方にうかがいます。

問14 国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設された場合、月に何日くらい利用したいと思いますか。また、希望がある場合は、日数、時間数及び時間帯を記入してください。（○は1つ・数字で記入）

1 今後利用したい

⇒ 1か月あたり 回、 1回あたり 時間程度、

利用したい時間帯 時から 時まで

2 利用したいと思わない

* 「こども誰でも通園制度（仮称）」…普段、保育園や幼稚園等を利用してない未就学児を、月一定時間までの利用枠の中で、就労要件を問わず保育園等で定期的に預かることで、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園制度

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも）

*これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。また、金額については、施設及び年齢によって異なることがあります。

1 幼稚園【通常の就園時間の利用】

2 幼稚園の預かり保育【幼稚園、認定こども園の通常の就園時間を超えて預かる事業のうち定期的な利用のみ】

3 認可保育園【国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの】

4 認定こども園【幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設】

5 小規模な保育施設【国が定める最低基準に適合した施設で自治体の認可を受けた定員概ね6～19人のもの】

6 企業主導型保育施設

7 家庭的保育【保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業】

8 事業所内保育施設【企業が主に従業員用に運営する施設】

9 自治体の認証・認定保育施設【認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設】

10 その他の認可外の保育施設

11 居宅訪問型保育【ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業】

12 ファミリー・サポート・センター【登録した会員同士が子どもを預かる事業】

13 その他（ ）

14 利用希望はない

*牧之原市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

→ **問15で「1～13」を選ばれた方にうかがいます。**

問15-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。（○は1つ）

1 牧之原市内

2 牧之原市外（具体的な市町名： ）

→ **問15で「1」または「2」を選び、かつ「3～13」も選ばれた方にうかがいます。**

問15-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

1 はい（希望する）

2 いいえ（希望しない）

5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問16 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場（子育て支援センター 棚原・相良）を利用していますか。また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

（〇はいくつでも・数字で記入）

1 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

⇒ 1週あたり 回もしくは 1ヶ月あたり 回程度

2 その他の事業（具体名をお書きください：）

⇒ 1週あたり 回もしくは 1ヶ月あたり 回程度

3 利用していない

問17 問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（〇は1つ・数字で記入）

1 利用していないが、今後利用したい

⇒ 1週あたり 回もしくは 1ヶ月あたり 回程度

2 すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい

⇒ 1週あたり 回もしくは 1ヶ月あたり 回程度

3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

問18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものがありますか。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。

（〇はそれぞれ1つ）

	【A】 知っている		【B】 利用したことがある		【C】 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
例：⑦ 地区の子育て支援サークル	①	2	1	②	①	2
①母親・父親学級（両親学級） (まきたまクラブ)	1	2	1	2	1	2
②子育て支援センター (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	1	2	1	2	1	2
③子ども子育て課の情報・相談事業 (乳幼児健康相談、栄養相談、電話相談等)	1	2	1	2	1	2
④保育園等の園庭開放	1	2	1	2	1	2
⑤地区の子育て支援サークル	1	2	1	2	1	2
⑥子ども・子育て総合相談窓口	1	2	1	2	1	2
⑦子育て情報誌 パパママ子育てだいじょうぶっく	1	2	1	2	1	2

6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問19 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（○は1つずつ・数字で記入）

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設等の事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1 利用する必要はない → **問19(2)へ**

2 ほぼ毎週利用したい

3 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

時から

時まで

（2）日曜日・祝日

1 利用する必要はない → **問20 または 11ページの問21へ**

2 ほぼ毎週利用したい

3 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯

時から

時まで

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

▶ **問19(1) または (2) で「3」を選ばれた方にうかがいます。**

問19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 月に数回仕事が入るため

2 平日には済ませられない用事をまとめて済ませるため

3 親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他（ ）

「幼稚園・認定こども園（幼稚部）」を利用している方にうかがいます。

問20 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（○は1つ・数字で記入）

1 利用する必要はない → **11ページの問21へ**

2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯

時から

時まで

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

▶ **問20で「3」を選ばれた方にうかがいます。**

問20-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 週に数回仕事が入るため

2 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3 親等親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他（ ）

平日の定期的な教育・保育事業を利用している保護者の方（6ページの問13で「1」を選ばれた方）にうかがいいます。問13で「2」を選ばれた方は、12ページの問22へお進みください。

7. 病気やケガ等の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）について

問21 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

1 あった

2 なかった → 12ページの問22へ

▶問21で「1」を選ばれた方にうかがいいます。

問21-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業ができなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか。（半日程度の場合も1日とカウントしてください）（○はいくつでも・数字で記入）

1 父親が休んだ	⇒ 年間	□	□	日
2 母親が休んだ	⇒ 年間	□	□	日
3 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	⇒ 年間	□	□	日
4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった	⇒ 年間	□	□	日
5 父親又は母親がリモートワークや時差勤務等の取得により、仕事をしながら対応した	⇒ 年間	□	□	日
6 病児・病後児の保育を利用した	⇒ 年間	□	□	日
7 ベビーシッターを利用した	⇒ 年間	□	□	日
8 ファミリー・サポート・センターを利用した	⇒ 年間	□	□	日
9 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	⇒ 年間	□	□	日
10 その他 ()	⇒ 年間	□	□	日

*牧之原市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

*「8 ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

→ 12ページ 問21-5へ

▶問21-1で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいいます。

問21-2 その際、「できれば病児・病後児保育を利用したい」と思われましたか。

また、その場合の日数はどれくらいありますか。（○は1つ・数字で記入）

1 できれば病児・病後児保育を利用したい	⇒ 年間	□	□	日
2 利用したいとは思わない	⇒ 年間	□	□	日

▶問21-2で「1」を選ばれた方にうかがいいます。

問21-3 病児・病後児保育を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

（○はいくつでも）

1 幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業
2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3 ファミリー・サポート・センター等地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
4 その他 ()

▼ 12ページ 問21-4へ

→問21-2で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問21-4 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 病児・病後児を他人に見てもらうのは不安
- 2 病児・病後児保育の質に不安がある
- 3 病児・病後児保育の利便性（立地や利用可能時間・料金等）が良くない
- 4 利用料がかかる・高い
- 5 利用料がわからない
- 6 親が仕事を休んで対応する
- 7 その他（ ）

→問21-1で「4」～「10」を選ばれた方にうかがいます。

問21-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。また、その場合の仕事を休んで看たかった日数はどれくらいありますか。(○は1つ・数字で記入)

1 できれば仕事を休んで看たい ⇒ 年間 日

2 休んで看ることは非常に難しい

→問21-5で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問21-6 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 子どもの看護を理由に休みがとれない
- 2 自営業なので休めない
- 3 休暇日数が足りないので休めない
- 4 その他（ ）

全員の方にうかがいます。

8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問22 この1年間に、あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的（日中の定期的な保育や病気のため以外）で不定期に利用している事業はありますか。また、その日数は概ね何日ですか。（半日程度の場合も1日とカウントしてください）

(○はいくつでも・数字で記入)

1 一時預かり
(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業) ⇒ 年間 日

2 幼稚園の預かり保育
(幼稚園、認定こども園の通常の就園時間を超えて預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ) ⇒ 年間 日

3 ファミリー・サポート・センター
(登録した会員同士が子どもを預かる事業) ⇒ 年間 日

4 夜間養護等事業：トワイライトステイ
(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業) ⇒ 年間 日

5 ベビーシッター ⇒ 年間 日

6 その他（ ） ⇒ 年間 日

7 利用していない

*牧之原市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

↓ 13ページ 問22-1へ

▶問22で「7」を選ばれた方にうかがいます。

問22-1 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 特に利用する必要がない
- 2 利用したい事業が地域にない
- 3 上記の事業の質に不安がある
- 4 上記の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）が良くない
- 5 利用料がかかる・高い
- 6 利用料がわからない
- 7 自自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
- 8 事業の利用方法（手続き等）がわからない
- 9 その他（ ）

全員の方にうかがいます。

問23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要があると思いますか。(○は1つ・数字で記入)

1 利用したい ⇒ 年間 計 日

2 利用する必要はない → 14ページの問24へ

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

▶問23で「1」を選ばれた方にうかがいます。

▶問23-1 その目的と必要な日数をご記入ください。(○はいくつでも・数字で記入)

1 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

⇒ 年間 日

2 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

⇒ 年間 日

3 不定期の就労

⇒ 年間 日

4 その他（ ）

⇒ 年間 日

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

▶問23-2 問23-1の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。

(○はいくつでも)

1 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）

2 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）

3 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）

4 その他（ ）

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）（○は1つ）

1 あった

2 なかつた → 15ページの問25へ

▶問24で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問24-1 その対処方法と年間の日数をご記入ください。（○はいくつでも・数字で記入）

1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

⇒ 年間

--	--

 泊

2 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した
(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)

⇒ 年間

--	--

 泊

3 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した

⇒ 年間

--	--

 泊

4 仕方なく子どもを同行させた

⇒ 年間

--	--

 泊

5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

⇒ 年間

--	--

 泊

6 その他 ()

⇒ 年間

--	--

 泊

▶問24-1で「1」を選ばれた方にうかがいます。

▶問24-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。（○は1つ）

1 非常に困難

2 どちらかというと困難

3 特に困難ではない

問25～問28は、あて名のお子さんが来年度小学校に入学する方にうかがいます。
それ以外の方は、16ページの問29へお進みください。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問25 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。（○はいくつでも・数字で記入）

1 自宅	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4 児童館	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5 放課後学習支援	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6 放課後児童クラブ（学童保育）	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい 下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
7 ファミリー・サポート・センター	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8 その他（公民館、公園など）	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい

* 牧之原市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

問26 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。（○はいくつでも・数字で記入）

だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1 自宅	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4 児童館	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5 放課後学習支援	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6 放課後児童クラブ（学童保育）	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい 下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
7 ファミリー・サポート・センター	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8 その他（公民館、公園など）	⇒ 週 <input type="checkbox"/> 日くらい

* 牧之原市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

問25または問26で「6」を選ばれた方にうかがいます。

問27 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(○は1つずつ・数字で記入)

(1) 土曜日

- 1 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 3 利用する必要はない

利用したい時間帯

□	時から	□	時まで
---	-----	---	-----

(2) 日曜日・祝日

- 1 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 3 利用する必要はない

利用したい時間帯

□	時から	□	時まで
---	-----	---	-----

※日曜日・祝日については、現在、事業を行っておりません。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

お子さんが来年度小学校に入学する方全員にうかがいます。

問28 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(○は1つ・数字で記入)

- 1 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 3 利用する必要はない

利用したい時間帯

□	時から	□	時まで
---	-----	---	-----

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

全員の方にうかがいます。

問29 子どもが放課後に過ごす場所としてどのような場所があると良いと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 子どもが自由に遊びや運動ができる場所
 2 子どもが自由に本を読んだり学習することができる場所
 3 子どもが音楽など趣味の活動ができる場所
 4 子どもが自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所
 5 子どもが自分と違う年齢の人と交流できる場所
 6 子ども同士が集まっておしゃべりできる場所
 7 家族の帰りの遅い子どもに食事を無料または低額で提供する場所
 8 塾などに行けない子どもが学習支援を受けられる場所
 9 急な用事などの時に、子どもを一時的に預けられる場所
 10 その他 ()

全員の方にうかがいます。

10. 育児休業や短時間勤務制度等職場の両立支援制度について

問30 育児休業に関する次の2つの制度がありますが、そのことをご存じですか。（○は1つ）

- ◆育児休業給付 → 子どもが原則満1歳（保育園における保育の実施が行われない等一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み。
- ◆保険料免除 → 子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

- 1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2 育児休業給付のみ知っていた
- 3 保険料免除のみ知っていた
- 4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問31 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。

（○はそれぞれ1つ・【理由】○はいくつでも）

母親【父子家庭の場合は記載不要です】	父親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 働いていなかった → 20ページの問32へ	1 働いていなかった → 20ページの問32へ
2 取得した（取得中である）	2 取得した（取得中である）
3 取得していない	3 取得していない
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 【取得していない理由】 (下から番号を選んでください。 あてはまるものすべてに○) </div>	
1・2・3・4・5・6・7・8・9・ 10・11・12・13・14・15	1・2・3・4・5・6・7・8・9・ 10・11・12・13・14・15
20ページの問32へ	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 5 昇給・昇格等が遅れそうだった 7 保育園等に預けることができた 9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった 10 子育てや家事に専念するために退職した 11 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13 育児休業を取得できることを知らなかった 14 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した 15 その他（ ）) </div>	
18ページ 問31-1へ	

▶問31で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問31-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○はそれぞれ1つ)

母 親【父子家庭の場合は記載不要です】	父 親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 育児休業取得後、職場に復帰した	1 育児休業取得後、職場に復帰した
2 現在も育児休業中である	2 現在も育児休業中である
3 育児休業中に離職した	3 育児休業中に離職した

問31-2～問31-5は、問31-1で「1」を選ばれた方にうかがいます。

20ページ問31-8へ

▶問31-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(○はそれぞれ1つ)

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時に認可外保育園に入園した場合等も「1」にあてはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

母 親【父子家庭の場合は記載不要です】	父 親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2 それ以外だった	2 それ以外だった

▶問31-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

(数字を記入)

母 親【父子家庭の場合は記載不要です】	父 親【母子家庭の場合は記載不要です】
① 実際に復帰した時の子どもの年齢： □歳 □ヶ月	① 実際に復帰した時の子どもの年齢： □歳 □ヶ月
② 希望していた復帰時期の子どもの年齢： □歳 □ヶ月	② 希望していた復帰時期の子どもの年齢： □歳 □ヶ月

※希望どおりの復帰時期だった場合は、②に①と同じ数字を記入してください。

※希望どおりの復帰時期だった場合は、②に①と同じ数字を記入してください。

▶問31-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(数字を記入)

母 親【父子家庭の場合は記載不要です】	父 親【母子家庭の場合は記載不要です】
□歳 □ヶ月まで	□歳 □ヶ月まで

※問31-3の②(希望していた復帰時期の子どもの年齢)と同じ場合は、同じ数字を記入してください。

※問31-3の②(希望していた復帰時期の子どもの年齢)と同じ場合は、同じ数字を記入してください。

▶問31-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○はそれぞれ1つ)

母 親【父子家庭の場合は記載不要です】	父 親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった)	1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった)
2 利用した	2 利用した
3 利用したかったが、利用しなかった(できなかった)	3 利用したかったが、利用しなかった(できなかった)

-----> 19ページ問31-7へ

問31-6は、問31-3で 実際の復帰と希望が異なる方 にうかがいます。

問31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より 早く 復帰した方 (○はいくつでも)

母 親【父子家庭の場合は記載不要です】	父 親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 希望する保育園に入るため	1 希望する保育園に入るため
2 配偶者や家族の希望があったため	2 配偶者や家族の希望があったため
3 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5 その他()	5 その他()

(2)「希望」より 遅く 復帰した方 (○はいくつでも)

母 親【父子家庭の場合は記載不要です】	父 親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 希望する保育園に入れなかったため	1 希望する保育園に入れなかったため
2 自分や子ども等の体調が思わしくなかったため	2 自分や子ども等の体調が思わしくなかったため
3 配偶者や家族の希望があったため	3 配偶者や家族の希望があったため
4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5 子どもをみてくれる人がいなかったため	5 子どもをみてくれる人がいなかったため
6 その他()	6 その他()

問31-7は、問31-5で「3 利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」を選ばれた方にうかがいます。

問31-7 短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由は何ですか。

(○はいくつでも)

母 親【父子家庭の場合は記載不要です】	父 親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2 仕事が忙しかった	2 仕事が忙しかった
3 短時間勤務にすると給与が減額される	3 短時間勤務にすると給与が減額される
4 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいた	6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいた
7 子育てや家事に専念するため退職した	7 子育てや家事に専念するため退職した
8 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	8 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10 その他()	10 その他()

問31-8は、18ページの問31-1で「2 現在も育児休業中である」を選ばれた方にうかがいます。

問 31-8 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（○はそれぞれ1つ）

母 親【父子家庭の場合は記載不要です】	父 親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 1歳になるまで育児休業を取得したい	1 1歳になるまで育児休業を取得したい
2 1歳になる前に復帰したい	2 1歳になる前に復帰したい

全員の方にうかがいます。

11. 子育てに関する一般的な事項について

問 32 あなたのお住まいの地域についておたずねします。（各項目1つに○）

	強くそう思う	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	まったく思わない
【記入例】 あなたのお住まいの地域の人々は信頼できる	1	②	3	4	5		
① あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている	1	2	3	4	5		
② あなたのお住まいの地域の人々は信頼できる	1	2	3	4	5		
③ あなたのお住まいの地域では、子どもの安全が守られている	1	2	3	4	5		

問 33 子育てについて不安や負担を感じますか。（○は1つ）

1 非常に感じる	2 何となく感じる
3 あまり感じない	4 まったく感じない
5 何ともいえない	

問34 日頃、子育てについて悩んでいることや、気になることがありますか。（○はいくつでも）

【①子ども自身に関すること】

1 子どもの病気や発育や発達	2 子どもの教育	3 友だちとの関わり
4 登園しぶり	5 いじめ	6 心の問題
7 運動習慣	8 睡眠時間	9 放射線の影響
10 その他（ ）		
11 特にない		

【②育児について】

- | | |
|--|---------------------|
| 1 子育ての方法がわからない | 2 子どもへの接し方がわからない |
| 3 子どもと接する時間が取れない | 4 子どもを叱りすぎているように感じる |
| 5 子育てのストレスが溜まって、子どもに手を上げたり、大きな声で怒鳴ったり、世話をしなかつたりしてしまう | |
| 6 子どもが言うことを聞かなかつたり、思うように育たない | |
| 7 食品の安全性 | 8 しつけ |
| 9 その他 () | |
| 10 特にない | |

問35 問34①②以外で、悩んでいること等がありましたらご自由にご記入ください。

問36 育児の不安や悩みを相談することができますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 相談する | 2 相談しない |
|--------|---------|

問36で「1」を選ばれた方にうかがいます。

▶問36-1 育児の不安や悩みの相談先はどこですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 2 親、きょうだいなどその他の親族 |
| 3 知人・友人 | 4 近所の人、地域の知人 |
| 5 インターネット・電話 | 6 職場の人 |
| 7 保育園、幼稚園の保護者仲間 | 8 子育てサークルの仲間 |
| 9 医師・看護師 | 10 保育士・幼稚園の先生 |
| 11 子育て支援センターの職員 | 12 児童館の職員 |
| 13 市の福祉こども相談センターの職員 | 14 民生委員・児童委員 |
| 15 適応指導教室（フルール）の相談員 | 16 市民相談センター |
| 17 保健所・保健センター | 18 児童相談所 |
| 19 その他 () | |

問36で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問36-2 相談しない理由は主な何ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 我慢する | 2 外出や趣味で気分転換する |
| 3 相談相手がいない | |
| 4 その他 () | |
| 5 特に相談することがない | |

問37 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（番号に○）



問38 子育てに関する情報はどこから入手していますか。（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|--------------------|---------------|
| 1 親族 | 2 近所の人・友人・知人 | 3 子育てサークル仲間 |
| 4 保育園・幼稚園・こども園 | 5 市役所・市の機関 | 6 市の広報・パンフレット |
| 7 テレビ・ラジオ・新聞 | 8 子育て雑誌・育児書 | 9 インターネット |
| 10 コミュニティー誌 | 11 パパママ子育てだいじょうぶっく | |
| 12 その他（
） | | 13 入手方法がない |

問39 子育てに関してどのような地域情報を知りたいですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 親子で交流できる場や催しについて | 2 親同士が交流できる場や催しについて |
| 3 子育て相談や講座について | 4 保育園・幼稚園について |
| 5 一時預かり・送り迎え等の保育サービスについて | |
| 6 子育てサークルや団体の活動内容について | 7 同じ立場の親の会について |
| 8 医療機関について | 9 公園や遊び場について |
| 10 子育て仲間で集うために使える場について | 11 親子で行けるコンサート等について |
| 12 子連れで行けるお店について | |
| 13 その他（
） | 14 特にない |

問40 市に対してどのような子育て支援策を図ってほしいですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--|----------------------|
| 1 妊産婦や乳幼児健診、保健指導などの母子保健体制の整備 | |
| 2 夜間や休日における小児科の医療体制の整備 | 3 公園・児童館の整備 |
| 4 放課後児童クラブ施設の整備と充実 | 5 だれでも利用できる保育サービスの充実 |
| 6 子育てサークルなど親や子どもが交流できる場所の充実 | |
| 7 延長保育・休日保育・一時預かりなどの保育サービス | |
| 8 子どもの成長や家族の人数にみあった公営住宅の提供や子育て世代への資金融資 | |
| 9 子どもや親子づれに配慮したまちづくり | |
| 10 子育てについて相談できる機関やサービスの充実 | |
| 11 子育てに関する情報提供の発信 | 12 児童への虐待に対する対策の充実 |
| 13 児童手当、こども医療費助成制度、税制度での優遇などの経済支援 | |
| 14 いじめ、不登校などへの相談・支援の充実 | |
| 15 その他（
） | |
| 16 特にない | 17 わからない |

問41 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1 身近な場での窓口 | 2 専門的な情報 |
| 3 職員の対応スキル | 4 地域機関等へのつなぎ |
| 5 安心して相談できる環境（子どもの預かり、プライバシーの配慮等） | |
| 6 その他（
） | |
| 7 特にない | |

12. 世帯の経済状況について

問42 令和5年分のあなたの世帯全体で把握している収入（各種税を抜いた額）の合計額は、およそいくらでしたか。(○は1つ)

※確定申告の申請状況等により令和5年分の収入が不明の方は、令和4年分の合計額をお答えください。

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1 100万円未満 | 2 100～200万円未満 | 3 200～250万円未満 |
| 4 250～500万円未満 | 5 500～750万円未満 | 6 750～1,000万円未満 |
| 7 1,000万円以上 | 8 わからない | |

問43 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい | 3 普通 |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある | |

問44 あなたは現在、幸せだと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 とても幸せである | 2 まあまあ幸せである | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり幸せではない | 5 まったく幸せではない | |

問45 最後に、子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所の職員など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。また、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

回答いただいた調査票は、2月22日（木）までに返信用封筒に入れ、
ご返送ください。（切手不要）

2. 小学生

小学生

牧之原市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

ご協力のお願い

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、国では少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目指しています。

本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向け、令和2年度を初年度とする計画として「第2期牧之原市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援施策を進めて参りました。このたび、現計画が令和6年度をもって終了することから、市民の皆様の子育て状況や、子育て支援に関するご要望・ご意見などを把握するため、「牧之原市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施します。

この調査は、牧之原市内の小学1・2・3年生の保護者の皆様にご協力ををお願いするものです。

つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年2月

牧之原市長 杉本 基久雄

記入にあたってのお願い

※ご回答いただいた内容は、牧之原市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、他の目的に利用することは一切ございません。

1. アンケートは、封筒（調査票）を持ち帰ったお子さんが対象となります。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 調査は無記名で実施し個人を特定することはできません。そのため、個人的情報がわかれることはございません。また、回答結果は統計処理を行い、目的以外の使用や公表は行いません。
4. 選択肢がある場合には、番号を〇印で囲んでください。
5. 数字（年齢や時間帯等）をうかがう質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。 (例：午後1時 → 13時)
6. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
7. 現在、子ども・子育てや生活実態に関する調査を複数実施中です。お手数ですが、届いたすべての調査票について、ご回答をお願いいたします。
8. 日本語が読めない場合や、お子さん・保護者の方およびその両方が調査にまったく回答できない場合も、回答は空欄で構いませんので、調査票の提出をお願いいたします。
9. 記入後は、お手数ですが必ずこの調査票が入っていた封筒に入れ、封をして

2月20日（火）までに、お子さんの担任の先生に提出してください。

【お問合せ先】 牧之原市 子ども子育て課（担当：中西）
電話：0548-23-0071

1. 対象のお子さんとご家族の状況について

問1 あなたのお住まいの地区（小学校区）を教えてください。（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 相良小学校区 | 2 菅山小学校区 |
| 3 萩間小学校区 | 4 地頭方小学校区 |
| 5 川崎小学校区 | 6 細江小学校区 |
| 7 勝間田小学校区 | 8 坂部小学校区 |
| 9 牧之原小学校区 | |
| 10 わからない（具体的に： | ） |

問2 対象のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字で記入。数字は一枠に一字）

西暦20 年 月 生まれ

問3 対象のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、お子さんが2人以上いる場合、末子の方の生年月をご記入ください。（数字で記入）

お子さんは、合計 人

末子の生年月は、西暦20 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。対象のお子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

- | | | |
|------|------|-------------------------------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他（ <input type="text"/> ） |
|------|------|-------------------------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（○は1つ）

- | |
|-----------|
| 1 配偶者がいる |
| 2 配偶者はいない |

問6 お子さんからみた関係で、対象のお子さんと同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況について、お答えください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1 父母同居 | 2 父同居（ひとり親家族） |
| 3 母同居（ひとり親家族） | 4 祖父同居 |
| 5 祖母同居 | 6 祖父近居 |
| 7 祖母近居 | 8 その他（ <input type="text"/> ） |

問7 対象のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

- | | | |
|----------|-------------------------------|--------|
| 1 父母とともに | 2 主に母親 | 3 主に父親 |
| 4 主に祖父母 | 5 その他（ <input type="text"/> ） | |

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どの施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○はいくつでも）

- | | | |
|-------------|----------|------|
| 1 父母ともに | 2 母親 | 3 父親 |
| 4 祖父母 | 5 学校（教諭） | |
| 6 その他（
） | | |

問9 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境はどれですか。

（○はいくつでも）

- | | | |
|-------------|------|----------|
| 1 家庭 | 2 地域 | 3 学校（教諭） |
| 4 その他（
） | | |

問10 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（○はいくつでも）

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもいない → 3ページの問11へ |

→問10で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。

問10-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、
安心して子どもをみてもらえる |
| 2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他（
） |

→問10で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。

問10-2 友人や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他（
） |

問 11 対象のお子さんの子育て（教育・保育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。（○は1つ）

1 いる／ある

2 いない／ない

▶問 11 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 11-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。
(○はいくつでも)

1 親やきょうだいなどの親族

2 友人や知人

3 近所の人

4 子育て支援センター

5 市の健康推進課

6 市の福祉こども相談センター

7 子どもが通う学校の先生

8 民生児童委員・主任児童委員

9 かかりつけの医師

10 自治体の子育て関連担当窓口

11 子ども・子育て相談窓口

12 子育てサークル

13 その他 ()

---▶問 11 で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問 11-2 子育てに関して気軽に相談できない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 誰に相談したらよいかわからない

2 相談することが恥ずかしい

3 （施設や機関など）相談の時間が合わない

4 自分が忙しい

5 相談場所が遠い

6 適切な人・相談場所がない

7 相談したことの秘密が守られるか不安

8 相談先自体を知らない

9 その他 ()

3. 保護者の就労状況について

問12 対象のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親【父子家庭の場合は記載不要です】

問12（1）現在の就労状況（○は1つ）

- 1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまで就労したことがない

→問12（1）で「1」「2」「3」「4」のいずれかを選ばれた方にうかがいます。

問12（1）－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字で記入）

1週あたり	□	日	1日あたり	□	時間
家を出る時刻	□	時	帰宅時刻	□	時

→問12（1）で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。（問12（1）－1もお答えください）

問12（1）－2 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

- 1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

→問12（1）で「5」または「6」を選ばれた方にうかがいます。

問12（1）－3 就労したいという希望はありますか。（○は1つ）

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子どもが □歳になったころに就労したい ※年齢を記入してください
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→問12（1）－3で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問12（1）－4 希望する就労形態は何ですか。（○は1つ）

- 1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
- 2 パート・アルバイト等 ⇒ 1週あたり □日、1日あたり □時間

父親【母子家庭の場合は記載不要です】

問12(2) 現在の就労状況(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまで就労したことがない

→問12(2)で「1」「2」「3」「4」のいずれかを選ばれた方にうかがいます。

問12(2)-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字で記入)

1週あたり	<input type="text"/>	日	1日あたり	<input type="text"/>	時間
家を出る時刻	<input type="text"/>	時	帰宅時刻	<input type="text"/>	時

→問12(2)で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。(問12(2)-1もお答えください)

問12(2)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

→問12(2)で「5」または「6」を選ばれた方にうかがいます。

問12(2)-3 就労したいという希望はありますか。(○は1つ)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい ※年齢を記入してください
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→問12(2)-3で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問12(2)-4 希望する就労形態は何ですか。(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 パート・アルバイト等 ⇒1週あたり 日、1日あたり 時間

全員の方にうかがいます。

4. 放課後児童クラブの利用について

問13 現在、対象のお子さんは放課後児童クラブを利用していますか。(○は1つ)

1 利用している

2 利用していない

問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

▶問13-1-1 放課後児童クラブを利用している日（平日・土曜日）はいつですか。
また、それぞれの利用頻度はどのくらいですか。(○は1つずつ・数字で記入)

(1) 平日

1 利用している ⇒ 1週あたり 日

2 利用していない

(2) 土曜日

1 利用している ⇒ 1ヶ月あたり 日

2 利用していない

▶問13-1-2 放課後児童クラブを利用している理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 母親または父親が就労しているから
- 2 母親または父親に就労予定があるから／求職中であるから
- 3 母親または父親が家族・親族などを介護しなければならないから
- 4 母親または父親が病気や障害を持っているから
- 5 母親または父親が学生であるから
- 6 その他 ()

問13で「2」を選ばれた方にうかがいます。 ◀-----

問13-2-1 放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 母親または父親が就労していないため、利用する必要がないから
- 2 就労しているが、家族や親族の中に世話をしてくれる人がいるから
- 3 就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけで大丈夫だと思うから
- 4 放課後児童クラブを知らなかったから
- 5 放課後児童クラブの利用料がかかるから
- 6 放課後児童クラブの開所時間が短いから・合わないから
- 7 放課後は、習い事をしているから
- 8 他の施設・事業所に預けているから
- 9 その他 ()

問13-2-2 今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。(○は1つ) ◀-----

1 利用したい ⇒ 週 日程度

土曜日の利用希望

1 あり

2 なし

⇒7ページ 問13-2-2-1へ

2 今後も利用しない

問 13-2-2で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 13-2-2-1 放課後児童クラブを利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 母親または父親が就労しているから
- 2 母親または父親に就労予定があるから／求職中であるから
- 3 そのうち就労したいと考えているから
- 4 母親または父親が家族・親族などを介護しなければならないから
- 5 母親または父親が病気や障害を持っているから
- 6 母親または父親が学生であるから／就学したいから
- 7 その他 ()

全員の方にうかがいます。

問 14 来年度以降、対象のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望はありますか。平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中別にそれぞれご記入ください。また、平日以外の希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。(○は1つずつ・数字で記入)

(1) 平日

- 1 低学年(1~3年生)の間は利用したい → 1週あたり 日
- 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい
- 3 利用する必要はない

(2) 土曜日

- 1 低学年(1~3年生)の間は利用したい → 利用したい時間帯 時から 時まで
利用したい日数 1ヶ月あたり 日
- 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい
- 3 利用する必要はない

(3) 日曜日・祝日

- 1 低学年(1~3年生)の間は利用したい → 利用したい時間帯 時から 時まで
利用したい日数 1ヶ月あたり 日
- 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい
- 3 利用する必要はない

※日曜日・祝日については、現在、事業を行っていません。

(4) 夏休み・冬休み等の長期休暇中

- 1 低学年(1~3年生)の間は利用したい → 利用したい時間帯 時から 時まで
利用したい日数 夏休み 日／冬休み 日
 - 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい
 - 3 利用する必要はない
- 春休み 日

全員の方にうかがいます。

5. 病気やケガ等の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）について

問 15 この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

1 あつた

2 なかつた → 9ページの問16へ

▶問15で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問15-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業ができなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか。（半日程度の場合も1日とカウントしてください）（○はいくつでも・数字で記入）

1 父親が休んだ

⇒ 年間 日

2 母親が休んだ

⇒ 年間 日

3 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た

⇒ 年間 日

4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった

⇒ 年間 日

5 父親又は母親がリモートワークや時差勤務等の取得により、仕事をしながら対応した

⇒ 年間 日

6 病児・病後児の保育を利用した

⇒ 年間 日

7 ファミリー・サポート・センターを利用した

⇒ 年間 日

8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

⇒ 年間 日

9 その他 ()

⇒ 年間 日

*牧之原市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

*「7 ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

→ 9ページ 問15-5へ

▶問15-1で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。

問15-2 その際、「できれば病児・病後児保育を利用したい」と思われましたか。

また、その場合の日数はどれくらいありますか。（○は1つ・数字で記入）

1 できれば病児・病後児保育を利用したい

⇒ 年間 日

2 利用したいとは思わない

▶問15-2で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問15-3 病児・病後児保育を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

(○はいくつでも)

1 幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業

2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業

3 ファミリー・サポート・センター等地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業

4 その他 ()

▼ 9ページ 問15-4へ

→問15-2で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問15-4 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 病児・病後児を他人に見てもらうのは不安
- 2 病児・病後児保育の質に不安がある
- 3 病児・病後児保育の利便性(立地や利用可能時間・口数等)が良くない
- 4 利用料がかかる・高い
- 5 利用料がわからない
- 6 親が仕事を休んで対応する
- 7 その他 ()

→問15-1で「4」～「9」を選ばれた方にうかがいます。

問15-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。また、その場合の仕事を休んで看たかった日数はどれくらいありますか。(○は1つ・数字で記入)

1 できれば仕事を休んで看たい ⇒ 年間 日

2 休んで看ることは非常に難しい

→問15-5で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問15-6 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 子どもの看護を理由に休みがとれない
- 2 自営業なので休めない
- 3 休暇日数が足りないので休めない
- 4 その他 ()

全員の方にうかがいます。

6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問16 この1年間に、対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的(日中の定期的な保育や病気のため以外)で不定期に利用している事業はありますか。また、その日数は概ね何日ですか。(半日程度の場合も1日とカウントしてください)

(○はいくつでも・数字で記入)

1 ファミリー・サポート・センター
(登録した会員同士が子どもを預かる事業)

⇒ 年間 日

2 託児施設等

⇒ 年間 日

3 その他 ()

⇒ 年間 日

4 利用していない

*牧之原市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

10ページ 問16-1へ

▶問16で「4」を選ばれた方にうかがいます。

問16-1 利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 特に利用する必要がない
- 2 利用したい事業が地域にない
- 3 上記の事業の質に不安がある
- 4 上記の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）が良くない
- 5 利用料がかかる・高い
- 6 利用料がわからない
- 7 自自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
- 8 事業の利用方法（手続き等）がわからない
- 9 その他（ ）

全員の方にうかがいます。

問17 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要があると思いますか。（○は1つ・数字で記入）

1 利用したい ⇒ 年間 日

2 利用する必要はない → 11ページの問18へ

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

▶問17で「1」を選ばれた方にうかがいます。

▶問17-1 その目的と必要な日数をご記入ください。（○はいくつでも・数字で記入）

1 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

⇒ 年間 日

2 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

⇒ 年間 日

3 不定期の就労

⇒ 年間 日

4 その他（ ）

⇒ 年間 日

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

▶問17-2 問17-1の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。

（○はいくつでも）

1 大規模施設（幼稚園・保育園などの空きスペース）で子どもを養育する事業

2 小規模施設（地域子育て支援センター等）で子どもを養育する事業

3 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で養育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）

4 その他（ ）

問 18 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、対象のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）（○は 1 つ）

1 あった

2 なかつた → **問 19**へ

▶問 18 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 18-1 その対処方法と年間の日数をご記入ください。（○はいくつでも・数字で記入）

1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

⇒ 年間

--	--

 泊

2 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した
(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)

⇒ 年間

--	--

 泊

3 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した

⇒ 年間

--	--

 泊

4 仕方なく子どもを同行させた

⇒ 年間

--	--

 泊

5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

⇒ 年間

--	--

 泊

6 その他 ()

⇒ 年間

--	--

 泊

▶問 18-1 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 18-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。（○は 1 つ）

1 非常に困難

2 どちらかというと困難

3 特に困難ではない

問 19 子どもが放課後に過ごす場所としてどのような場所があると良いと思いますか。

（○はいくつでも）

1 子どもが自由に遊びや運動ができる場所

2 子どもが自由に本を読んだり学習することができる場所

3 子どもが音楽など趣味の活動ができる場所

4 子どもが自分と同じくらいの年齢の人と交流できる場所

5 子どもが自分と違う年齢の人と交流できる場所

6 子ども同士が集まっておしゃべりできる場所

7 家族の帰りの遅い子どもに食事を無料または低額で提供する場所

8 塾などに行けない子どもが学習支援を受けられる場所

9 急な用事などの時に、子どもを一時的に預けられる場所

10 その他 ()

全員の方にうかがいます。

7. 子育てに関する一般的な事項について

問20 あなたのお住まいの地域についておたずねします。（各項目1つに○）

	強くそう思う	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	まったく思わない
【記入例】 あなたのお住まいの地域の人々は信頼できる	1	②	3	4	5		
① あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている	1	2	3	4	5		
② あなたのお住まいの地域の人々は信頼できる	1	2	3	4	5		
③ あなたのお住まいの地域では、子どもの安全が守られている	1	2	3	4	5		

問21 子育てについて不安や負担を感じますか。（○は1つ）

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1 非常に感じる | 2 何となく感じる | 3 あまり感じない |
| 4 まったく感じない | 5 何ともいえない | |

問22 日頃、子育てについて悩んでいることや、気になることがありますか。（○はいくつでも）

【①子ども自身に関すること】

- | | | |
|----------------|----------|------------|
| 1 子どもの病気や発育や発達 | 2 子どもの教育 | 3 友だちとの関わり |
| 4 登校しづり | 5 いじめ | 6 心の問題 |
| 7 運動習慣 | 8 睡眠時間 | 9 放射線の影響 |
| 10 その他（
） | | 11 特にない |

【②育児について】

- | | |
|--|------------------|
| 1 子育ての方法がわからない | 2 子どもへの接し方がわからない |
| 3 勉強の教え方がわからない | 4 子どもと接する時間が取れない |
| 5 子どもを叱りすぎているように感じる | |
| 6 子育てのストレスが溜まって、子どもに手を上げたり、大きな声で怒鳴ったり、世話をしなかつたりしてしまう | |
| 7 子どもが言うことを聞かなかつたり、思うように育たない | |
| 8 食品の安全性 | 9 しつけ |
| 10 その他（
） | |
| 11 特にない | |

問23 問22の①②以外で、悩んでいること等がありましたらご自由にご記入ください。

（記入欄）

問24 育児の不安や悩みを相談することがありますか。（○は1つ）

<input type="checkbox"/> 1 相談する	<input type="checkbox"/> 2 相談しない
---------------------------------	----------------------------------

▶問24で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問24-1 育児の不安や悩みの相談先はどこですか。（○はいくつでも）

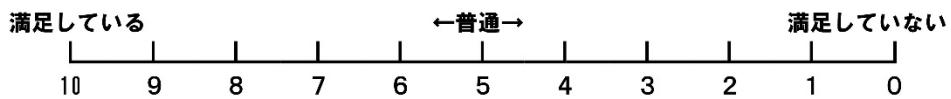
- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 2 親、きょうだいなどその他の親族 |
| 3 知人・友人 | 4 近所の人、地域の知人 |
| 5 インターネット・電話 | 6 職場の人 |
| 7 保育園、幼稚園、学校の保護者仲間 | 8 子育てサークルの仲間 |
| 9 医師・看護師 | 10 保育士・学校の先生 |
| 11 子育て支援センターの職員 | 12 児童館の職員 |
| 13 市の福祉こども相談センターの職員 | 14 民生委員・児童委員 |
| 15 適応指導教室（フルール）の相談員 | 16 市民相談センター |
| 17 保健所・保健センター | 18 児童相談所 |
| 19 その他（
） | |

問24で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問24-2 相談しない主な理由は何ですか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 我慢する | 2 外出や趣味で気分転換する |
| 3 相談相手がいない | |
| 4 その他（
） | |
| 5 特に相談することがない | |

問25 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（番号に○）



問26 子育てに関する情報はどこから入手していますか。（○はいくつでも）

- | | | |
|--------------|--------------------|---------------|
| 1 親族 | 2 近所の人・友人・知人 | 3 子育てサークル仲間 |
| 4 学校 | 5 市役所・市の機関 | 6 市の広報・パンフレット |
| 7 テレビ・ラジオ・新聞 | 8 子育て雑誌・育児書 | 9 インターネット |
| 10 コミュニティー誌 | 11 パパママ子育てだいじょうぶつく | |
| 12 その他（
） | | 13 入手方法がない |

問27 子育てに関してどのような地域情報を知りたいですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 親子で交流できる場や催しについて | 2 親同士が交流できる場や催しについて |
| 3 子育て相談や講座について | 4 学校について |
| 5 一時預かり・送り迎え等の保育サービスについて | |
| 6 子育てサークルや団体の活動内容について | 7 同じ立場の親の会について |
| 8 医療機関について | 9 公園や遊び場について |
| 10 子育て仲間で集うために使える場について | 11 親子で行けるコンサート等について |
| 12 子連れで行けるお店について | |
| 13 その他（
） | |
| 14 特にない | |

問28 市に対してどのような子育て支援策を図ってほしいですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--|----------------------|
| 1 夜間や休日における小児科の医療体制の整備 | 2 公園・児童館の整備 |
| 3 放課後児童クラブ施設の整備と充実 | 4 だれでも利用できる保育サービスの充実 |
| 5 子育てサークルなど親や子どもが交流できる場所の充実 | |
| 6 子どもの成長や家族の人数にみあった公営住宅の提供や子育て世代への資金融資 | |
| 7 子どもや親子づれに配慮したまちづくり | |
| 8 子育てについて相談できる機関やサービスの充実 | |
| 9 子育てに関する情報提供の発信 | 10 児童への虐待に対する対策の充実 |
| 11 児童手当、こども医療費助成制度、税制度での優遇などの経済支援 | |
| 12 いじめ、不登校などへの相談・支援の充実 | |
| 13 その他（
） | |
| 14 特にない | |
| 15 わからない | |

問29 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1 身近な場での窓口 | 2 専門的な情報 |
| 3 職員の対応スキル | 4 地域機関等へのつなぎ |
| 5 安心して相談できる環境（子どもの預かり、プライバシーの配慮等） | |
| 6 その他（
） | |
| 7 特にない | |

8. 世帯の経済状況について

問30 令和5年分のあなたの世帯全体で把握している収入（各種税を抜いた額）の合計額は、およそいくらでしたか。（○は1つ）

※確定申告の申請状況等により令和5年分の収入が不明の方は、令和4年分の合計額をお答えください。

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1 100万円未満 | 2 100～200万円未満 | 3 200～250万円未満 |
| 4 250～500万円未満 | 5 500～750万円未満 | 6 750～1,000万円未満 |
| 7 1,000万円以上 | 8 わからない | |

問31 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じますか。（○は1つ）

- | | | |
|------------|------------|------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい | 3 普通 |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある | |

問32 あなたは現在、幸せだと思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 とても幸せである | 2 まあまあ幸せである | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり幸せではない | 5 まったく幸せではない | |

問33 最後に、子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所の職員など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。また、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

回答いただいた調査票は、2月20日（火）までに

必ずこの調査票が入っていた封筒に入れ、お子さんの担任の先生へ提出してください。

【お問合せ先】 牧之原市 子ども子育て課（担当：中西）
電話：0548-23-0071

牧之原市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書

発 行 令和6年 3月
編 集 牧之原市役所 子ども子育て課 子育て支援係
〒421-0422 静岡県牧之原市静波 991-1 (さざんか2階)
TEL 0548-23-0071